平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
Ａ－０１	特記仕様書　１	Ｅ－０１	電気設備特記仕様書１	Ｍ－０１	機械設備特記仕様書１
Ａ－０２	特記仕様書　２	Ｅ－０２	電気設備特記仕様書２	Ｍ－０２	凡例・器具リスト
Ａ－０３	メーカーリスト	Ｅ－０３	電灯分電盤改修設備図	Ｍ－０３	１階平面位置図
Ａ－０４	設計概要	Ｅ－０４	校舎棟１階電気設備改修設備図	Ｍ－０４	２階平面位置図
Ａ－０５	附近見取図・配置図	Ｅ－０５	校舎棟２階電気設備改修設備図	Ｍ－０５	３階平面位置図
Ａ－０６	全体１階平面図	Ｅ－０６	校舎棟３階電気設備改修設備図	Ｍ－０６	１階～３階男子・女子生徒用トイレ改修平面図
Ａ－０７	全体２階平面図	Ｅ－０７	１階～３階男子・女子生徒用トイレ改修後電灯・．コンセント設備平面図	Ｍ－０７	１階男子・女子・多目的トイレ改修平面図、２階男子・女子職員トイレ改修平面図
Ａ－０８	全体３階平面図	Ｅ－０８	１階男子・女子・多目的改修後電灯・コンセント設備平面図	Ｍ－０８	１階～３階男子・女子生徒用トイレ改修（現状・撤去）平面図
Ａ－０９	各トイレ現況平面詳細図・共通断面詳細（撤去）図	Ｅ－０９	２階男子・女子職員トイレ改修後電灯・．コンセント設備平面図	Ｍ－０９	１階男子・女子・多目的トイレ改修平面図、２階男子・女子職員トイレ改修（現状・撤去）平面図
Ａ－１０	改修後共通断面詳細図・新旧仕上表			Ｍ－１０	１階～３階男子・女子生徒用トイレ改修（換気）平面図
Ａ－１１	１Ｆ～３Ｆ共通男子・女子生徒便所　改修後平面詳細図・改修後展開図			Ｍ－１１	１階～３階男子・女子生徒用トイレ改修（換気・現状・撤去）平面図
Ａ－１２	上記トイレ室内透視図			Ｍ－１２	１階男子・女子・多目的トイレ改修平面図、２階男子・女子職員トイレ改修（換気・現状・撤去）平面図
Ａ－１３	１Ｆ男子・女子・多目的トイレ　改修後平面詳細図・改修後展開図				
Ａ－１４	上記トイレ室内透視図１				
Ａ－１５	上記トイレ室内透視図２				
Ａ－１６	２Ｆ男子・女子職員便所　改修後平面詳細図・改修後展開図				
Ａ－１７	上記トイレ室内透視図				
Ａ－１８	天井伏図				
Ａ－１９	各トイレ建具位置図・建具表				
Ａ－２０	仮設計画図				

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

NON SCALE | SCALE | SCALE | SCALE

図面リスト

DW. | CK. | NO. A-00 | DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

００　特記仕様書の取扱いについて

1 項目は、項目番号に○印をつけたものを適用する。　細目は、◙印をつけたものを適用する。
2 その他特記事項は、（ ）内に記載する。
3 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（平成２７年度版）による。
4 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当っては、係員の承認を受けるものとする。

０１　一般共通事項

① 適用基準等
◙ 公共建築工事標準仕様書建築工事編（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成２７年版）
◙ 建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成２７年版）
⊠ 敷地調査共通仕様書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成２３年版）
⊠ 鉄骨設計標準図（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成１０年版）
⊠ 工事写真の撮り方　建築編（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成２５年版）
本特記仕様書は、上記各仕様書等に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。

② 疑義
◙ 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に、質疑応答書をもって確かめておくものとする。
◙ 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。

③ 優先順位
◙ 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
1．現場説明事項（質疑応答書を含む）　2．特記仕様書　3．各設計図
4．共通仕様書　5．公共規格及びこれに準ずる規格
※これにより難い場合は監督員と協議するものとする。

④ 建築材料等
◙ 建築材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又はこれらと同等以上とする。
ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
なお、「評価名簿による」と特記されたものの製造所名、製品名、施工業者名については、（社）公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業評価名簿（平成１６年版）」以下「評価名簿」という。）に掲載されたものとする。
また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（（社）公共建築協会）によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。

⑤ 特別な材料の工法
◙ 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑥ 電気保安技術者
◙ 適用する。

⑦ 技能士
◙ 適用する。
適用工事種別
鉄筋工事（・鉄筋施工）、コンクリート工事（・左官　・型枠施工）、鉄骨工事（・とび）
ブロック・ＡＬＣパネル・ＰＣカーテンウォール工事（・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
・カーテンウォール施工）、防水工事（・防水施工）、石工事（・石材施工）、タイル工事
（・タイル張り）、木工事（・建築大工）、屋根及びとい工事（・建築板金　・スレート施工）
金属工事（・内装仕上げ施工（鋼製下地））、左官工事（・左官）、建具工事（・サッシ施工
・ガラス施工）、塗装工事（・塗装）、内装工事（・内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）
・表装）、植栽工事（・造園）

⑧ 材料試験
◙ 本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに関しては、その成績表を提出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。
なお試験に要する諸経費は、すべて請負業者の負担とする。

⑨ 提出図書
◙ 本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定める他、必要に応じて係員と協議の上、作成するものとする。（部数は場合により変動有り）

	提出図書	部数	提出時期	備考
着工時	1．工事請負契約書	2	契約時	控えとなるもの
	2．現場代理人及び主任技術者届	2	契約後速やかに	経歴書、一級建築施工管理技士証明
	3．工事費内訳書（各工事明細合）	2	〃	
	4．全体工事工程表	2	〃	ネットワーク工程表
	5．工事着工届	2	〃	
工事期間中	6．各工事施工計画書	2	各工事着手2週間前	各工事毎
	7．各承認願・コンクリート調合計算書	3	〃	
	8．メーカーリスト・各工事店リスト	2	〃	
	9．緊急時連絡先リスト	2	その都度	
	10．各工事施工図	2	各工事着手2週間前	
	11．定例会議議題表及び前回議事録	2	定例会議毎	質疑は事前送信
	12．月間工事報告書	2	翌月の前半に	工事進捗表、写真、日報
	13．増減見積書	2	増減の生じた時	
	14．出来高承認願	2	中間金のある時	
竣工時	15．工事完了届	2	竣工時	
	16．工事完了引渡書・同受領書	2	〃	
	17．鍵引渡書・備品リスト・同受領書	2	〃	キーボックス入
	18．材料試験報告書	2	試験後10日以内	第三者機関
	19．納品伝表・マニフェスト関係	2	竣工時	
	20．メンテ関係連絡先リスト	2	〃	クリアブックに整理
	21．諸官庁届出書類等控	2	〃	
	22．機器類取扱説明書・同保証書	2	〃	クリアブックに整理
	23．工事保証書（全体・個別）	2	〃	クリアブックに整理
	24．工事写真	2	〃	工事写真帳に整理
	25．工事竣工図・竣工写真	2	竣工後20日以内	カラーキャビネット版（外観室内共）

◙ 工事竣工図は、Ａ３縮小版製本とし、2部提出する。ただし、監督員の指示による。
◙ 竣工写真は、アルバム貼付にて提出の事。（Ａ４版）ただし、監督員の指示による。

⑩ 定例打合会議
◙ 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打合わせを行うものとする。
◙ 請負者は、定例打合会議議事録をとり、その都度係員の承認を得るものとする。

⑪ 既設部分との取合
◙ 既設建物と今回工事の取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた個所は、今回工事仕上げ及び、旧工事、仕上同材にて完全に補修しなければならない。

⑫ 別途工事
◙ 別途工事についての工事工程ならびに、納まり等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。

⑬ 発生材の処理
⊠ 引渡を要するもの（　　　　　　　　　　　　）
◙ 指定副産物の搬出（再生資源の利用を図るもの）
指定副産物の種類
⊠ アスファルトコンクリート塊　◙ 建築発生木材
⊠ セメントコンクリート塊　⊠
搬入先　※再資源化施設等
◙ 指定副産物以外の搬出
※場外搬出適切処理
◙ 有（・　　　・　　　）　⊠ 無
※委託処理にあたっては、マニフェストシステム（積荷目録制）等により適正に処理することとし、監督員に予め「施工計画書」を提出のうえ承認を得ること。処理後は伝票の確認を受けること。

⑭ 工事保証その他
◙ 建物竣工引渡後　2　年以内において工事不良のため、生じたと認められる損害は請負者の負担にて、敏速丁寧に復旧する。
◙ 本工事施工に際しては、本工事場所が、工事による騒音、振動などについて地域規制されていないかを確かめ、規制されている場合は、規制に従い施工計画をたて、関係官庁の指導を受ける。
◙ 本工事施工に際しては関係官公署その他の機関に対して緊密な連絡を保つとともに学校及び地域住民に対して十分な安全対策を配慮すること。
◙ 騒音規制法による作業届を所在地市町村長に提出するとともに規制基準に適合するよう監督員と協議すること。
◙ 本工事が埋蔵文化財等の調査を必要とするとき、又は工事中に文化財と思料されるような類が出土した場合は監督員の指示を受けること。

０２　仮設工事

① 仮囲い
⊠ 構造：⊠ 鋼版製　⊠ 木製　◙ その他（ＬＧＳ＋ボード
◙ 高さ：⊠ １．５ｍ　⊠ １．８ｍ　◙ ３．０ｍ以上
⊠ その他（Ａ型バリケード程度で区画する
⊠ 仕上：⊠ 仕上なし　⊠ ペイント仕上
⊠ その他（
◙ 範囲：安全上必要と思われる範囲とする。
⊠ 意匠：

2 係員詰所
⊠ 構造：⊠ プレハブ造　⊠ 木造　⊠ その他（
⊠ 規模：⊠ １０㎡内外　⊠ ２０㎡内外　⊠ ３５㎡内外
⊠ その他（
⊠ 備品：⊠ 机、椅子、書類及び図面棚、図板、定規、黒板、温湿度計、テストハンマー、ノギス、安全帽、来客用安全帽子、長靴、水平垂直器、ロッカー
⊠ その他（
⊠ 設備：⊠ 電灯　⊠ 給排水、給湯設備　⊠ 電話
⊠ 冷蔵庫　⊠ 消火器　⊠ インターホン
⊠ クーラー　⊠ その他（暖房器具
⊠ 係員詰所は、工事打合わせに便利なように請負事務所に隣接して建てる。詰所に係る諸経費は、一切請負者の負担とする。

③ 看板
◙ 本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置などあらかじめ係員と協議する。

④ 工事用水電力
◙ 利用できる（有償・無償）　⊠ 利用できない

⑤ 障害物の処理
◙ 工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

6 設計Ｇ．Ｌ．
◙ 標準Ｇ．Ｌ．の決定及び、Ｂ．Ｍ．の設置は、係員の立会いのもとに行う。

⑦ 保護設備
◙ 本工事の施工に当り、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して、損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに応急手当、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。
◙ 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、公道の工事による損傷部は完全に復旧する。

8 外部足場
⊠ 枠組足場　⊠ 単管本足場　⊠ 単管抱足場　⊠ 単管一本足場
⊠ ブラケット足場　⊠ 外部落下物養生　⊠ 単管抱足場（Ｈ３Ｍ＋養生シート）

⑨ 内部足場
⊠ 枠組棚足場　⊠ 単管棚足場　◙ 脚立足場　⊠ ローリングタワー（必要に応じて）

０３　土工事

1 根切り
⊠ 工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工計画図を提出し、係員の承認を得るものとする。
⊠ 根切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の承認を得るものとする。
⊠ 特殊工法

2 敷地整理
⊠ 樹木：⊠ 移植　⊠ 伐切　⊠ その他（

3 埋戻し、盛土
⊠ 埋戻し：⊠ 根切土使用　⊠ その他（
⊠ 盛　土：⊠ 無　⊠ 有

4 残土処分
⊠ 場外搬出
⊠ 場内推積　⊠ 場内敷均し
⊠ その他（

０４　地業工事

1 地耐力試験
⊠ 不要　⊠ 必要　ヶ所
⊠ 長期支持力　t/㎡

2 既設杭地業
⊠ 杭の種類：⊠ ＲＣ杭　⊠ ＰＣ杭　⊠ その他（
⊠ 長さ等　：詳細については構造設計図特記による。
⊠ 試験杭　：詳細については構造設計図特記による。
⊠ アースオーガー工法：⊠ 不要　⊠ 必要　GL－　m迄

3 場所打コンクリート地業
⊠ 杭の種類：⊠ アースドリル杭　⊠ ベノト杭　⊠ 深礎工法
⊠ その他（柱状改良（ソイルパイル）
⊠ 長さ等　：詳細については構造設計図特記による。
⊠ 使用鉄筋　：詳細については構造設計図特記による。
⊠ コンクリート・固化材：詳細については構造設計図特記による。
⊠ 配合試験・六価クロム溶出試験：⊠ 不要　⊠ 必要　１ヶ所　１検体
⊠ 土質サンプル採取：頭部・全長コアボーリング　⊠ 不要　⊠ 必要　頭部・全長　１ヶ所
⊠ 積荷試験・一軸圧縮試験：⊠ 不要　⊠ 必要　頭部１ヶ所　全長9本（各棟毎）

4 割り石及び砂利地業
⊠ 地業の種類：⊠ 割り石　⊠ 砂　⊠ 砂利
⊠ 砕石　⊠ その他（
⊠ 厚さ　：　１００　mm

5 ラップルコンクリート地業
⊠ コンクリートの調合：セメント1・砂3・砂利6（容積比）
⊠ コンクリートと玉石の比率：⊠ 1:1　◙ その他（Ｆｃ＝１８

6 捨てコンクリート地業
⊠ 厚さ：　５０　mm
⊠ 調合：セメント1・砂3・砂利6（容積比）

7 ポリエチレンフイルム敷き
⊠ 不要　⊠ 必要　厚０．１５mm

8 特殊工法
⊠

9 地盤改良
⊠ 硬化剤：表層改良（撹拌式）　⊠ 硬化剤：詳細については構造設計図特記による。
⊠ 積荷試験・一軸圧縮試験：⊠ 不要　⊠ 必要　１ヶ所　３本（各棟毎）

０５　コンクリート工事

① 鉄筋コンクリート
◙ コンクリートの種別：◙ 普通コンクリート　⊠ 早強コンクリート
⊠ その他（
◙ 設計基準強度：⊠ Ｆｃ＝１８　◙ Ｆｃ＝２１
⊠ Ｆｃ＝２２．５
⊠ その他（
⊠ 混和剤等：⊠ 減水剤　⊠ 防縮剤
⊠ その他（
◙ 粗骨材：⊠ 川砂利　◙ 砕石
⊠ その他（
◙ 細骨材：⊠ 川砂　◙ 山砂
⊠ その他（
◙ コンクリートの供給：◙ レディーミックスコンクリート
⊠ 現場コンクリート
⊠ その他（
◙ 水セメント比：◙ ６５％　⊠ ６０％
⊠ その他（
◙ 塩化物規制：◙ ０．３Kg/コンクリート㎥以下
⊠ ０．３Kg/㎥～０．６Kg/㎥

2 軽量コンクリート（構造用）
⊠ 粗骨材：⊠ 人工軽量骨材　⊠ その他（
⊠ 細骨材：⊠ 人工軽量骨材　⊠ その他（
⊠ 設計基準強度：⊠ １８０Kg/㎠　⊠ ２１０Kg/㎠
⊠ ２２５Kg/㎠　⊠ その他（
⊠ 気乾比重：⊠ １．８以下　⊠ その他（

3 寒中コンクリート
⊠ 適用範囲：　年　月　日～　年　月　日

4 無筋コンクリート
⊠ 土間コンクリート：F₀＝　Kg/㎠　スランプ１５cm以下とする。
⊠ 防水押え床かさ上げコンクリート：F₀＝　Kg/㎠

5 軽量コンクリート（非構造用）
⊠ 基準強度：⊠ ９０Kg/㎠　⊠ １３５Kg/㎠　⊠ その他（
⊠ 気乾比重：⊠ １．８　⊠ １．２　⊠ １．１
⊠ その他（
⊠ 粗骨材：⊠ 火山砂利又は石灰ガラ　⊠ 人工軽量骨材
⊠ その他（
⊠ 細骨材：⊠ 川砂　⊠ 山砂　⊠ 海砂
⊠ その他（

⑥ 型枠
◙ 材料：◙ 合板（厚１２mm）　⊠ 縁甲板（厚　mm）
⊠ 金属製型枠パネル　⊠ その他（
◙ 工法：◙ ボルト式　◙ その他（
◙ 剥離剤：⊠ 使用不可　◙ 使用可（
◙ 存置期間：建設省告示等１１０号による。
◙ 打放しコンクリート仕上りのかぶり厚増：◙ ２０mm
⊠ その他（
◙ コンクリート面の仕上り程度：◙ 目違い不陸等極めて少ない良好な面とする。
⊠ 目違い不陸等少ない良好な面とする。
⊠ 打放しのままとし目違いばらいを行う。
⊠ 木コン等による穴の仕上：⊠ 打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを詰める。
⊠ 面うちに仕上げる。
⊠ コンクリート面に合わせ仕上げる。

⑦ 試験
◙ 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
◙ コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於て行なうことを原則とする。

⑧ 運搬及び打込
◙ コンクリート打込に先立って、設計、施工条件を十分考慮し、適切なる施工計画書を作成し、係員の承認をうけるものとする。

０６　鉄筋工事

① 一般事項
◙ 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
◙ 鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図記載の、基準詳細図等を優先とする。
◙ 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作製し、係員の承認を受ける。

② 材料
⊠ 普通鉄筋：ＳＲ２３５（規格品）
◙ 異形鉄筋：◙ ＳＤ２９５Ａ（規格品）　⊠ ＳＤ３４５（規格品）
⊠ ＳＤ３９０（規格品）　⊠ その他（

3 継手
⊠ 種類：⊠ ガス圧接継手（１６φ以上・１９φ以上）
⊠ 重ね継手　⊠ アーク熔接継手
⊠ その他（

④ 鉄筋スペーサー
◙ 種類：◙ 金属製　⊠ モルタル製　⊠ 塩ビ製
⊠ その他（

０７　鉄骨工事

1 一般事項
⊠ 使用範囲及び区分は、構造設計図による。
⊠ 鉄筋の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、基準詳細図等を優先する。
⊠ 工作図または、現寸図（型板及び定規を含む）を作成し、係員の検査を受ける。

2 普通鋼
⊠ 形鋼・鋼板：⊠ ＳＳ４００　⊠ ＳＳ４９０
⊠ ＳＭ４００Ａ/Ｂ/Ｃ　⊠ ＳＭ４９０Ａ/Ｂ/Ｃ
⊠ ＳＭ４９０ＹＡ/Ｂ　⊠ その他（ＳＮ４９０Ｂ・Ｃ
⊠ 軽量形鋼：ＳＳＣ４００（規格品）
⊠ 鋼管：⊠ ＳＴＫ４００　⊠ ＳＴＫ４９０　⊠ ＢＲＣ２９５
⊠ その他（　⊠ ＳＳ４００
⊠ 高力ボルト：⊠ Ｆ８Ｔ　⊠ Ｆ１０Ｔ　⊠ Ｆ１２Ｔ　⊠ Ｓ１０Ｔ
⊠ 普通ボルト：ＳＳ４００とし等級は中ボルト程度とする。
⊠ リベット：ＳＶ４００Ａ（規格品）
⊠ 熔接材料：ＪＩＳ・Ｚ・３２１１規格に適合するもの。
⊠ 防錆塗装：素地調整の程度　⊠ 第1種ケレン（ブラスト法）
⊠ 第2種ケレン（機械的作業）
⊠ 第3種ケレン（手工具作業）
：錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。
：塗装回数は、工場1回、現場1回、但し組立後塗装不可能な部分は、工場2回塗りとする。
⊠ 仕上塗装：⊠ オイルペイント　⊠ グラファイトペイント
⊠ その他（

3 耐候性高張力鋼
⊠ 鋼材：⊠ ＳＰＡ Ｈ/Ｃ　⊠ ＳＭＡ４００Ａ/Ｂ/Ｃ
⊠ ＳＭＡ４９０Ａ/Ｂ/Ｃ　⊠ その他（
⊠ 高力ボルト：⊠ Ｆ８Ｔ　⊠ Ｆ１０Ｔ　⊠ Ｆ１２Ｔ
⊠ 使用材料：⊠ 裸使用　⊠ 表面処理（ウェザーコートⅠ・ウェザーコートⅡ）
⊠ その他（
⊠ 溶接材料：ＪＩＳ・Ｚ・３２１２規格に適合するもの。

4 工法
⊠ ボルト工法　⊠ 溶接工法（アーク溶接）
⊠ その他（

5 溶接部の試験
⊠ 試験の種別：⊠ 超音波探傷試験　⊠ Ｘ線検査
⊠ その他（

6 溶接工の技量確認
⊠ 行なう　⊠ 行なわない

7 試作品
⊠ 必要　⊠ 不必要

０８　組積工事

1 コンクリートブロック
⊠ 種別：⊠ Ａ種　⊠ Ｂ種　⊠ Ｃ種（防水）
⊠ 厚さ：⊠ １００mm　⊠ １２０mm　⊠ １５０mm
⊠ １９０mm
⊠ 補強鉄筋：縦筋Ｄ１０＠４００
横筋Ｄ１０＠６００
開口補強筋Ｄ１３

2 煉瓦（レンガ）
⊠ 種別：⊠ 普通　⊠ 耐火　⊠ 焼過ぎ
⊠ その他（
⊠ 使用個所：⊠ 化粧　⊠ 塗下　⊠ 防水押え
⊠ 煙道　⊠ その他（

3 ＡＬＣ版
⊠ 現状・寸法：⊠ 外壁　１００　mm　⊠ 間仕切壁　mm
⊠ 床版　mm　⊠ 屋根板　mm
⊠ 目地シーリング材：⊠ 弾性（ポリサルファイド系・シリコン系・ポリウレタン系）
⊠ 塑性（アクリル系・ブチル系）
⊠ 油性
⊠ その他（
⊠ 取付金物：ＳＳ４００を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とする。

3 プレキャストコンクリート
⊠ 本工事は、事前に指定製作所に於て設計図及び仕様書に基づきあらかじめ製作、組立工法の詳細について、施工図及び、施工計画書を提出し、係員の承認を受けた後工事に着手する。
⊠ コンクリートの種別：⊠ 軽量コンクリート（構造用）
⊠ 普通コンクリート
⊠ 混和剤の有無：⊠ 必要　⊠ 不必要
⊠ コンクリートの強度：Kg/㎠
⊠ 型枠：⊠ 木製　⊠ 金属製
⊠ その他（
⊠ シーリング剤：⊠ ポリサルファイド系
⊠ その他（
⊠ 取付金物の防錆処理：⊠ シンクロメートメッキ処理
⊠ 亜鉛メッキ処理
⊠ その他（
⊠ 現寸試作品：⊠ 必要　⊠ 不必要

０９　防水工事

1 一般事項
⊠ 本工事は、すべて責任施工とする。

2 アスファルト防水
⊠ 種別：⊠ 歩行用屋上防水　⊠ 露出屋上防水　⊠ 室内防水
⊠ その他（

3 シート防水
⊠ 種別：⊠ 合成ゴム系シート防水　厚　m/m
⊠ 合成樹脂系シート防水　厚１．５m/m
⊠ その他（

4 塗布、塗膜防水
⊠ 種別：⊠ ウレタン塗布防水　厚　m/m
⊠ ゴムアスファルト塗布防水　厚　m/m
⊠ その他（

5 モルタル防水
⊠ 種別：⊠ セメント系　⊠ 樹脂系　⊠ その他（

6 止水板
⊠ 地下階コンクリート打継ぎ箇所止水板：⊠ 不要
⊠ 必要：⊠ クロロプレン
⊠ 合成樹脂

7 目地押え伸縮目地
⊠ 目地材料：⊠ エラスタイト＋アスファルトコンパウンド（巾　m/m）
⊠ 発泡樹脂板＋アスファルトコンパウンド（巾　m/m）
⊠ その他（
⊠ 工法：⊠ アスファルトコンパウンドは、防水押え仕上り面より5m/m下りに充てんし
エラストタイト以外の目地棒は必ず撤去する。

8 責任保険
⊠ 工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を3部係員に提出するものとし、事故を生じた場合は、無償にて補修復旧なすものとする。
⊠ アスファルト防水：１０年間
⊠ シート防水：１０年間
⊠ 塗布防水：　年間
⊠ モルタル防水：５年間
⊠ その他（

9 シーリング材
⊠ 外部建具廻り：（トップライト、ポリカ庇廻り等含む）⊠ ポリサルファイド系
⊠ ポリウレタン系
⊠ 油性系
⊠ シリコン系
⊠ その他（
⊠ コンクリート打継目地：⊠ ポリサルファイド系
⊠ ポリウレタン系
⊠ 油性系
⊠ シリコン系
⊠ その他（ウレタン系ノンブリード
⊠ 充てんは、　mm＊　mmを最小とする。バックアップ材を使用するものとし、発泡樹脂成型材とする。

１０　石工事

1 一般事項
⊠ 石材は、傷腐れ又は亀裂を生ずる恐れのある筋や欠点の少ないものとし、色、仕上面の材質は、サンプルにより、指定する。
⊠ つなぎ金物の太柄、鎹、千切類は、防錆処理を施した鋼又は、真ちゅう製とする。
⊠ 仕上の種類は、次の記号を用いる。　Ａ＝本磨き　Ｂ＝水磨き
Ｃ＝粗磨き　Ｄ＝小叩き
Ｅ＝ひき肌　Ｆ＝ビシャン叩き
Ｇ＝割肌

2 材料
⊠ 大理石：⊠ 国産　⊠ 外国産　⊠ 板厚　m/m
⊠ 仕上
⊠ 花こう岩：⊠ 国産　⊠ 外国産　⊠ 板厚　m/m
⊠ 仕上
⊠ その他：⊠ 国産　⊠ 外国産
⊠ 板厚　m/m　⊠ 仕上
⊠ テラゾーブロック：⊠ 種石
厚　m/m　仕上

１１　タイル工事

1 一般事項
⊠ 指定製造会社の製品により、見本品を提出し、係員の承認を受ける。
⊠ タイル割付図を作成し、指定の個所は役物を用いるものとし、係員の承認を受ける。

2 工法
⊠ 伸縮目地：垂直方向には、柱間毎に（柱型がない場合）あるいは柱型の両側（柱型がある場合）に設ける。
水平方向には、各階毎に設ける。
⊠ タイル工法：⊠ 圧着工法　⊠ 団子張工法　⊠ 接着工法
⊠ 打ち込み工法　⊠ その他（

3 普通タイル
⊠ 陶器質タイル　１００　mm＊１００　mm＊厚　mm
⊠ 半磁器質タイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ 磁器質タイル　１００　mm＊１００　mm＊厚　mm
⊠ モザイクタイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ クリンカータイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ その他（　）　mm＊　mm＊厚　mm

4 特殊タイル
⊠ テッセラタイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ 窯変タイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ 模様入タイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ 外国産タイル　mm＊　mm＊厚　mm
⊠ その他（　）　mm＊　mm＊厚　mm

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
特記仕様書１			
DW.	CK.	NO. A-01	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

１２　木工事

① 一般事項	◙ 土台・床下地は、薬液による防虫処理剤を使用する。 ◙ ラワン材使用の場合は、加熱による防虫処理材とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理を使用してもよい。 ⊠ 水廻り及びカマチ、敷居類は、檜又は、同等以上の堅木を使用するものとする。
② 樹種及び等級	⊠ 見え隠れ材 ： ⊠ 樹種 ベイマツ ⊠ 1 等級 ⊠ 和室造作材 ： ⊠ 樹種 スギ ⊠ 1 等級 ⊠ 一般造作材 ： ⊠ 樹種 スプルス ⊠ 1 等級 ◙ 枠　材 ： ◙ 樹種 スプルス ⊠ 1 等級 ⊠ 集成材の表面： ⊠ 樹種 ナラ ⊠ 1 等級
3 防腐・防虫の処理	⊠ 見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行なうものとする。

１３　屋根工事

1 鋼板葺	⊠ 材料： ⊠ 亜鉛鍍鉄板 ⊠ ビニール被覆鉄板 ⊠ 着色ガリバリウム鋼鈑 ⊠ その他（ ⊠ 板厚： ⊠ 厚 ０．４ m/m ⊠ 工法： ⊠ 平葺（ 一文字葺 ・ ひし葺 ・ 瓦棒葺 ・ 横葺 ） ⊠ 波板葺（ 大波 ・ 小波 ） ⊠ 形状： ⊠ 長尺 ⊠ 規格 ⊠ 野地板： ⊠ ドリゾール板 厚 m/m ⊠ 木毛セメント板 厚 m/m ⊠ 杉荒板 厚 m/m ⊠ その他（ ノジライト18 ⊠ 下葺： ⊠ アスファルトルーフィング（22Kg以上） ⊠ アスファルトフェルト（20Kg以上） ⊠ その他（
2 スレート葺	⊠ 材料： ⊠ 石綿大波 ⊠ 石綿小波 ⊠ 石綿平板 ⊠ リブ ⊠ その他（
3 折版構造	⊠ 材料： ⊠ 亜鉛鍍鉄板 ⊠ 片面カラー鉄板 ⊠ ビニール被覆鉄板 ⊠ その他（ ガリバリウム鋼板 ⊠ 板厚： ０．８ m/m 裏面ペフ付 ⊠ 被覆： ⊠ 耐火（ ⊠ 断熱（ ⊠ 工法： 指定製造所の仕様による。
4 アスファルトシングル葺	⊠ 材料・工法：
5 その他の屋根葺	⊠ 材料・工法：
6 樋	⊠ 竪樋： ⊠ VP管（φ 90・75 m/m） ⊠ VU管（φ m/m） ⊠ その他（ ⊠ 谷樋： ⊠ カラー鉄板 ⊠ その他（ ⊠ 軒樋： ⊠ カラー鉄板 ⊠ 塩ビ製（ アイアン素材大型折版用120I型 ⊠ その他（ ⊠ 防露： ⊠ 建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温筒厚25mmの上アスファルトフェルト巻ビニールテープ押えとする。

１４　金属工事

① 一般事項	◙ 工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。
② 防錆処理	⊠ 外部金物： ⊠ ジンクロメートメッキ処理 ⊠ 亜鉛メッキ処理 ⊠ その他（ ◙ 内部金物： ◙ JIS（鉛丹ジンクロメート錆止塗料）に規定する。 塗料1回塗とする。 ⊠ 取付用下地金物： ⊠ 指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。
③ 軽量鉄骨天井及び壁下地材	◙ 軽量鉄骨天井下地及び、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理はジンクロメートメッキ処理、又は亜鉛メッキ処理を施したものとする。
4 金属製階段ノンスリップ	⊠ 材質・巾： ⊠ ステンレス製 m/m ⊠ アルミ製 40 m/m ⊠ 真ちゅう製 m/m ⊠ 鉄製 m/m ⊠ その他（ ⊠ 型式 ： ⊠ タイヤ入 ⊠ タイヤ無
5 ルーフドレイン	⊠ 材質 ： 鋳鉄製コールタール焼付仕上げとする。 ⊠ 取付工法： ⊠ 先付け工法 ⊠ 後付け工法
6 マンホール	⊠ 種類 ： ⊠ 並型 ⊠ 防水型 ⊠ 耐重型 ⊠ 防臭型 ⊠ 錠（ 有 ・ 無 ） ⊠ 材質 ： ⊠ 鋳鉄製 ⊠ アルミ枠製 ⊠ その他（ ⊠ 型式 ： ⊠ 丸型 ⊠ 角型 ⊠ 二重型化粧マンホール ⊠ その他（
⑦ 天井改め口	◙ 材質 ： ◙ アルミ枠製 ⊠ ステンレス枠製 ⊠ その他（ ⊠ 寸法 ： ◙ 450m/m角 ⊠ 600m/m角 ⊠ その他（
⑧ 格子蓋・化粧蓋	◙ 材質 ： ⊠ 鋳鉄製 m/m角 ◙ ステンレス製 600m/m角 ⊠ その他（
9 製作金物	⊠ 材質・形状等は、設計図によるものとする。
10 E.P.J.	⊠ 材質 ： ⊠ アルミ製 ⊠ ステンレス製 ⊠ その他（

１５　左官工事

① モルタル塗	⊠ モルタルは亀裂防止剤、接着剤、防水剤その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。 ◙ 塗厚 内壁： ◙ 20mm（抜き程度） ⊠ mm 外壁： ⊠ 20mm 目地処理モルタル： ⊠ 5 mm 床： ◙ 30mm 基礎天端均し： ⊠ 20 mm ⊠ 15mm（エポキシ通気樹脂モルタル） 共通： ◙ シゴキ・直押え
2 防水モルタル壁	⊠ 防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。 ⊠ 調合容積比 セメント：1 砂 ：2 防水剤（製造会社の指定量）
3 プラスター壁	⊠ 種類： ⊠ ドロマイトプラスター ⊠ 石膏プラスター ⊠ ALC版用プラスター ⊠ その他（ ⊠ ラスボード： ⊠ 厚 9m/m ⊠ 厚 7m/m ⊠ その他（

１６　建具工事

① アルミ建具	◙ 種類： ◙ レディーメード製品 ⊠ イージーオーダー製品 ⊠ オーダーメード製品 ⊠ その他（ ◙ 型式： ◙ レギュラー ⊠ セミエアータイト ⊠ エアータイト ⊠ その他（既存と同等品 防火設備仕様 ◙ 仕上： ◙ レギュラー ⊠ セミエアータイト ⊠ エアータイト ⊠ その他（既存と同等品
2 鋼製建具	⊠ 種 類： ⊠ 普通鋼板 ⊠ ボンデ亜鉛鋼板 ⊠ ボンデ鋼板 ⊠ 耐候製板 ⊠ その他（ ⊠ 鋼板厚さ： ⊠ 窓・出入口・三方枠・方立・無目等は厚さ2．3m/m 沓摺はステンレス製厚さ2m/m ⊠ 防錆処理： ⊠ ジンクロメート錆止塗料一回塗 ⊠ その他（ ⊠ 防音処理： ⊠ 防音扉の性能は30db以上とする。 ⊠ 外部廻り、機械室、その他騒音を生じる個所の鋼製ドアー枠はスポンジネオプレーン気密材を用いて気密にする。
3 ステンレス製建具	⊠ 種 類： ⊠ レディーメード製品 ⊠ オーダーメード製品 ⊠ 仕 上： ⊠ ヘアーライン仕上 ⊠ バフ仕上 ⊠ エッチング仕上 ⊠ ミラー仕上 ⊠ その他（ ⊠ 曲げ加工： ⊠ 普通曲げ ⊠ 角出し曲げ ⊠ その他（
4 シャッター	⊠ 種類： ⊠ 重量電動シャッター ⊠ 軽量電動シャッター ⊠ 軽量手動シャッター ⊠ 防煙・防火シャッター（ 甲種 ・ 乙種 ） ⊠ 型式： ⊠ 差込型 ⊠ パイプ型 ⊠ リベット綴り型 ⊠ ネット型 ⊠ 波型 ⊠ その他（ ⊠ 機構： ⊠ 巻上げ式 ⊠ 横引式 ⊠ 水平式 ⊠ その他（ ⊠ レール・マグサ： ⊠ ステンレス製 ⊠ 鋼板製 ⊠ スラットの種類： ⊠ ステンレス製 ⊠ アルミ製 ⊠ 鋼板製 厚さ： ⊠ 厚1．6mm ⊠ 厚1．2mm ⊠ 厚0．8mm ⊠ 厚0．5 mm
5 自動扉装置	⊠ 動力方式： ⊠ 油圧式 ⊠ 空気圧式 ⊠ 電気圧式 ⊠ その他（ ⊠ 制御方式： ⊠ マットスイッチ式 ⊠ タッチスイッチ式 ⊠ 光電スイッチ ⊠ その他（
6 木製建具	⊠ 一般事項： ⊠ 仕上塗装は後記、塗装工事仕様によるものとし、化粧合板の仕様は設計図による。 ⊠ フラッシュ戸表面材の厚さ： ⊠ 5．5mm以上 ⊠ 4．0mm以上 ⊠ 3．0mm以上
7 建具金物	⊠ 指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が承認したものとする。 ⊠ マスターキー： ⊠ 必要 組各3枚 ⊠ 不要 ⊠ グランドマスターキー： ⊠ 必要 ⊠ 不要 ⊠ 各キーは市販キーボックスに収納し、案内図を添付して係員に提出する。
8 建具周囲のシーリング材	⊠ 建具の四周は入念にコーキングすること。 ⊠ 種類： ⊠ ポリサルファイド系 ⊠ シリコン系 ⊠ 油性 ⊠ その他（
9 網戸	⊠ 網の種類： ⊠ サラン ⊠ ステンレス ⊠ グラスファイバー ⊠ その他（
10 ガラス	◙ 種類： 設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。 ◙ ガラス取付材料： ⊠ ビニール製ビード ◙ ポリサルファイド系シール材 ⊠ 硬化性ガラスパテ ⊠ ネオプレーンジッパーガスケット ⊠ その他（
11 三方枠	⊠ 材質 ： ⊠ スチール製 ⊠ ステンレス製 ⊠ その他（

１７　塗装工事

① 一般事項	⊠ 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。 ⊠ 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。
2 防火材料	⊠ 屋内の壁及び天井の仕上げは基材同等の認定のあるものとする。
③ 合成樹脂・エマルジョンペイント壁	◙ 浴室・脱衣室・便所・洗面所・湯沸室の天井は一種（外部用）を用いる。
4 マスチック塗	⊠ 種類： ⊠ マスチックA（外部用） ⊠ マスチックB（内部用） ⊠ マスチックC（内・外部用）
5 特殊塗料	⊠ 使用個所： ⊠ 種類：

１８　内装工事

① 一般事項	◙ 本工事に使用する材料は、JIS規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けることとする。原則としてF☆☆☆☆認定品を使用する。 ◙ 本工事に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合は桐合板、その他はラワン、等級は4級とする。又水場廻りに使用する合板はタイプⅠ耐水合板とする。 ◙ 目透し貼りの受材面は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。
② 合成樹脂系床材	◙ 種類： ◙ 塩化ビニール系樹脂タイル ◙ 半硬質 ⊠ 軟 質 ⊠ ホモジニアス ◙ 塩化ビニール系樹脂シート ◙ 半硬質 ⊠ 軟 質 ⊠ ホモジニアス ⊠ ゴムタイル ⊠ ゴムシート ⊠ その他（
3 フローリング材フローリングブロック材	⊠ 種類： ⊠ モザイク ⊠ パーケット ⊠ フローリング ⊠ その他（ ⊠ 材質： ⊠ ナラ ⊠ ブナ ⊠ サクラ ⊠ その他（
4 カーペット	⊠ 種類： ⊠ ウイルトンカーペット ⊠ コードカーペット ⊠ パンチカーペット ⊠ その他（タイルカーペット） ⊠ 下地： ⊠ 無 ⊠ 有（フェルトクッション 5.0mm） ⊠ 工法： ⊠ 接着張り ⊠ 両面粘着テープ張り ⊠ グリッパー工法 ⊠ その他（
5 畳	⊠ 種類： ⊠ 本畳 ⊠ ビニール畳 ⊠ スタイロ畳 ⊠ 特殊畳床： ⊠ 無 ⊠ 有
6 特殊合板	⊠ 種類： ⊠ 天然木化粧合板 ⊠ 特殊加工合板 ⊠ メラミン化粧合板 ⊠ ポリエステル化粧板 ⊠ プリント合板 ⊠ ⊠ その他（ 品合板厚5．5
7 吸音板	⊠ 岩綿吸音板： ⊠ 下地 ⊠ 木製軸組 ⊠ 石膏ボード厚9mm ⊠ 軽鉄下地 ⊠ その他（ ⊠ 穴あき石膏ボード ： ⊠ 厚 mm ⊠ 穴あきフレキシブルボード： ⊠ 厚 mm ⊠ 厚 mm ⊠ 炭酸マグネシウム板 ： ⊠ 厚 mm
⑧ 壁装材	⊠ 紙製品 ： 級以上 ⊠ 布製品 ： 級以上 ◙ ビニール製品： 2 級以上
⑨ 石膏その他のボード張り	◙ 石膏ボード ： 厚 12.5 9.5mm ◙ 化粧石膏ボード ： 厚 9.5mm ⊠ 石綿セメント ： 厚 mm ⊠ 石綿ケイ酸カルシウム板： 厚 8.0mm ⊠ その他（ 硬質石膏ボード 厚 12.5mm
10 断熱材	⊠ フォームポリスチレン： 厚 mm ⊠ ロックウール ： 厚 mm ⊠ グラスウール ： 厚 50 mm 厚 mm ⊠ 発泡プラスチック系吹付 ： 厚 25 mm
⑪ 既製間仕切	◙ 表面材および仕上げ： ⊠ 鋼板 厚さ0．8mm以上+樹脂塗装あるいは樹脂焼付塗装 （トイレブース） ◙ その他（ 表面 高圧メラミン樹脂化粧板 芯材 パーティクルボード 総厚30 ⊠ 工法： ⊠ スタッド式 ⊠ パネル一体式 ◙ パネル分割式
12 その他	

１９　雑工事

1 室名札階数表示	⊠ 材 質： ⊠ プラスチック ⊠ ステンレス ⊠ アルミ ⊠ その他（ ⊠ 文字型式： ⊠ 書き文字 ⊠ 彫文字 ⊠ 張文字 ⊠ 抜き文字 ⊠ その他（ ⊠ 文字材質： ⊠ 地と同質 ⊠ シルクスクリーンエナメル ⊠ その他（
2 郵便受	⊠ 材質： ⊠ ステンレス ⊠ 鋼板 ⊠ その他（ ⊠ 型式： ⊠ 個別型 ⊠ 集合型
3 黒板掲示板	⊠ 材質： ⊠ スチール ⊠ アルミ ⊠ ホーロー鋼板 ⊠ その他（ ⊠ 枠 ： ⊠ アルミ ⊠ スチール ⊠ 木製 ⊠ 形状： ⊠ 平面 ⊠ 曲面 ⊠ 上げ下げ式 ⊠ 映写スクリーン内蔵型 ⊠ 寸法： ⊠ W m/m*H m/m
4 屋上丸環	⊠ 材質： ⊠ 亜鉛メッキ ⊠ ステンレス ⊠ その他（
5 避難器具	⊠ 型式： ⊠ 材質：
6 沓拭マット	⊠ 材質： ⊠ ステンレス（枠：ステンレス） ⊠ 硬質アルミ（枠：アルミ） ⊠ ビニールあるいはゴム製（枠：硬質アルミ）
7 可動間仕切	⊠ 種類： ⊠ アコーデオンドアー ⊠ ルーバードアー ⊠ パネルパーティション ⊠ その他（ ⊠ 材質： ⊠ 木製 ⊠ ビニルクロス仕上 ⊠ 焼付塗装 ⊠ 化粧単板 ⊠ その他（
8 カーテンレール	⊠ 材質： ⊠ ステンレス ⊠ アルミ ⊠ プラスチック ⊠ その他（ 木製 ⊠ 型式： ⊠ シングル ⊠ ダブル ⊠ その他（
9 ブラインド	⊠ 材質： ⊠ ステンレス ⊠ アルミ ⊠ プラスチック ⊠ 型式： ⊠ たて型 ⊠ よこ型（スラット巾： m/m）
10 流し台	⊠ 種類： ◙ 既製品 ⊠ 特注 ⊠ その他（
11 浴槽	⊠ 材質： ⊠ FRP ⊠ ポリエステル ⊠ ホーロー ⊠ ステンレス
12 旗竿金物	⊠ 材質： ⊠ ステンレス ⊠ アルミ ⊠ スチール
13 消火器	⊠ ABC10型（9本設置）

２０　外構工事

1 一般事項	⊠ 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする.
2 舗装	⊠ 種別： ⊠ アスファルト舗装（○混合式 ・ 浸透式 ） ⊠ コンクリート舗装（ 有筋 ・ 無筋 ・ 熔接金鋼入 ） ⊠ 砂利撒舗装：切込砂利 mm 撒布砂利 mm
3 フェンス	⊠ 種別： ⊠ ネットフェンス ⊠ エキスパンドメタルフェンス ⊠ その他（ ⊠ 高さ： H= 1200 mm H= mm 一部付け替え有
4 塀	⊠ 種別： ⊠ 万代塀 ⊠ コンクリートブロック塀 ⊠ その他（ ⊠ 高さ： H= mm ⊠ 仕上： （
5 境界石	⊠ 型式： ⊠ 歩車道境界用既製ブロック ⊠ その他（
6 敷地内排水溝	⊠ 種別： 溝 ⊠ 既製U字側溝 ⊠ 既製L字側溝 ⊠ 現場打コンクリート溝 ⊠ その他（ 蓋 ⊠ コンクリートブロック製 ⊠ 鋳鉄製 ⊠ その他（ステンレス製
7 植栽	⊠ 植栽： 風除け支柱の種類 ⊠ 三脚 ⊠ 四脚 ⊠ 鳥居形 ⊠ 補償期間： 新植、移植および芝張りの補償期間 引渡し日より1年間 ⊠ 芝張り： 種別 ⊠ 野芝 ⊠ 高らい芝 ⊠ その他（ 客土 ⊠ 不要 ⊠ 要 mm

２１　その他特記事項（この項目は全て適応）

1 関係官庁への提出	

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図				設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号 野中健一
NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	
特記仕様書２				
DW.	CK.	NO. A−02	DATE 28-09	〒622−0014 京都府南丹市園部町上本町南2−20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

メーカーリスト

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
屋根工事	金属葺		元旦ビューティー工業	
			淀川製作所	
			三晃金属	
	アスファルト防水		ダイフレックス	
			日本アスファルト	
			防水事業共同組合	
			日新工業	
	樋		松下電工	
			積水化学工業	
			タニタハウジングウェア	
金属工事	製作金物		中村益造商店	
			山本金属製作所	
			竹内金物	
	グレーチング		カネソウ	
			日本ピット	
			アトラス	
	既製品手すり		ナカ工業	
			アトラス	
			YM工業	
	アルミパネル		三協アルミ	
			トステム	
			不二サッシ	
	軽鉄下地		マンテン	
			三洋工業	
			日本フェラス工業	
	ピクチャーレール		フクビ化学工業	
			中村多喜弥商店	
			大建工業	
	カーテンレール		住之江織物	
			川島織物	
			フクビ化学工業	
	点検口		ナカ工業	
			日本ピット	
			マンテン	
	OAフロアー		ＩＴＯＫＩ	
			KOKUYO	
			フクビ化学工業	
	既製品笠木		三協アルミ	
			カネソウ	
			ＡＢＣ商会	
	EXP.J		三協アルミ	
			カネソウ	
			ＡＢＣ商会	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
建具工事	アルミニウム製建具		三協アルミ	
	ＪＩＳ規格品		YKKAP	
			トステム	
	木製建具		高島屋	
			末永製作所	
			西尾家具	
	ガラス		旭硝子アメニテック	
			日本板硝子	
			セントラルガラス	
	建具金物		ユニオン	
			美和ロック	
			ゴール	
	自動ドア		ナブコ	
			三協アルミ	
			トステム	
	シャッター		文化シャッター	
			三和シャッター	
			東洋シャッター	
			東工シャッター	
	トイレブース		小松ウォール	
			三和シャッター	
			文化シャッター	
			ＩＴＯＫＩ	
	アルミ間仕切		小松ウォール	
			KOKUYO	
			ＩＴＯＫＩ	
			文化シャッター	
内装工事	内装工事		吉野石膏	
			ロンシール工業	
			ワーロン	
			日東紡	
			ニチラス	
			東リ	
			東レ	
			ＡＢＣ商会	
			川島織物	
			住之江織物	
			大建工業	
			フクビ化学工業	
			ブリジストン	
			タジマ	
			サンゲツ	
			大日本印刷	
			ＳＩＮＣＯＬ	
			アイカ工業	
			朝日ウッドテック	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
タイル工事	タイル		ＩＮＡＸ	
			TOTO	
			ダントー	
石工事	石材		奥ヶ原石材	
			安藤大理石	
			矢橋大理石	
外装工事	吹付工事		アイカ工業	
			エスケー化研	
			近庄化学	
	ＡＬＣ工事		クリオン	
			ヘーベル	
			シポレックス	
	サイディング工事		アスク	
			ニチハ	
			クボタ	
	金属サイディング工事		淀川製作所	
			チューオー	
			アイジー工業	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
雑工事	キッチン		サンウェーブ	
			クリナップ	
			タカラスタンダード	
	洗面台		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			クリナップ	
	衛生陶器		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	化粧鏡		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	タオル掛け・紙巻器		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	ウォールキャビネット		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			クリナップ	
	ユニットバス		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			タカラスタンダード	
	ブラインド		立川ブラインド工業	
			ニチベイ㈱	
			トウソウ㈱	
	カーテン		住之江織物	
			川島織物	
			サンゲツ	
	洗濯機パン		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			ＡＢＣ商会	
	家具		ヤガミ	
			ＩＴＯＫＩ	
			高島屋	
	サイン		ＩＴＯＫＩ	
			メイバン	
			コトブキ	
	ネットフェンス		朝日スチール工業	
			シコク	
			三協アルミ	
	室外機防護フェンス		オーケー器材	
	ホイスト		日立産機システム	
			三菱電機ＦＡ産業機器	
			日本ホイスト	

注記　今回の工事で該当するもののみ参考にしてください。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
メーカーリスト			
DW.	CK.	NO. A-03	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

設計概要

工事名称	平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事
工事場所	京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷６２番地
主要用途	中学校
用途地域	指定なし
工事期間	発注者作成の特記仕様書に記載
工事規模	ー
工事種別	トイレ改修工事
工事範囲	本設計図書に示したる全ての範囲［建築・電気設備・機械設備工事］

外部仕上表

屋根		雨樋		下足入	
軒裏		ヒサシ		屋外階段	
外壁		犬走り		屋上ネットフェンス	
基礎・巾木		ポーチ		ベランダ手摺	
建具		スロープ		外構	室外機基礎

注記事項

1）本工事は既存改修工事であるので、設計図書に示されていない当然予想される工事・改修・補修・清掃・調整・現状回復等の必要が生じた場合もすべて本工事に含むものとする。学校が開校されている時期に工事を行う時は、生徒・職員・来訪者等の安全に十分注意すること。
2）上記の場合は、施工者・監理者・発注者が協議の上、施工方法・材料・仕様等を決定する。
3）本工事の改修・撤去・清掃等の伴う現状回復のための補修材料は「既存部分と同等品以上」とし監理者の承認を受ける。
4）本工事に新たに使用する仕上材・下地材等が発生した場合は原則的に全てＦ☆☆☆☆認定品を使用すること。

共通事項

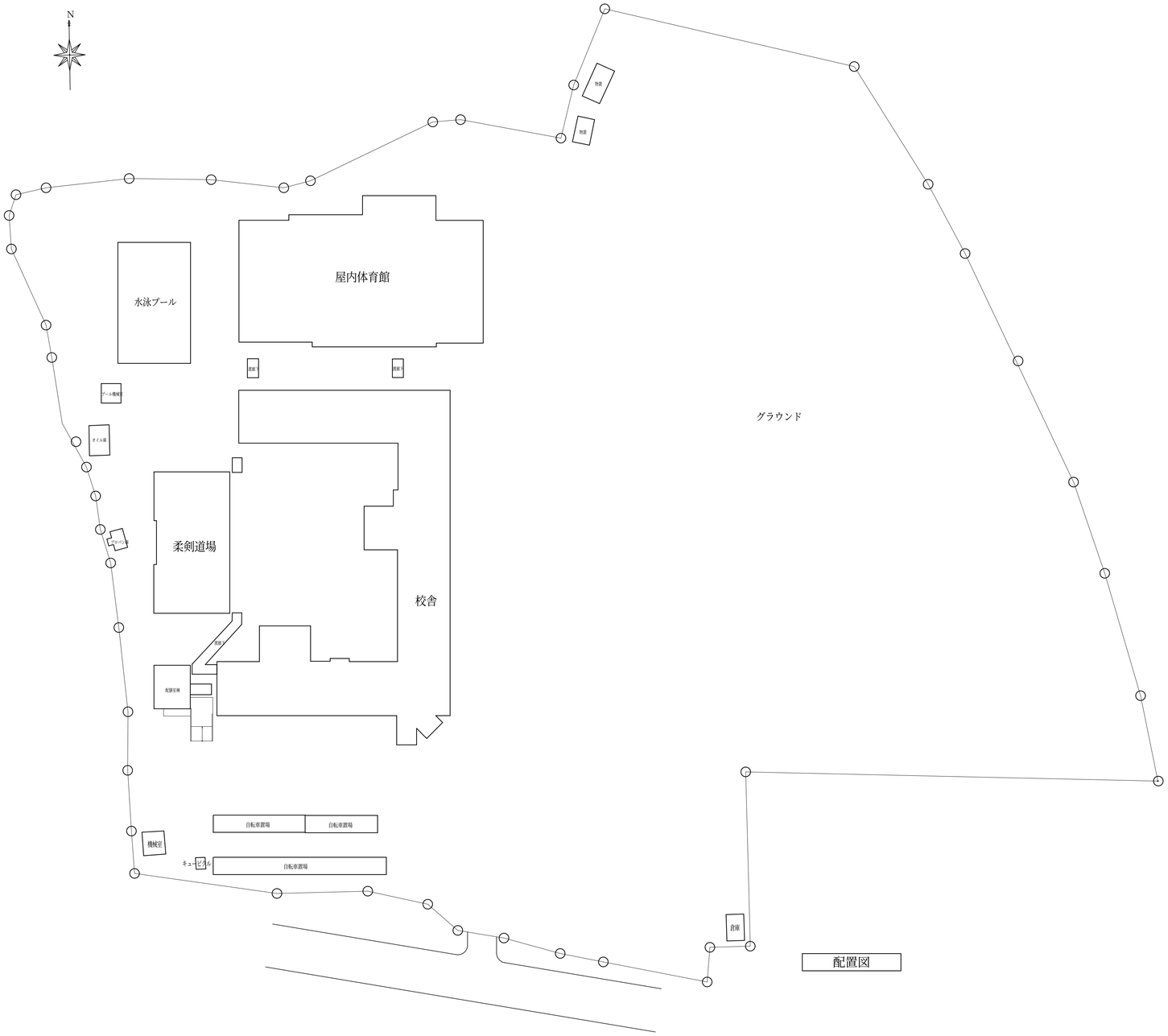
内部仕上表

階	室名	床 施工範囲	床 仕上	床高	巾木	腰壁 施工範囲	腰壁 仕上	腰高	壁 施工範囲	壁 仕上	天井 施工範囲	天井 仕上	天井高さ	廻り縁	備考
	各トイレの内部仕上に関しては各トイレの各平面詳細図横の内部仕上表を参照する事														

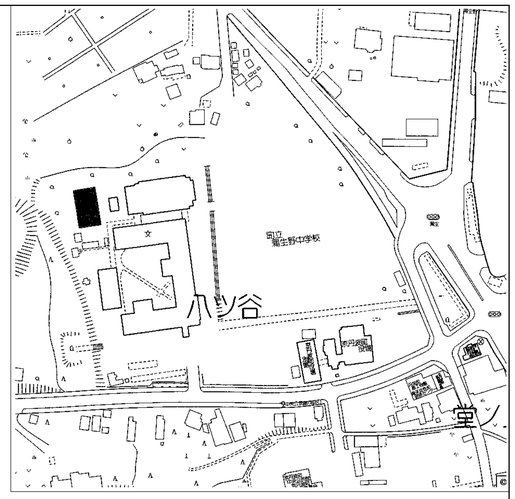
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

NON SCALE	NON SCALE	NON SCALE	SCALE
設計概要			
DW.	CK.	NO. A-04	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中建一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

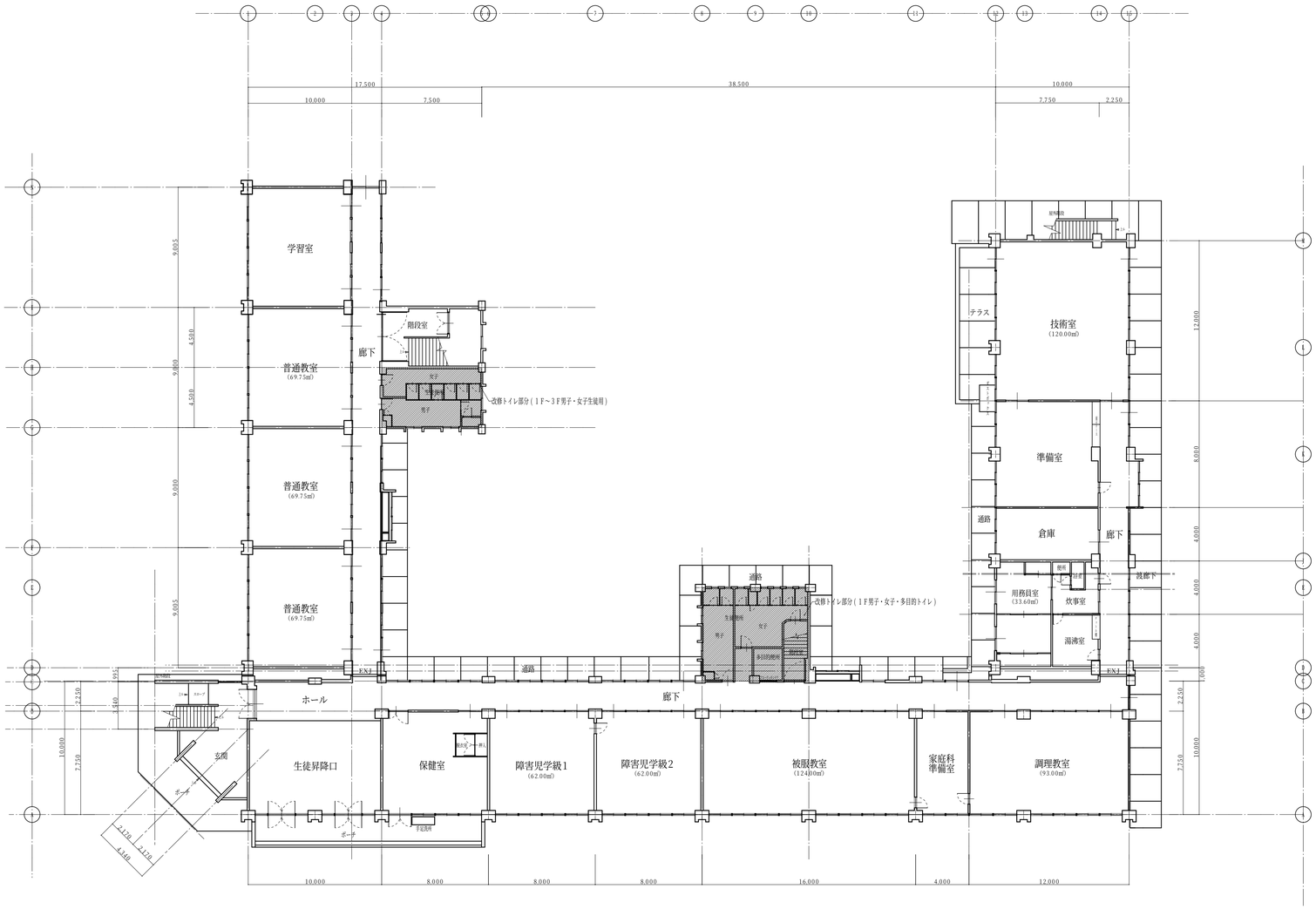


配置図



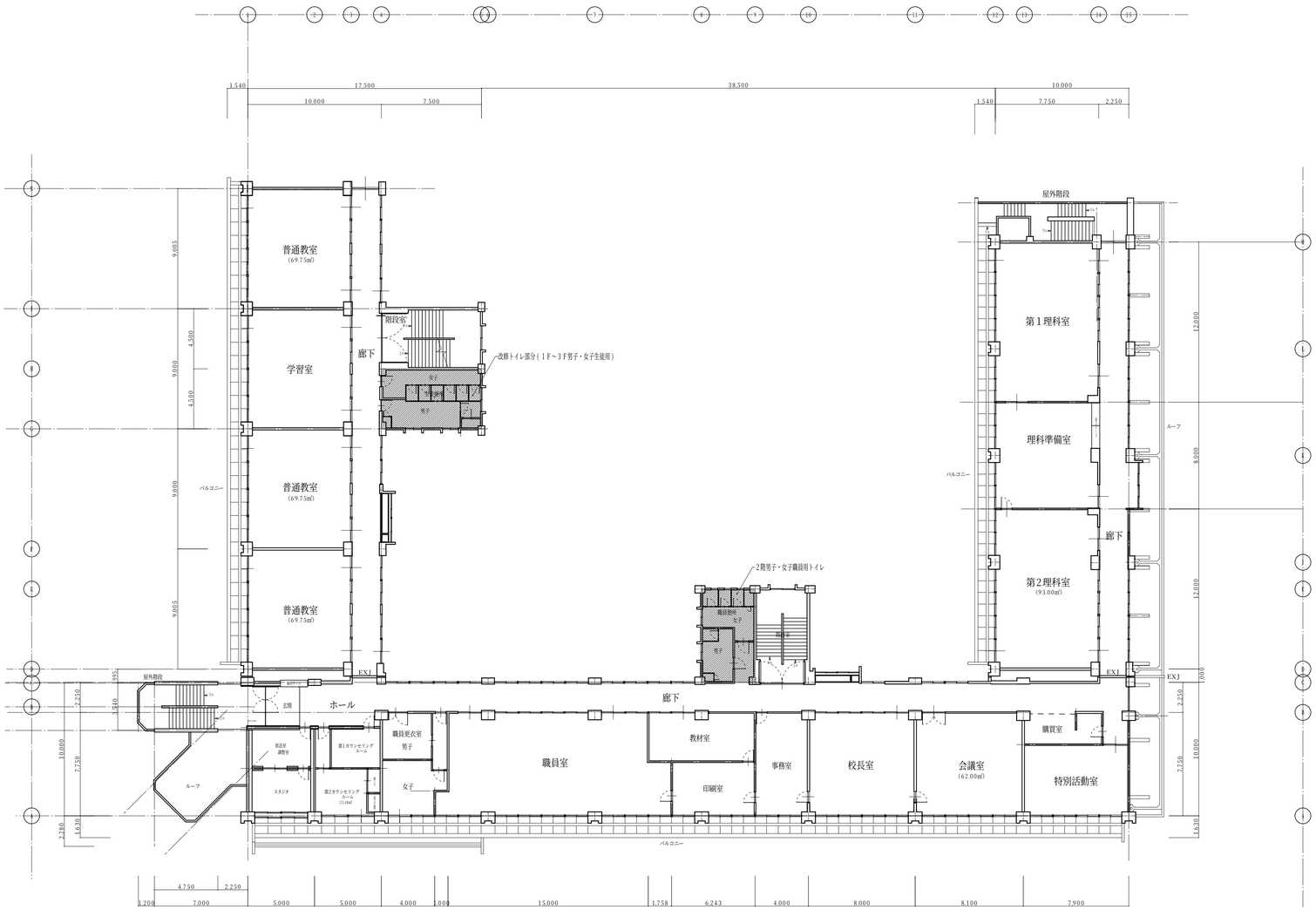
附近見取図

平成29年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1:500 SCALE		SCALE	SCALE
蒲生野中学校配置図		附近見取図	
DW.	CK.	NO. A-05	DATE 28-09



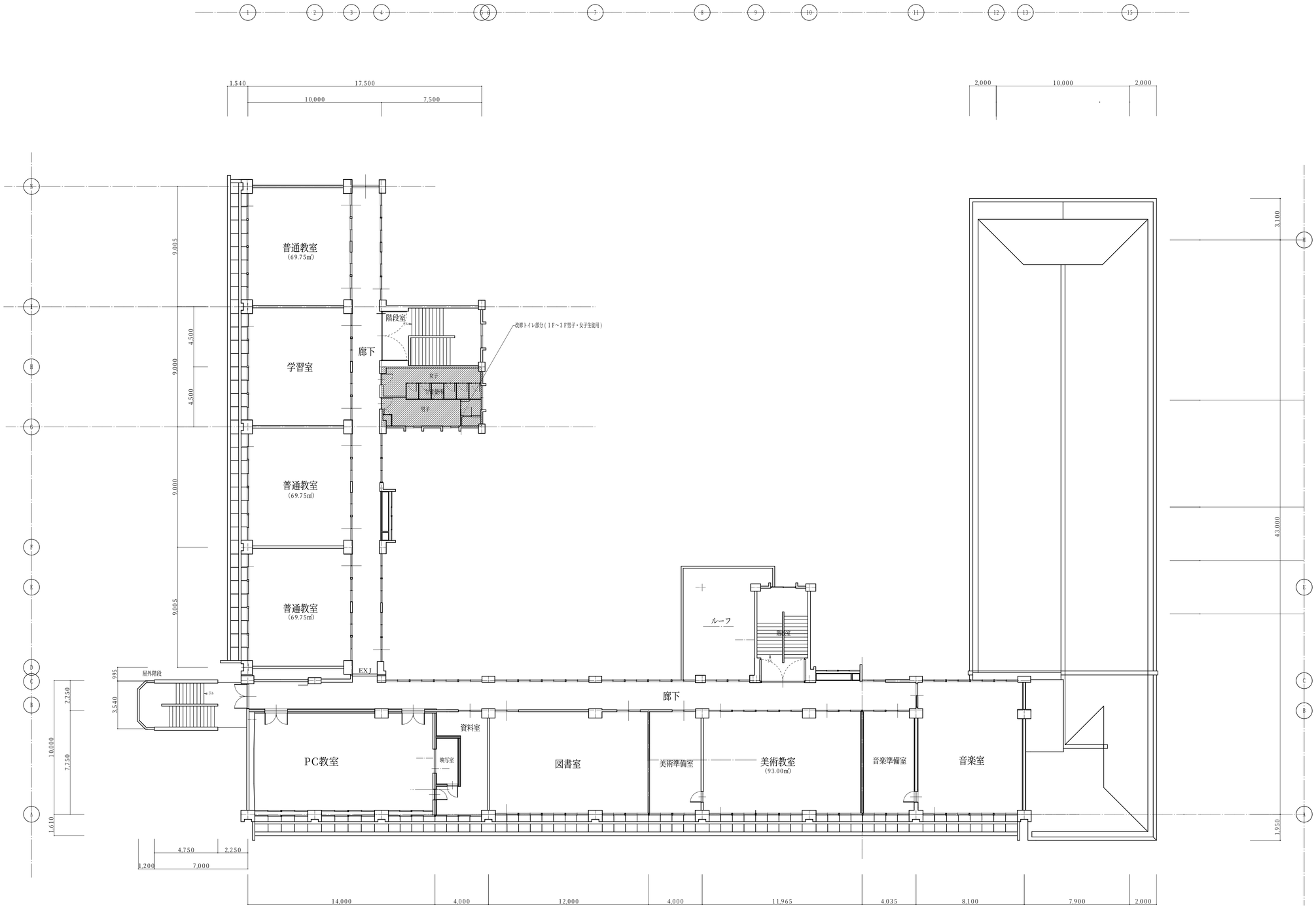
平成29年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1/200 SCALE		SCALE	SCALE
蒲生野中学校１階平面図			
DW.	CK.	NO. A-06	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



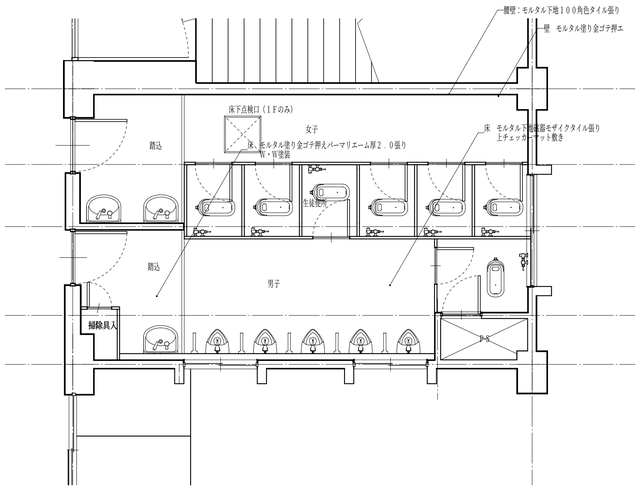
平成29年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1:200 SCALE	SCALE	SCALE	
蒲生野中学校2階平面図			
DW.	CK.	NO. A-07	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

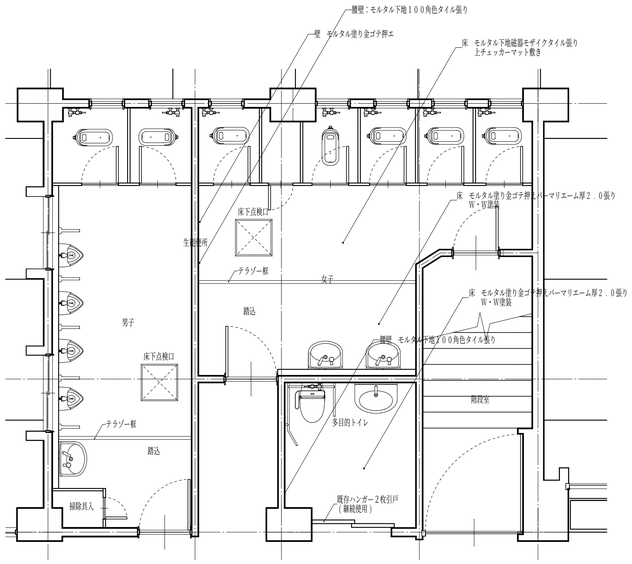


平成29年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1:200 SCALE	SCALE	SCALE	
蒲生野中学校3階平面図			
DW.	CK.	NO. A-08	DATE 28-09

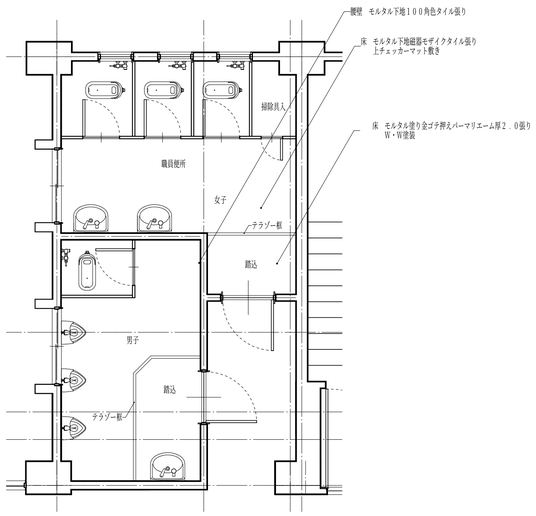
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



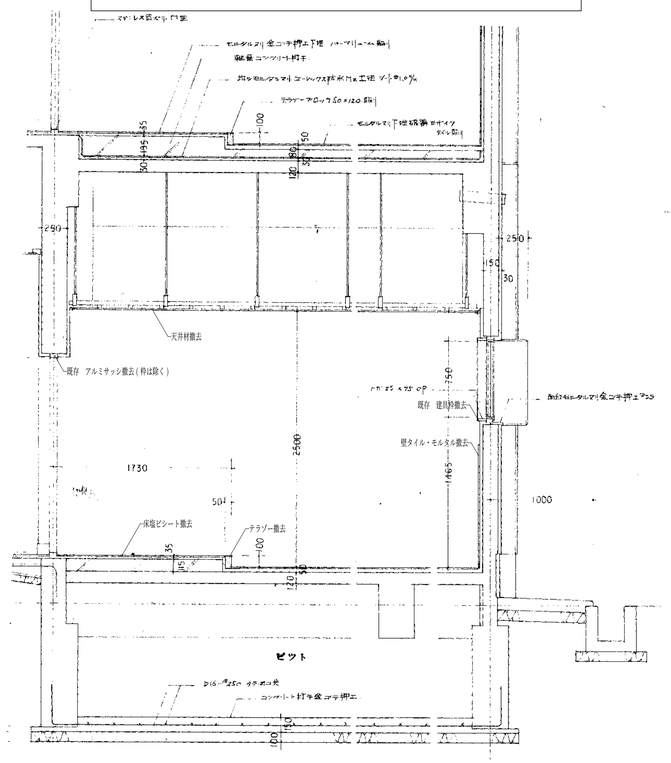
男子・女子生徒便所（1～3階まで共通）現況平面詳細図



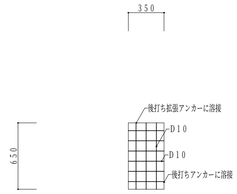
男子・女子・多目的トイレ（1階）現況平面詳細図



男子・女子職員便所（2階）現況平面詳細図



共通現況断面詳細図



便器穴修復要領図1／30

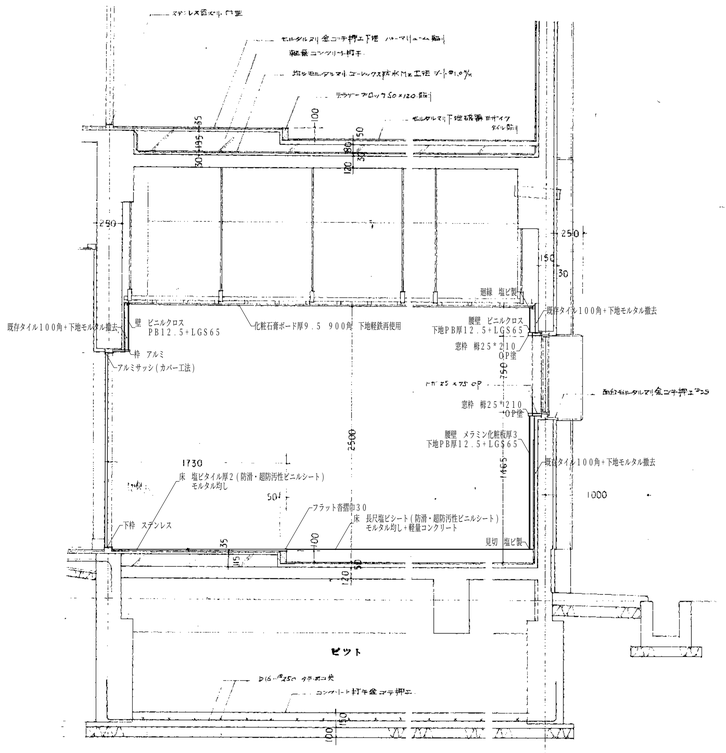
※仕上材は仕上表参照

平成29年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1／30 SCALE	1／30 SCALE		SCALE
現況平面詳細図	共通現況断面詳細図		
DW.	CK.	NO. A-09	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

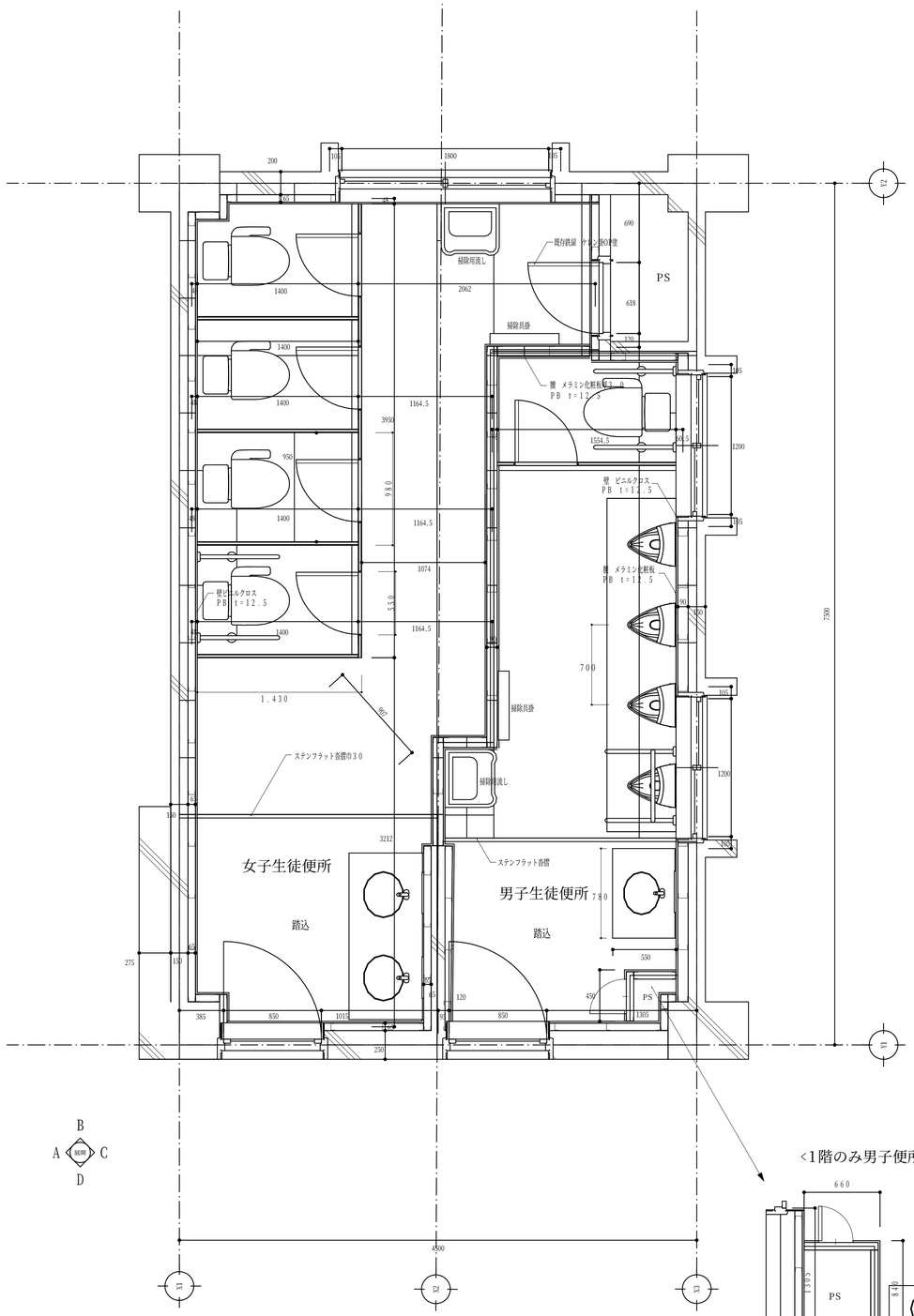
	改修前				改修後		
	職員便所（男女共）	生徒便所（男女共）	多目的トイレ		職員便所（男女共）	生徒便所（男女共）	多目的トイレ
天井	ケイ酸オルシュー板厚６７　Ｅ・Ｐ・Ｓ塗装 化粧板目地張	同左	同左	仕上	化粧石膏ボード９００角厚９．５（直貼）	同左 一部モルタル補修Ｅ・Ｐ塗	同左
廻縁	木製廻縁	同左	同左	廻縁	塩ビ製廻縁	同左	同左
壁	モルタル下地１００角色タイル張	モルタル塗り金ゴテ押えＶ・Ｐ塗	モルタル下地１００角色タイル張	仕上 下地	ビニルクロス ＰＢ厚１２．５、ＬＧＳ厚６５　　既存のタイル１００角と下地モルタル撤去	同左 同左	同左 同左
腰壁	モルタル下地１００角色タイル張	同左	同左	仕上 下地	メラミン化粧合板厚３．０ ＰＢ１２．５、ＬＧＳ６５　　既存のタイル１００角と下地モルタル撤去	同左 同左	同左 同左
巾木	モルタル下地１００角色タイル張	同左	同左	巾木	塩ビ製コブ型	同左	同左
床	モルタル下地磁器モザイクタイル張、上チェッカーマット敷 フミコミ床ハモルタル塗り金ゴテ押えパーマリエーム厚 ２．０張　Ｗ・Ｗ塗装	同左	モルタル塗り金ゴテ押えパーマリエーム厚２．０張 Ｗ・Ｗ塗装	踏込	ビニル床タイル	同左	同左
				その他	長尺塩ビシート厚２．０、汚垂れ石（小便器のみ）厚１１．７出巾６００	同左	同左
備考				備考	腰壁見切縁（来栖）ＯＰ塗　　トイレブース　ＴＢ－ＡＤＢ同等品　洗面カウンター出巾５５０樹脂製（ボールは設備） フラット各部巾３０　補強用見掛（ＵＴＲ４２２ＳＳ同等品） 各トイレの男子・女子・多目的毎に１か所天井点検口（４５０角アルミ）を設け、下地は開口補強を行うこと。 １階の男子・女子の床に設けられている床下点検口（６００角ステン合計３か所）は、同位置に新設すること。	同左	同左

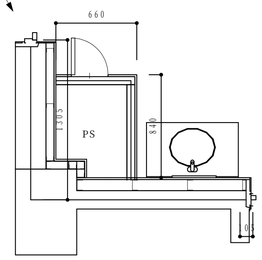
新旧仕上表



改修後共通断面詳細図

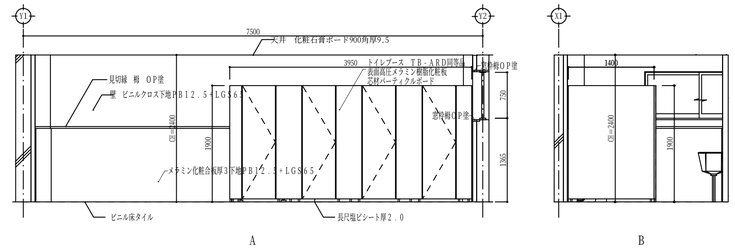
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図				設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号　野中健一 〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
新旧仕上表	改修後共通断面詳細図	1:30 SCALE	SCALE	
DW.	CK.	NO. A-10	DATE 28-09	



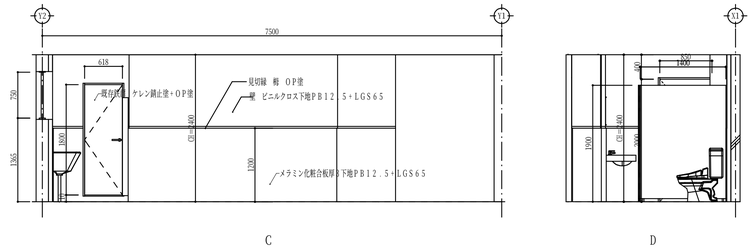


注記　トイレ内のＦＬは踏込の高さに揃える

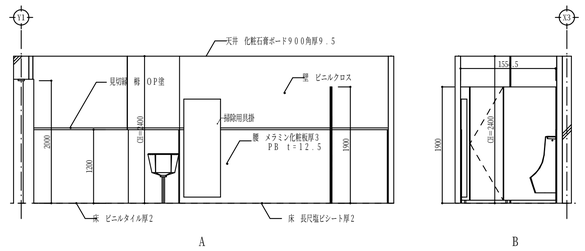
男子・女子生徒便所（１～３階共通）改修後平面詳細図　１／５０



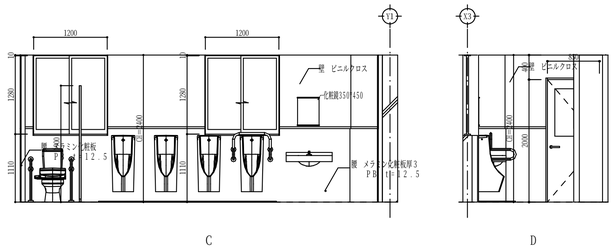
女子生徒便所　展開図



女子生徒便所　展開図



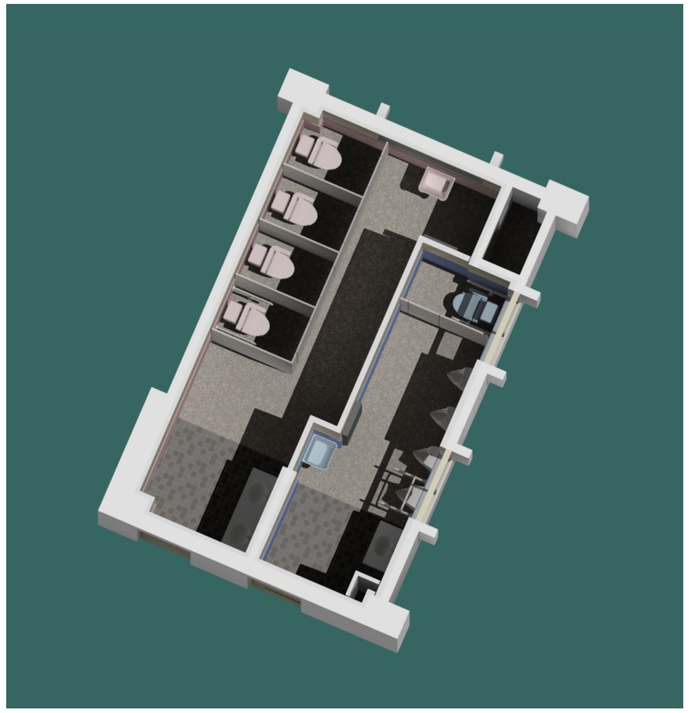
男子生徒便所　展開図



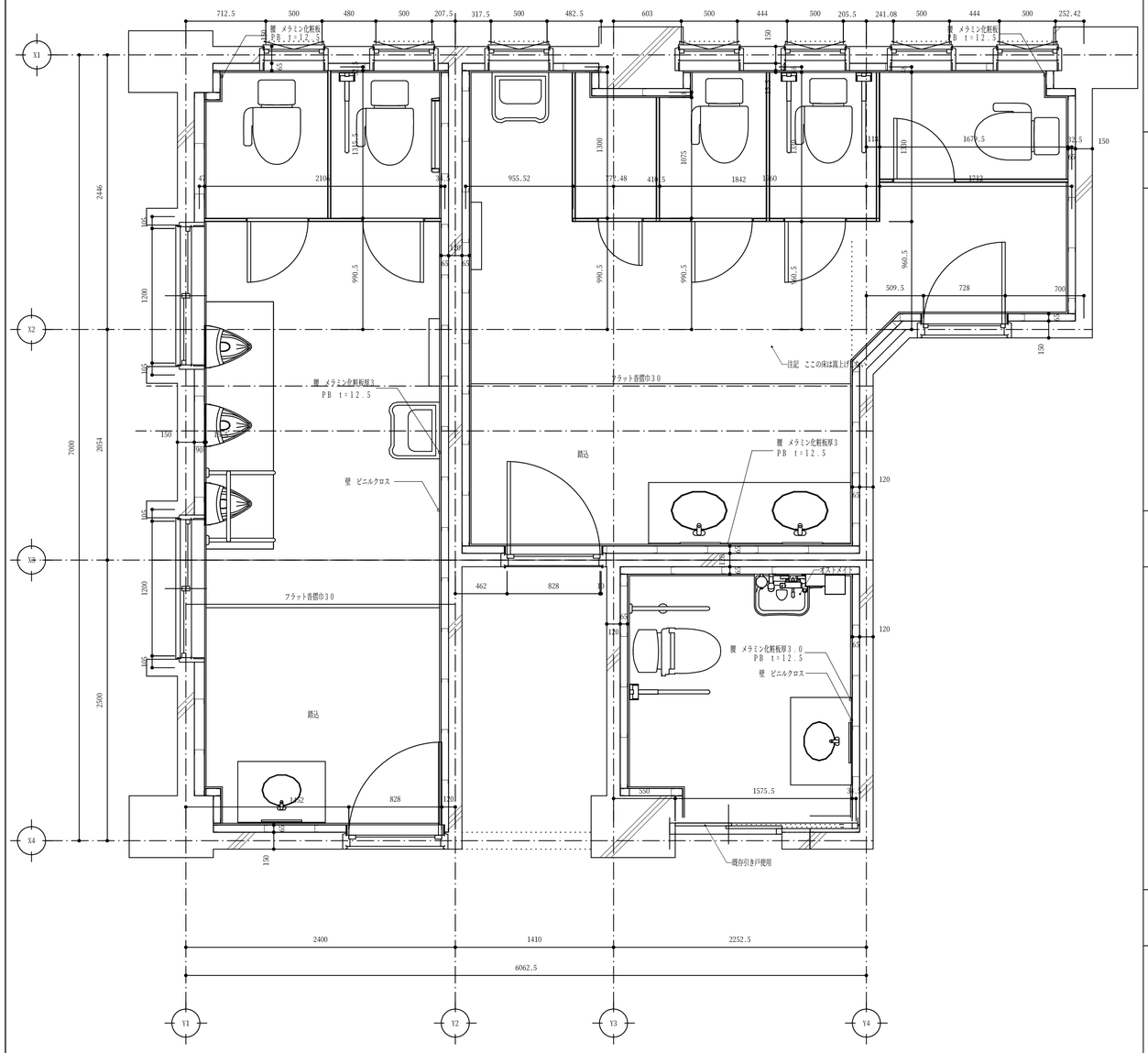
男子生徒便所　展開図

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1/50 SCALE		1/50 SCALE	SCALE
男子・女子生徒便所（1～3階共通）改修後平面詳細図		改修後展開図	
DW.	CK.	NO. A-11	DATE 28-09

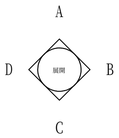
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

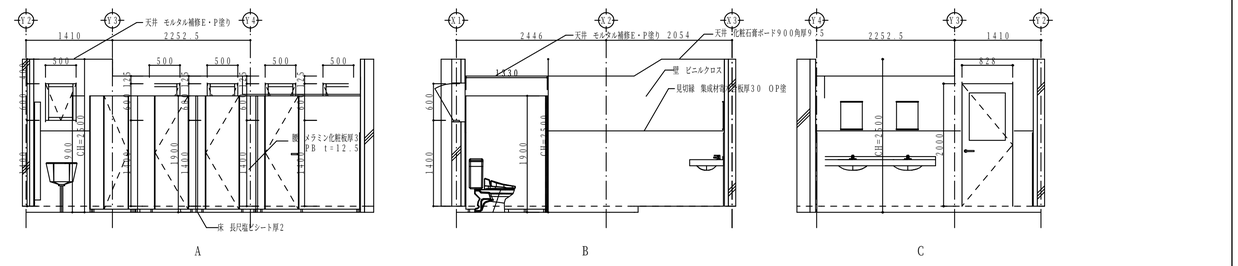


平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務				設計・監理　一級建築士事務所
SCALE			SCALE	野中建築設計事務所
男子・女子生徒便所（１～３階まで共通）室内透視図				1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. A-12	DATE 28-09	〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

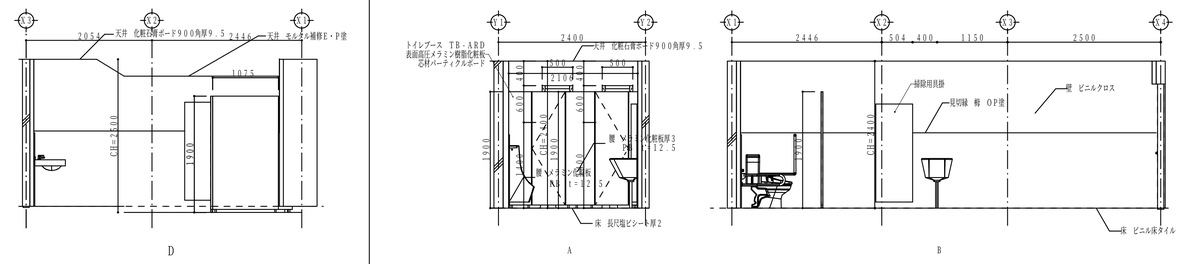


男子・女子・多目的トイレ（1階）改修後平面詳細図 1/50

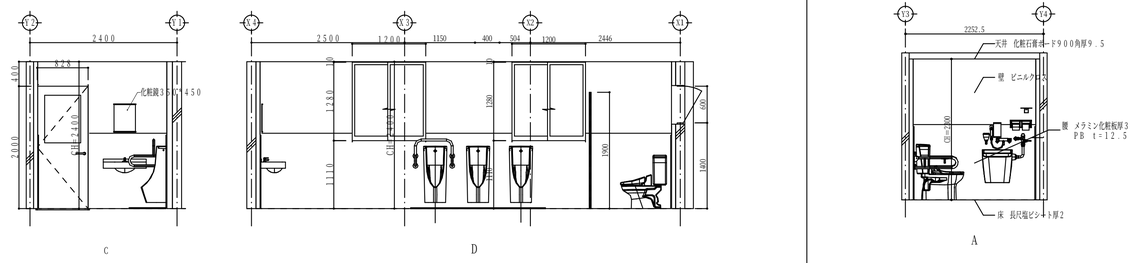


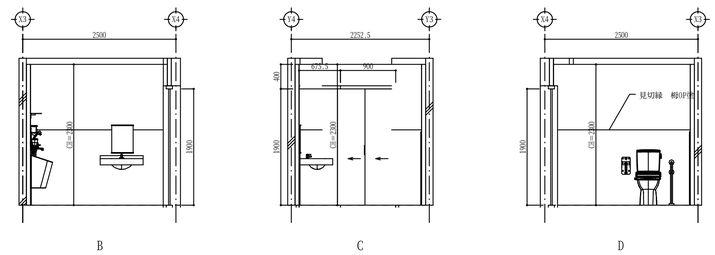


女子生徒便所　展開図



男子生徒便所　展開図





多目的トイレ　展開図

平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務			
1/50 SCALE		1/50 SCALE	
男子、女子生徒・多目的トイレ（1階）改修後平面詳細図		改修後展開図	
DW.	CK.	NO. A-13	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号 野中健一
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

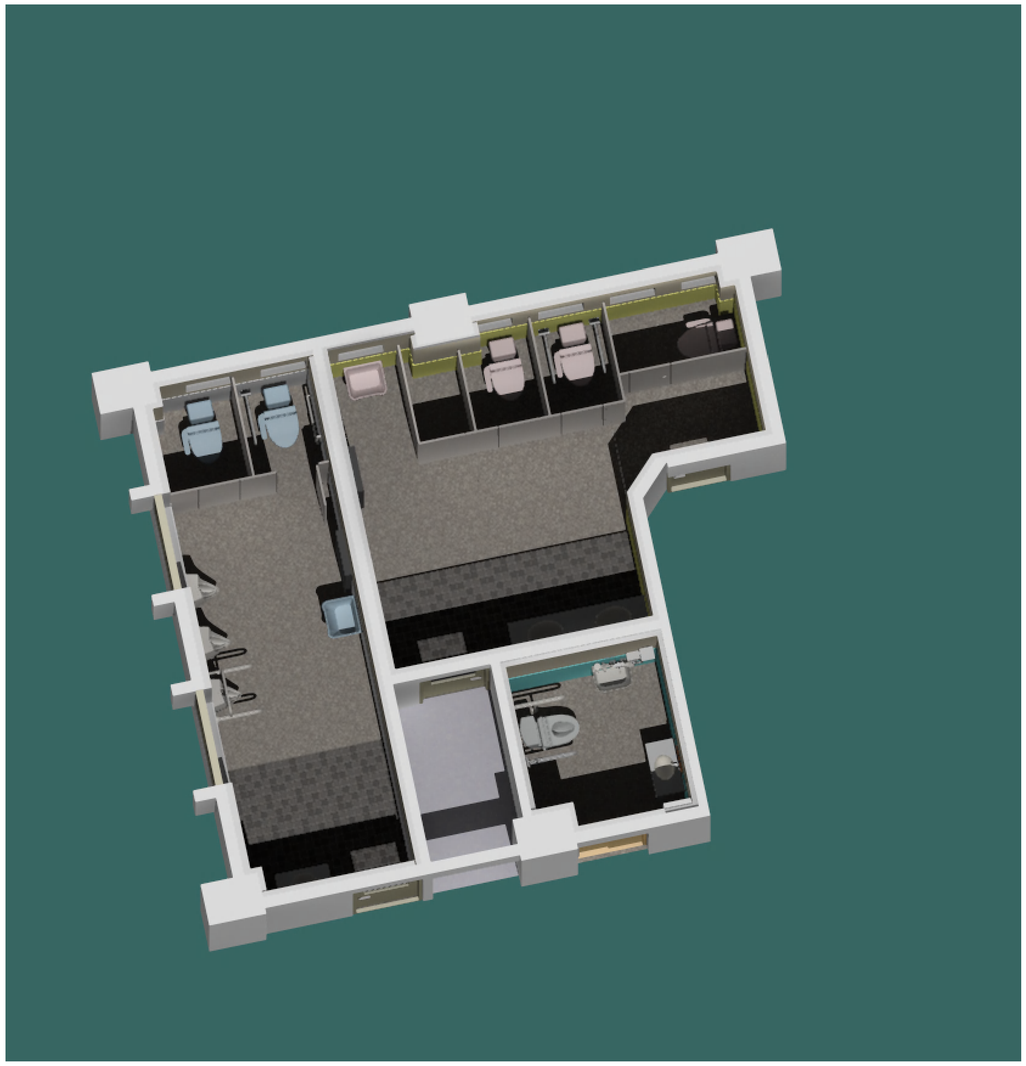
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

男子・女子生徒便所・多目的トイレ（１階）室内透視図１

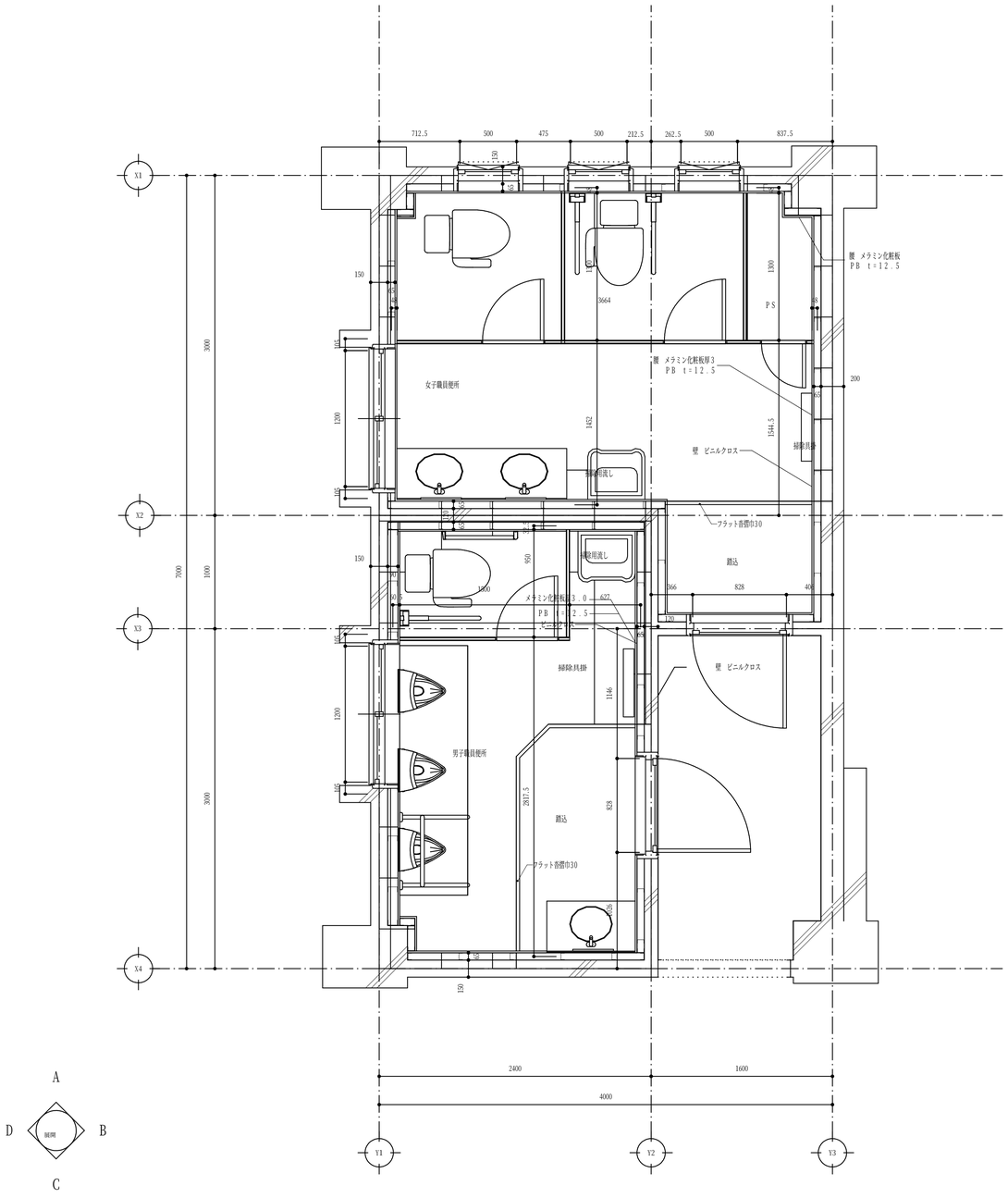
DW.	CK.	NO.	DATE
		A-14	28-09

SCALE　SCALE

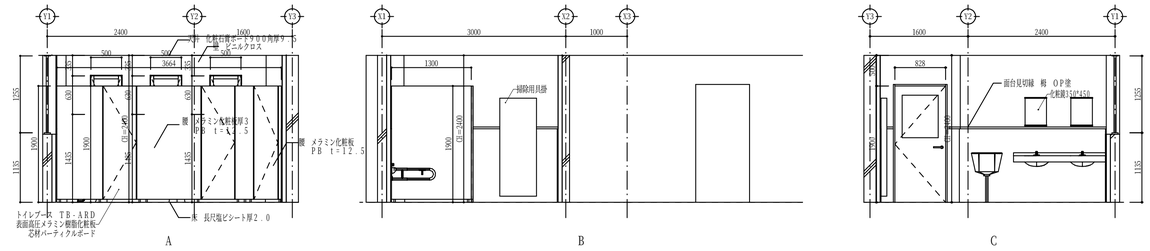
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



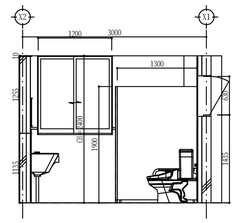
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務				設計・監理　一級建築士事務所
男子・女子生徒便所・多目的トイレ（１階）室内透視図２			SCALE / SCALE	野中建築設計事務所
DW.	CK.	NO. A-15	DATE 28-09	一級建築士第１４７９３１号　野中健一
				〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

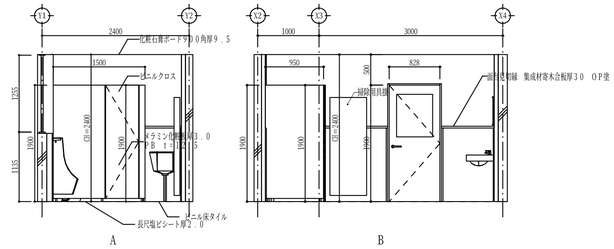


男子・女子職員便所（２階）改修後平面詳細図　１／５０

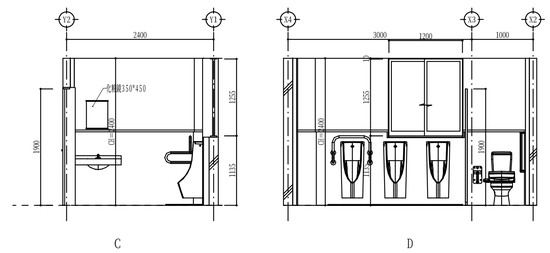


女子職員便所　展開図





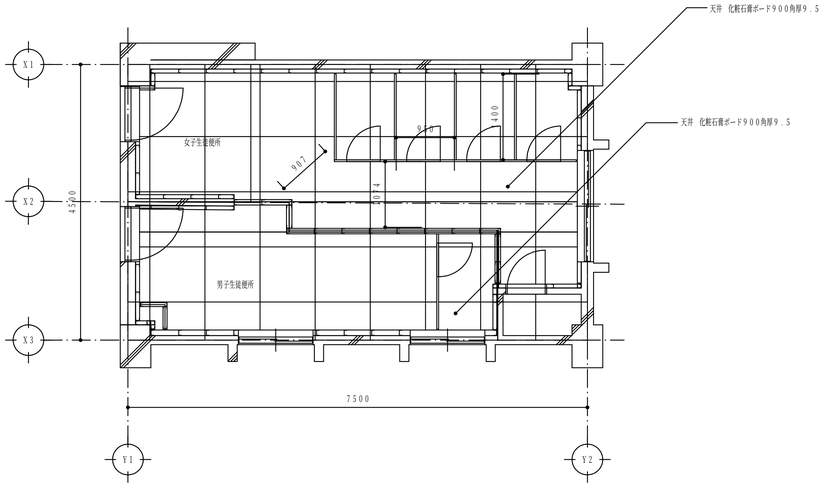
男子職員便所　展開図



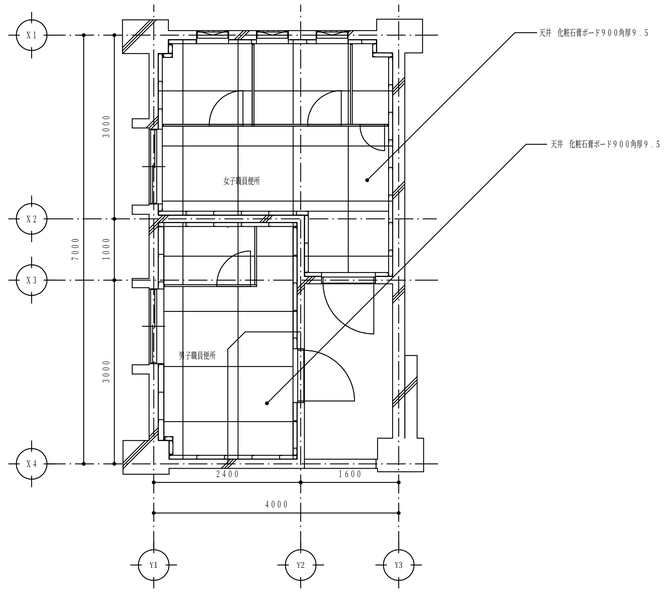
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務			設計・監理　一級建築士事務所
1:50 SCALE	1:50 SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
男子・女子職員便所（２階）改修後平面詳細図	改修後展開図		1級建築士第147931号 野中健一
DW.	CK.	NO. A-16	DATE 28-09

〒622-0014 京都府南丹市園部町上木町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

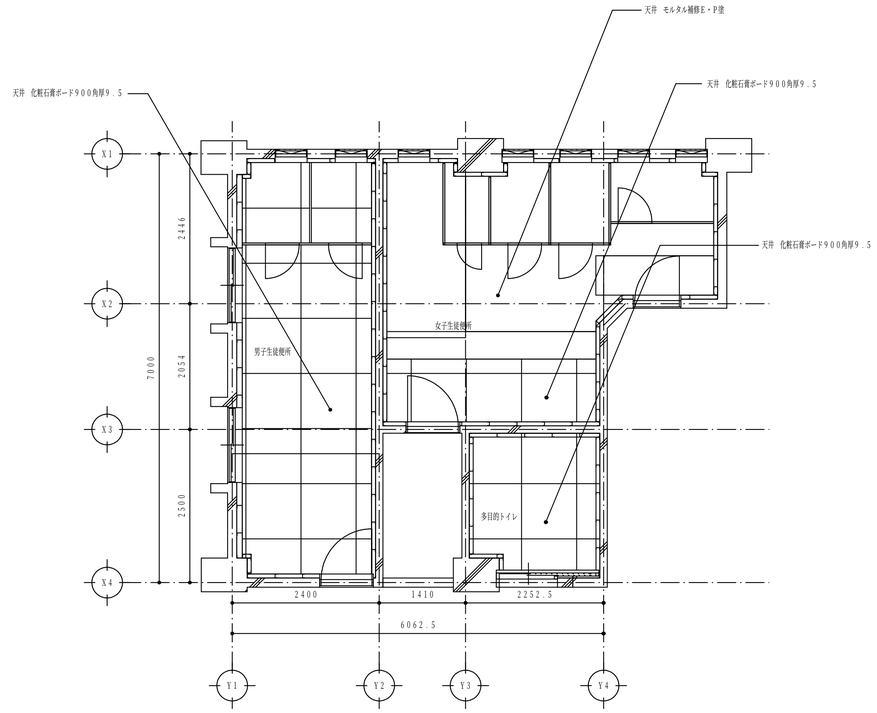
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務				設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号　野中健一 〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
SCALE			SCALE	
男子・女子職員便所（２階）室内透視図				
DW.	CK.	NO. A-17	DATE 28-09	



男子・女子生徒便所（１～３階まで共通）



男子・女子職員便所（２階）



男子・女子生徒・多目的トイレ（１階）

※仕上材は仕上表参照。

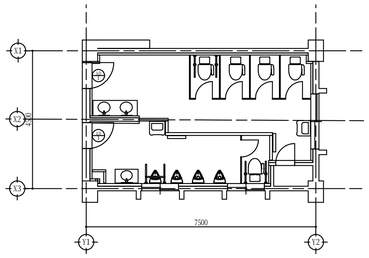
「男子・女子生徒・多目的トイレ（1階）」の女子生徒便所の

天井の一部分のみ「モルタル補修ＥＰ塗」（天井伏図参照）。

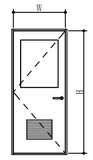
各トイレの男子・女子・多目的毎に1ヵ所天井点検口
（４５０角アルミ）を設けて、下地は開口補強を行うこと。

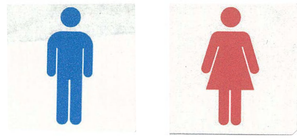
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1:100 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
天井伏図			
DW.	CK.	NO. A-18	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上木町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

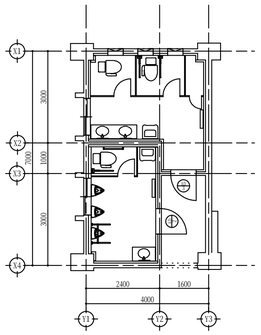


男子・女子生徒便所（1～3階まで共通）建具配置図 1/100

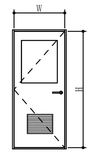
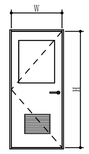
符号・名称				AD	片開きアルミフラッシュ戸		
姿図							
取付階・室名・箇所数				1F～3F			6
建具W	建具H	扉見込	枠見込	850	2000	35	70
建具材質	建具仕上	枠材質	枠仕上	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消
ガラス種類		ガラス厚		学校用型板強化ガラス		4	
額縁		下枠		アルミ	フラット香摺		
錠形式（内）	錠形式（外）	錠種別		なし	なし		
附属金物				ドアチェック・ドアハンドル・戸当たり・アルミガラリ（防虫網付）			
備考				カバー構法とし、上記寸法は現状の寸法とする			

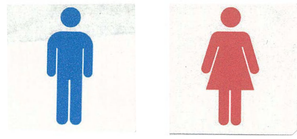


男子トイレ・女子トイレの入り口ドアのガラス面にピクトサイン（１５０角）を貼り付ける

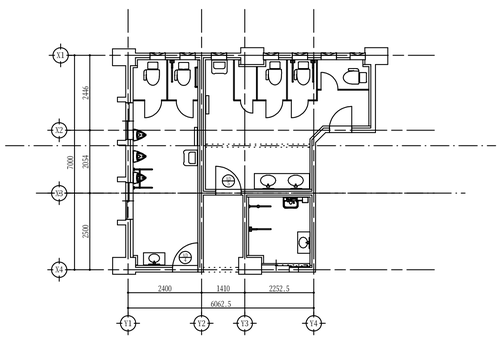


男子・女子職員便所（２階）建具配置図1/100

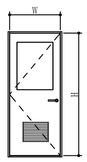
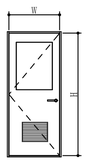
符号・名称				AD	片開きアルミフラッシュ戸			AD	片開きアルミフラッシュ戸		
姿図											
取付階・室名・箇所数				1F			1	1F			1
建具W	建具H	扉見込	枠見込	828	1900	35	70	828	1900	35	70
建具材質	建具仕上	枠材質	枠仕上	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消
ガラス種類		ガラス厚		学校用型板強化ガラス		4		学校用型板強化ガラス		4	
額縁・香摺等				アルミ	フラット香摺			アルミ	フラット香摺		
錠形式（内）	錠形式（外）	錠種別		なし	なし			なし	なし		
附属金物				ドアチェック・ドアハンドル・戸当たり・アルミガラリ（防虫網付）				ドアチェック・ドアハンドル・戸当たり・アルミガラリ（防虫網付）			
備考				カバー構法とし、上記寸法は現状の寸法とする				カバー構法とし、上記寸法は現状の寸法とする			



男子トイレ・女子トイレの入り口ドアのガラス面にピクトサイン（１５０角）を貼り付ける



男子・女子生徒・多目的トイレ（1階）建具配置図1/100

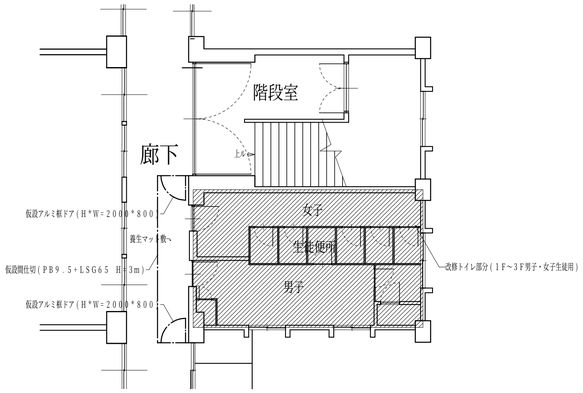
符号・名称・性能				AD	片開きアルミフラッシュ戸			AD	片開きアルミフラッシュ戸		
姿図											
取付階・室名・箇所数				1F			1	1F			1
建具W	建具H	扉見込	枠見込	828	2000	35	70	828	2000	35	70
建具材質	建具仕上	枠材質	枠仕上	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消	アルミニウム	二次電解着色塗消
ガラス種類		ガラス厚		学校用型板強化ガラス		4		学校用型板強化ガラス		4	
額縁・香摺等				アルミ	フラット靴摺			アルミ	フラット靴摺		
錠形式（内）	錠形式（外）	錠種別		なし	なし			なし	なし		
附属金物				ドアチェック・ドアハンドル・戸当たり・アルミガラリ（防虫網付）				ドアチェック・ドアハンドル・戸当たり・アルミガラリ（防虫網付）			
備考				カバー構法とし、上記寸法は現状の寸法とする				カバー構法とし、上記寸法は現状の寸法とする			

男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレの入り口ドアのガラス面又は腰部にピクトサイン（１５０角）を貼り付ける

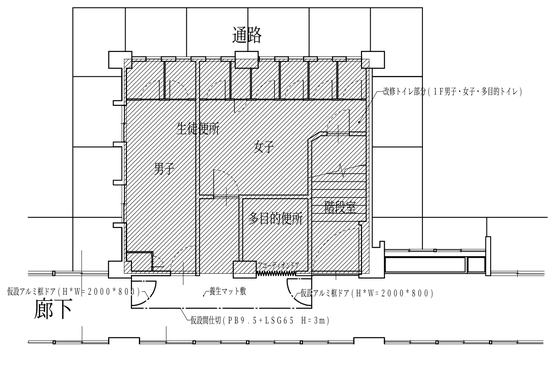
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1:100 SCALE	1:50 SCALE	SCALE	SCALE
建具配置図	建具表		
DW.	CK.	NO. A-19	DATE 28-09

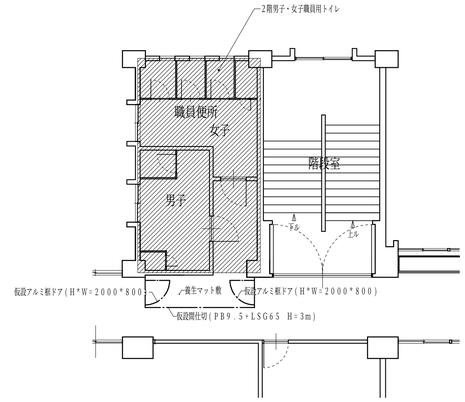
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



１階～３階男子・女子トイレ共通仮設計画図



１階男子・女子・多目的トイレ仮設計画図



２階男子・女子職員トイレ仮設計画図

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1:100 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
仮設計画図			
DW.	CK.	NO. A-20	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

【工事概要】

1　工事場所　船井郡京丹波町　蒲生　地内

2　建物概要

建物名	構造	階数	延床面積（m²）	消防法令別表第一	備考
校舎棟トイレ					

3　工事科目　　●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目＼建物名称	校舎棟		
電灯設備	●		
動力設備			
雷保護設備			
受変電設備			
電力貯蔵設備			
発電設備			
構内情報通信網設備			
構内交換設備			
情報表示設備			
映像・音響設備			
拡声設備			
誘導支援設備	●		
テレビ共同受信設備			
監視カメラ設備			
駐車場管制設備			
防犯・入退室管理設備			
自動火災報知設備			
中央監視制御設備			
医療関係設備			
構内配電線路			
構内通信線路			
電波障害調査			
撤去工事	●	図中記載の撤去設備図の一切を撤去する。	

【特記事項】

1　一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十五年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成二十五年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十五年版」による。

2）工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2　特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針◆」（以下、「グリーン調達◆」という。）の特定調達品目を示す。 ◆京都府ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ参照　<ｈｔｔｐ://ｗｗｗ.ｐｒｅｆ.ｋｙｏｔｏ.ｊｐ/ｚａｉｓａｎ/ｋａｎｋｙｏ.ｈｔｍｌ>
	●機材の品質・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｂ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	○グリーン調達適合品の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ○蛍光灯照明器具　　○ランプ　　○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第１０条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	○電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の場合も、第１種電気工事士による施工を行う。
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	●官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	●工事用仮設物	構内につくることが　※できる　　○できない
	○足場・さん橋類	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	○監督職員事務所	※設置しない　　○設置する　（○本工事　　○別途）
	○監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)　・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針　・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針　・工事写真の撮り方(最新版)-建築設備編- ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
	●建設副産物の処理及び建設発生土の処理	●建設副産物の処理　右記のほか、現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの　【　　】 ○再生資源利用を図るもの【　　】 ○特別管理産業廃棄物 ○ＰＣＢ使用機器　○ＳＦ６ガス使用機器　○
		○建設発生土処分　右記のほか、現場説明書による。 ○構外指定地に搬出処理　※(財)城陽山城砂利採取地整備公社　○ ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適切処理
		●再生資源利用促進計画書等の作成・提出 建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施工計画書に含めて提出する。また、実績については再生資源利用促進施書として提出する。
		1）「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。
		○アスベスト成形板の処理等 施工調査　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲　※成形板の製造年等の確認　○Ｘ線解析法 処理方法　※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項
一般事項	●工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集◆一覧表により提出。 ◆京都府ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ参照　<ｈｔｔｐ://ｗｗｗ.ｐｒｅｆ.ｋｙｏｔｏ.ｊｐ/ｅｉｚｅｎ/ｉｎｄｅｘ.ｈｔｍｌ>
	○履行報告	月報　※２部　○３部　毎月末に〆め、翌月の５日までに提出する。
	●工事写真	１）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（最新版）－建築設備編－」による。 ２）工事完成時、整理の上、１部提出する。 ３）デジタルカメラで撮影可とする。
	●完成図書	名称／内容／大きさ／部数 ○完成図／金文字製本／Ａ４版／１部 ●完成図／○背貼り製本（　版）　●Ａ４ファイル止め／／２部 ●施工図／○背貼り製本（　版）　●Ａ４ファイル止め／／２部 ○機器完成図等／機器製作図　ファイル止め　保守指導案内書（機器取説書を含む）　機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書／Ａ４版／２部 ●諸官庁提出書類／副本／／１式 ●原図／完成図・施工図／／１部 ●完成写真／アルバム綴り／／２部 電子納品については、現場説明書による。
	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	●付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表１による。
共通事項	○耐震施工	１）設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」による。 ２）下記の設計用水平震度（ＫＨ）により、機器製作固定を行う。

設置場所	○特定の施設 重要機器	○特定の施設 一般機器	○一般の施設 重要機器	○一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２.０（２.０）	１.５（２.０）	１.５（２.０）	１.０（１.５）
中間階	１.５（１.５）	１.０（１.５）	１.０（１.５）	０.６（１.０）
１階及び地下階	１.０（１.０）	０.６（１.０）	０.６（１.０）	０.４（０.６）

設置場所	○特定の施設 水槽	○一般の施設 水槽
上層階、屋上及び塔屋	２.０	１.５
中間階	１.５	１.０
１階及び地下階	１.５	１.０

注１　（　）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。
注２　設計用鉛直震度は、設計用水平震度の１／２とする。
注３　上層階の定義は、６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上階２階。
注４　重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。）
○配電盤　○直流電源装置　○自家発電装置　○交換機
○電算用電源　○中央監視装置　○ＵＰＳ装置　○自動火災報知装置

章	項目	特記事項
共通事項	○風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Ｖｏ（○３０　※３２　○３４）　地表面粗度区分（○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ）
	○風圧力（耐風力）	建築基準法施行令第８７条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 ○受雷部システム及び引下げ導線システム　○太陽光発電装置　○風力発電装置 ○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト　○
	●電線類	１）特記なきものは、ＥＭ－ＩＥとする。 ２）ＥＭ電線、ＥＭケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。

ＥＭ－アクセスフロア	ＪＣＳ４５０２（６００Ｖアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル）による６００Ｖアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（ＥＭ－ＥＥ）及び６００Ｖアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（ＥＭ－ＣＥ）を示す。
ＥＭ－ＭＥＥＳ	ＪＣＳ４２７１に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

３）長さ１ｍ以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。

章	項目	特記事項
共通事項	●電線管	電線管　※ＰＦ管　ただし、露出部分は鋼製電線管又は第１種金属線びとする。分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(※鋼製電線管○ＰＦ管)とする。 ○ねじなし電線管 １）雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 ２）スラブ厚の１／４を越える外径の配管及び（ＰＦ２２）又は（３１）相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管　最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 屋外及び屋内の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。
	●電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。
	●ボックス	ＰＦ管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
	●予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が４個以下の場合（25）を１本、５個以上の場合（25）を２本天井内まで立上げる。ケーブルラックの防火貫通部に（51）を１本以上立上げる。
	●フラッシュプレート	和室　※樹脂製　●金属製（※新金属製　○ステンレス製） その他　○樹脂製　※金属製（※新金属製　○ステンレス製）
	○フロアプレート・ベース	水平高低調整式（空転防止リング付、ＯＡフロアー部分を除く）とする。 ※砲金製　○アルミ合金製
	●機器	寸法　盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続　電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト　アンカーボルト及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等　（※溶融亜鉛メッキ　○ＳＵＳ） その他　（※一般品　○　）
	●機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、ＥＭ電線及びＥＭケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ●分電盤　○ＯＡ盤　○実験盤　○開閉器箱　○制御盤 ○キュービクル式配電盤　○直流電源装置　○交流無停電電源装置（ＵＰＳ） ○
	●はつり	１）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 ２）復旧はモルタル補修までとする。

章	項目	特記事項
共通事項	○再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱　※ＳＵＳ　○鋼板製 屋外のプルボックス　※ＳＵＳ　○鋼板製
電灯設備	●工事範囲	●配管　●配線　●機器取付
	●電気方式	幹線　○単相３線式　１００Ｖ/２００Ｖ　○直流２線式　１００Ｖ 分岐　●単相２線式　●１００Ｖ　○２００Ｖ ○直流２線式　１００Ｖ
	○照明制御による効果の評価	社団法人日本照明器具工業会技術資料１３０「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
	●照明制御装置　〔グ〕	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。センサー設定器を附属させる。
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。
	●蛍光灯安定器及びＬＥＤ制御装置の種類	蛍光灯安定器及びＬＥＤ制御装置・電圧は、標準図及びＪＩＬ５００４－２０１２「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。

器具の種類		安定器等の種類	電圧(Ｖ)
直管形蛍光灯〔グ〕Ｈｆ形	ＦＨＦ１６形	ＰＨ	○100　○200
	ＦＨＦ３２形	○ＰＮ　○ＰＨ	○100　○200
コンパクト形蛍光灯〔グ〕Ｈｆ形	ＦＨＰ３２形，ＦＨＰ４５形	ＰＮ	○100　○200
ＬＥＤ灯〔グ〕		ＬＮ	標準図による

章	項目	特記事項
電灯設備	●ＲＰ又はＭＰ形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、ＳＵＳを含む複数の材料が適用されている場合は、ＳＵＳを適用する。
	○非常用照明の形式	○電池内蔵形　○電池別置形
	○フロアコンセント	○引出し形　○飛び出し形　○内部固定形　○外部固定形　○ＯＡフロアー用
	●分電盤等	本工事の分電盤、ＯＡ盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、ＪＩＳ　Ｃ　８２０１－２－１「回路遮断器」、同付属書ＸＣ「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。 特記なき場合、分岐に用いる２極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、１極サイズのものとする。 端子盤部に　○通気口　○冷却ファン　を設ける ○配線用遮断器　○カットアウトスイッチ　を設ける。
	○照明用ポール	
	●一般照明の照度測定	実施　●する　○しない
動力設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
	○電気方式	幹線　○三相３線式　２００Ｖ　○ 分岐　○三相３線式　２００Ｖ　○
	○制御盤	単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。
	○監視方法	○警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、空調機を停止させる。
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。

電動機出力（ｋＷ）	０.４	０.７５	１.５	２.２	３.７	５.５	７.５
ｲﾝﾊﾞｰﾀ効率（％）	８５.０	８７.０	８８.５	８９.５	９０.０	９０.５	９１.０
電動機出力（ｋＷ）	１１	１５	１８.５	２２	３０	３７	４５
ｲﾝﾊﾞｰﾀ効率（％）	９１.５	９２.０	９２.５	９３.０	９３.５	９４.０	９４.５

備考）１）電動機の供給電圧は１００Ｖ又は２００Ｖとする。
２）インバータ効率は、１００％負荷時の値とする。

章	項目	特記事項
雷保護設備	○工事範囲	○外部雷保護システム（○受雷部システム　○引下げ導線システム　○接地システム） ○内部雷保護システム
	○保護レベル	○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ
	○受雷部システム	突針支持管　※鋼製　○ステンレス製
	○接地システム	○Ａ型接地極（○板状接地極　○垂直接地極　○放射状接地極） ○Ｂ型接地極（○環状接地極　○網状接地極）
受変電設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
	○電気方式	高圧　三相３線式　６ｋＶ 低圧　○三相３線式２００Ｖ　○単相３線式１００Ｖ／２００Ｖ ○三相３線式　Ｖ　○三相４線式　Ｖ／　Ｖ
	○配電盤形式	○屋内キュービクル式配電盤　○屋外キュービクル式配電盤　○開放形配電盤 ○変圧器盤　○コンデンサ盤　○系統連系保護制御盤 ○高圧スイッチギア（○　ＣＸ形　○　ＣＷ形　○　ＰＷ形　） ○低圧スイッチギア（○　ＣＸ形　○　ＣＳ形　○　ＣＷ形　○　ＦＷ形）
	○変圧器の規格	変圧器の規格は次による。 ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でＨ絶縁材料を使用するものは除く。

○油入変圧器	単相・三相	ＪＥＭ　１５００・ＪＩＳ　Ｃ　４３０４　〔グ〕
○モールド変圧器（絶縁種別　Ｆ）	単相・三相	ＪＥＭ　１５０１・ＪＩＳ　Ｃ　４３０６　〔グ〕

章	項目	特記事項
受変電設備	○監視方式	○警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視
	○基礎	○本工事　○別途工事　○既設
	○付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅６００ｍｍ以上・高さ１，８００ｍｍ以上） ○充電標示器は、断路器の１次側の適切な場所に設ける。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

NON SCALE　SCALE　SCALE

電気設備特記仕様書1

DW.　CK.　NO. E-01　DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

章	項目	特記事項	
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○直流電源装置	用途　○建築基準法用　○消防法用　○受変電設備専用 その他　○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、９０Ｖとする。	
	○交流無停電電源装置（ＵＰＳ）	用途　（　　） 方式　○一般形　○簡易形	
発電設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○形式	○オープン形　○簡易形　○キュービクル	
	○連続運転可能時間	○１０時間（乙）　○７２時間（甲）　○	
	○発電機	電気方式　三相３線式 電　圧　○２１０Ｖ　○６．６ｋＶ　○４１５Ｖ 定格出力　ｋＶＡ以上　力率　０．８	
	○原動機	種　別　○ガスタービン　○ディーゼル機関　○ガスエンジン ○マイクロガスタービン　○燃料電池　○コージェネレーション 定格出力　ｋＷ（　ＰＳ）以上 始動方式　○電気式　○空気式 冷却方式　○ラジエーター式　○水槽循環式	
	○燃料	種類　○重油　○軽油　○灯油　○ガス（　　） ○燃料小出槽　㍑ ○主燃料槽　㍑	
	○監視方式	※警報盤による代表監視　○中央監視盤による監視	
	○太陽光発電装置［グ］	太陽電池　アレイ設置可能建築面積　公称最大出力　ｋＷ以上　㎡以下（長辺　ｍ×短辺　ｍ）	
		系統連系	○受動　○能動
		パワーコンディショナ出力	相　線式　Ｖ　ｋＷ以上
		逆潮流	○有　※無
		交流出力電圧	○１００Ｖ　○２００Ｖ
		出力電気方式	○三相３線式　○単相３線式　○単相２線式
	○風力発電装置（定格出力２０ｋＷ未満に適用）	系統連系	○有　○無
		運転音	※８０ｄＢ（Ａ）以下　○
		移報用の遠方監視用接点	○要　○不要
	○外部移報	※有　○無	
通信網設備 構内情報	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○施工方法	○金属管配線　○ケーブル配線　○合成樹脂管配線	
構内交換設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○保安器用接地	※本工事　○別途工事	
	○形式	○電子交換機　○ボタン電話装置	
	○電話機への配線	電話機１台につき以下を見込む。 ○ＥＭ－ＴＩＥＦ　０．６５－２Ｃ　２０ｍ（片側６極２心ﾓｼﾞｭﾗｰﾛｰｾﾞｯﾄ付） ○ＥＭ－ＵＴＰ　０．５　－４Ｐ　２０ｍ（片側８極８心ﾓｼﾞｭﾗｰﾛｰｾﾞｯﾄ付） ○ＥＭ－ＢＴＩＥＥ　０．４　－２Ｐ　２０ｍ（片側６極４心ﾓｼﾞｭﾗｰﾛｰｾﾞｯﾄ付） ○２号ワイヤプロテクタ　１．５ｍ	
情報表示設備	○工事種類	○マルチサイン装置　○出退表示設備　○時刻表示設備	
	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○親時計及び付属装置	○ＣＲ　-Ｐ　Ｍ　○ＣＷ　-Ｐ　Ｍ ○プログラムタイマ（○カード式　○キー式　○　　）	
	○子時計	特記なきものは　※ＳＷＡ$_{33}$－Ｇ$_{P}$Ｂ$_{2}$　○	
映像音響設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○施工方法	○金属管配線　○ケーブル配線　○合成樹脂管配線	
拡声設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○増幅器	用途 形式 定格出力 出力制御盤 付加機能	○全館放送用（※一般放送　○非常放送） ○卓上形　○ラック組込形 Ｈｉ形　Ｗ以上 ※有　回線　○無 ○リモコン機能　○コールサイン機能 ○モニター機能
			○ローカル放送用 ○卓上形　○ラック組込形 Ｈｉ形　Ｗ以上 ※有　回線　○無 ○リモコン機能　○コールサイン機能 ○モニター機能
		○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	
	○マイクロホン	○卓上形　台　○ハンド形　台　○	
	○スピーカ	特記なきものは　※ＳＣ$_{a}$Ｈｉ－１Ｖ$_{3}$－Ｍ　○	
誘導支援設備	●工事範囲	●配管　●配線　●機器取付	
	●工事内容	○音声誘導装置　検出方式（○磁気式　○無線式　○画像認識）	
		○インターホン	○電話式　○相互式
		○テレビインターホン	○カラー　○白黒
		○外部受付用インターホン	○カラー　○白黒
		●トイレ等呼出し装置	窓　呼出しボタン ●壁付ボタン　（ブルスイッチの長さは、０．２ｍ以上とする） ○壁付握りボタン（握りボタンの長さは、１．２ｍ以上とする）
		○受付呼出し装置　○誘導音	
テレビ共同受信設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○アンテナ	○ＶＨＦ用　○ＵＨＦ用　○ＢＳ用　○ＣＳ用 ○ＡＭ用　○ＦＭ用　○ＣＡＴＶ	
	○アンテナマスト	○壁面取付形　○自立形 鋼管のアンテナマスト及びその支持材等は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。	
	○電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。	

章	項目	特記事項	
監視カメラ設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○画像	○カラー　○白黒	
駐車場管制設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○車両検出方式	○ループコイル方式　○光線方式	
防犯・入退室管理設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置　○入退室管理制御装置	
自動火災報知設備	○自動火災報知装置	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
		○電気方式	ＤＣ２４Ｖ　ただし、位置表示灯及び消火ポンプ運転表示は ＡＣ２４Ｖ
		○受信機	○　形　級　回線 ○壁掛形　○自立形 ○単独形　○複合形 ○副受信機　窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
		○消火ポンプ始動	※消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）
		○機器収容箱	○消火栓一体形　○単独形
	○自動閉鎖装置	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
		○連動制御器	回線　【予備電源（蓄電池）内蔵】 ○単独　○自火報受信機と一体 ○ダンパ等（全数）復帰用の予備電源容量を持つこと。
		○自動閉鎖装置	○防火戸用【ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 【別途工事　瞬時通電式又は電動式　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下 遠方復帰機構（電動式）ＤＣ２４Ｖ　０．７Ａ以下】 ○防火シャッター用 【別途工事　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下】
	○非常警報装置	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
		○電気方式	ＤＣ２４Ｖ
		○電源装置	※非常電源（蓄電池）　○自動火災報知設備と兼用
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付
		○受信機	○　形　級　回線（○壁掛形　○自立形） （○単独形　○自火報受信機と一体） （ガスの種類　※都市ガス（１３Ａ）　○液化石油ガス）
	○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（　窓）を設ける。	
中央監視制御設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○監視方式	○警報盤　○監視制御装置	
	○蓄電池容量	※標準仕様書による　○３０分間以上	
医療関係設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○非接地電源用分電盤	キャビネット	※鋼製　○ステンレス製
	○ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン	○防滴　○防湿
	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。	
構内配電線路	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付	
	●電気方式	高圧 低圧	○三相３線式　６ｋＶ ○三相３線式　２００Ｖ　○ ●単相３線式　１００/２００Ｖ ○単２線式　（○１００Ｖ　○２００Ｖ）
	○ふ設方式	○地中線	○管路式　※波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ） ○ポリエチレン被覆管（ＰＬＰ） ○ 埋設深さ　特記なきものはＧＬ(舗装がある場合は、舗装下面)－３００mm以下とする。
		○架空線	電柱　※遠心力プレストレストコンクリートポール
	○区分開閉器	○高圧負荷開閉器	７．２ｋＶ　３００Ａ
		用途	○架空引込用　○地中引込用
		構造	○耐中塩じん用　○耐重塩じん用
		形式	○引外し装置付き（ＳＯＧ形）　○引外し装置なし　○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
	○マンホール及びハンドホール	構造・寸法　※標準図による　○図示による。 蓋の文字　※蓋の用途表示は電力とする。　○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	
	○余長	高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホール、又はキュービクル内等の１ヶ所で３ｍ余長をとる。	
	○碍子、高圧ケーブル端末処理	○一般用　○耐塩用　○重耐塩用	
	○避雷器	○屋外形　○耐塩形	
	○装柱材	○一般用　○耐塩形	
	○外灯	基礎　※本工事　○別途工事 ○外灯ポールの材質が鋼製（ＳＰＣ）の場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
	○標識シート	外灯回路以外に設ける。また、２倍長とする。	
構内通信線路	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付	
	○ふ設方式	○地中線	○管路式　※波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ） ○ポリエチレン被覆管（ＰＬＰ） ○ 埋設深さ　特記なきものはＧＬ(舗装がある場合は、舗装（表層）下面)－３００mm以下とする。
		○架空線	電柱　※遠心力プレストレストコンクリートポール
	○マンホール及びハンドホール	構造、寸法は　（※標準図　○図示）による。 蓋の用途表示は　（※通信　○　）とする。	
	○標識シート	引込み管路に設ける。	

章	項目	特記事項
調査 電波障害	○調査範囲 ○測定時期 ○測定箇所 ○測定内容	※測定のみ　○対策工事実施設計書作成まで 工事前・工事中・完成後 箇所 受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表　１　付属品・予備品

○ウォールキャビネット（Ｗ＝　Ｄ＝　Ｈ＝　）×　個 ○イージーキャビネット　箱　○キーボックス　○テスター　○マンホールフック ○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパナー、ハンマー）	
照明器具	ランプ及びグロー球の予備品は、種別毎に１％とする。 ただし、端数は切り上げることとし、最少個数を１個とする。
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、２０％とする。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

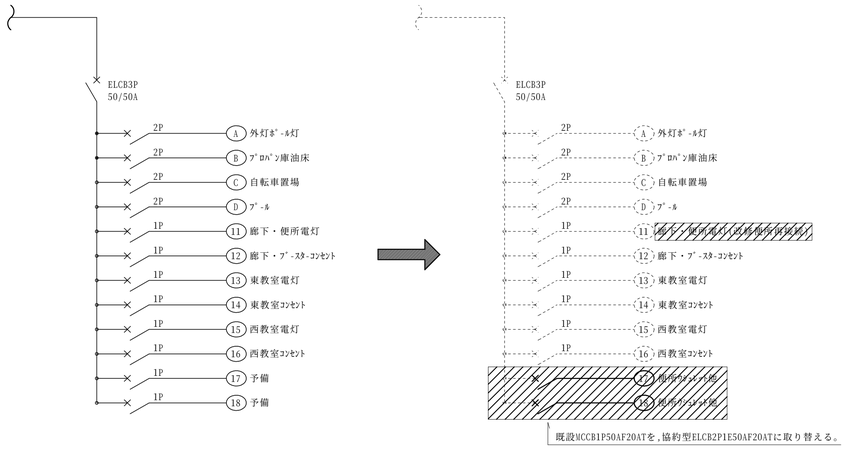
NON　SCALE　SCALE　SCALE

電気設備特記仕様書２

DW.　CK.　NO. E-02　DATE 28-09

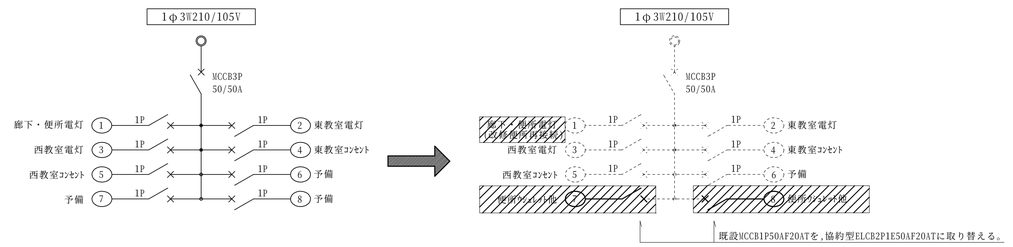
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

１階階段下電灯動力盤　改修工事　（１階生徒便所用電源供給分電盤）

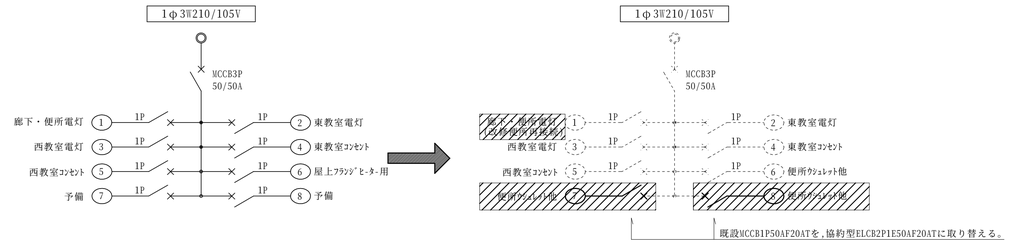


２，３階電灯盤（２Ｌ－１，３Ｌ－１）　改修工事　（２，３階生徒便所用電源供給分電盤）

２Ｌ－１

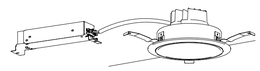


３Ｌ－１



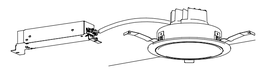
照明器具姿図

A-LED	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
	LRS1-850LM(公共施設型番)



５０００Ｋ、Ｒａ７０、電圧１００～２４２Ｖ
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
光源寿命：４００００時間

B-LED	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
	LRS1-1300LM-1(公共施設型番)

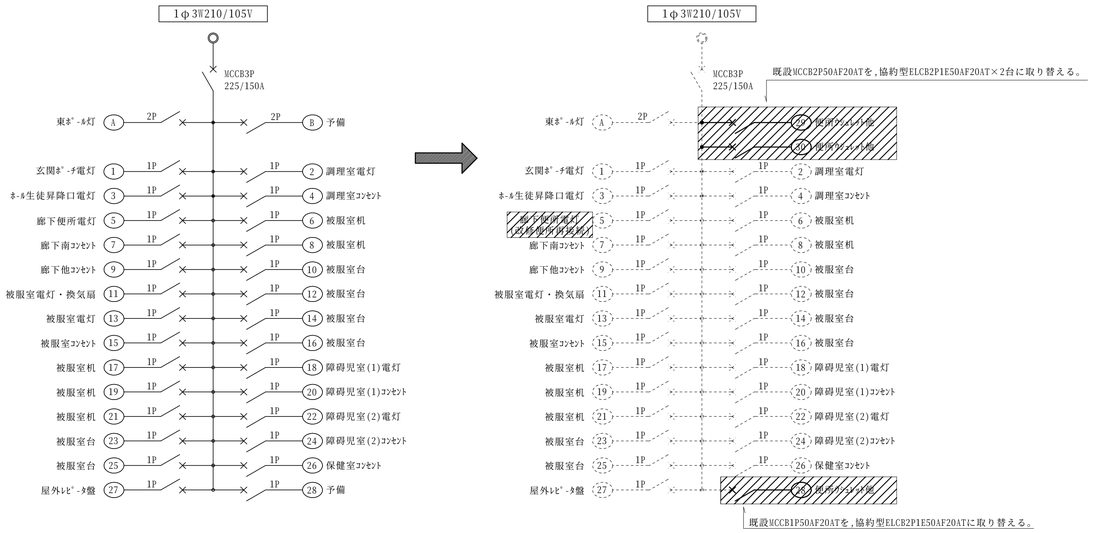


５０００Ｋ、Ｒａ７０、電圧１００～２４２Ｖ
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
光源寿命：４００００時間

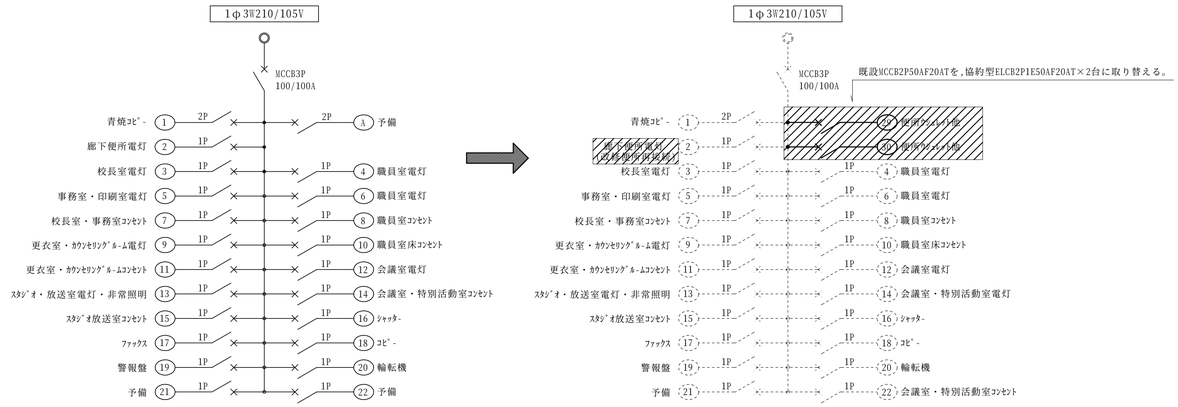
C-LED	LEDｳｫｰﾙﾗｲﾄ
	LBF3MP/RP-650LM-2(公共施設型番)

防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３
器具光束７４０１ｌｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）

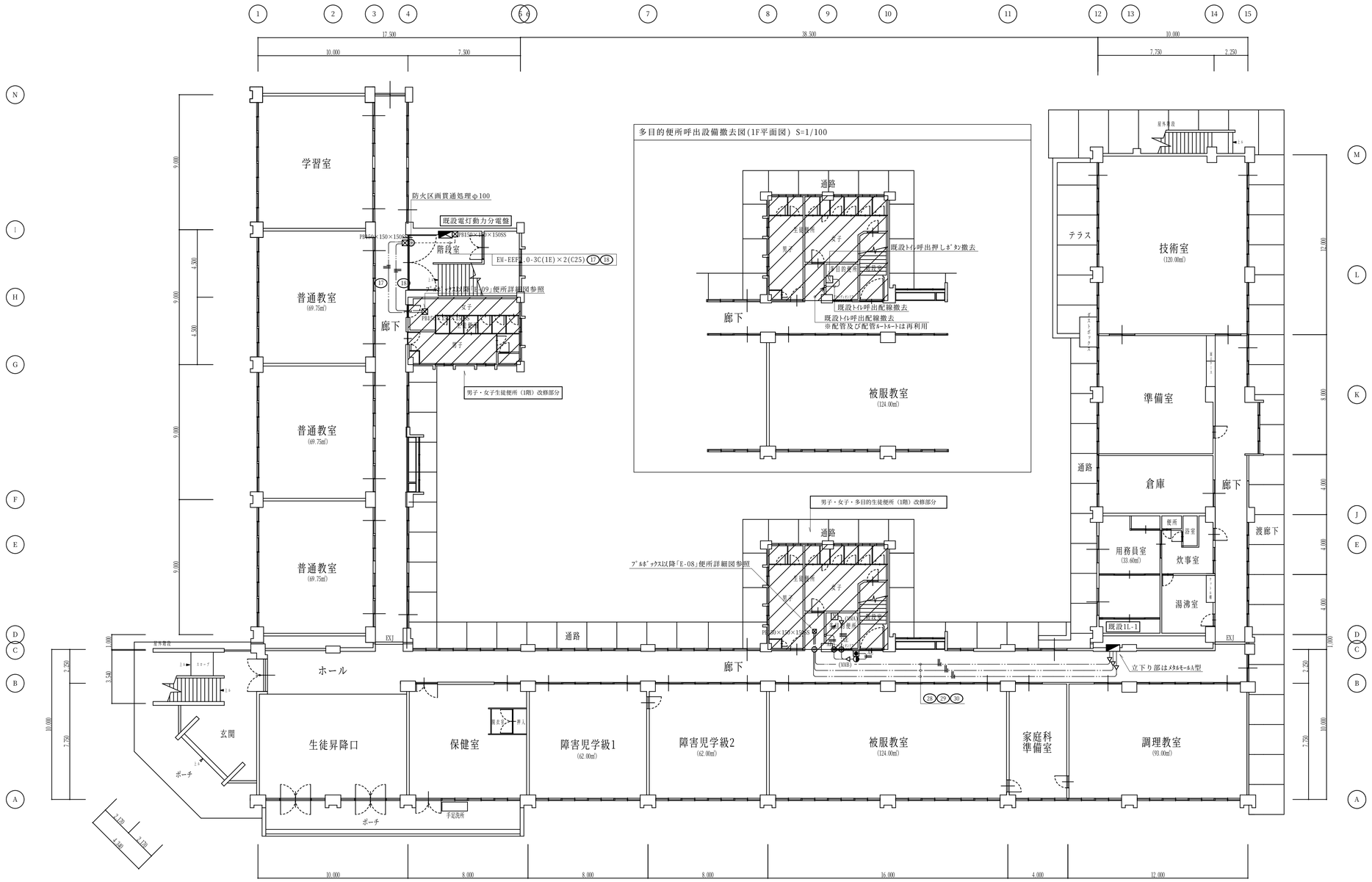
１階電灯盤（１Ｌ－１）　改修工事　（１階生徒男子・女子・多目的便所用電源供給分電盤）



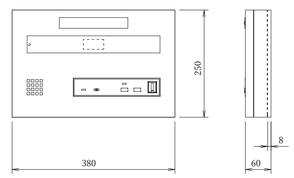
２階電灯盤（２Ｌ－２）　改修工事　（２階職員用便所電源供給分電盤）



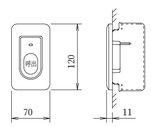
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
NON SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
電灯分電盤改修設備図			1級建築士第147931号　野中健一
DW. / CK.	NO. E-03	DATE 28-09	〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408



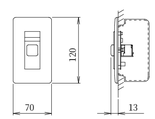
NC	1窓用呼出表示器	N	呼出ボタン	◉	復旧ボタン



電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形　状	壁取付形
材　質	SPCC t1.2
窓　数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

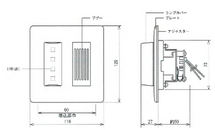


形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂



形　状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材　質	樹脂
備　考	非防水形

◑ 廊下表示灯



形　状	壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス)
材　質	樹脂
備　考	非防水形

注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。

EM-EEF2.0-3C(1E)	(天井内隠ぺい)
EM-AE0.9-2C	(天井内隠ぺい)
EM-AE0.9-3C	(天井内隠ぺい)
EM-AE0.9-3C (MMA)	(天井内隠ぺい+立下りメタルモールA型)
EM-AE0.9-3C (MMB)	(天井内隠ぺい+立下りメタルモールB型)
EM-AE0.9-2C	(メタルモールA型)

・二重天井内及び壁立下り部分はケーブルコロガシ工事とする。

機器凡例

(MMA) メタルモールA型（附属品共）

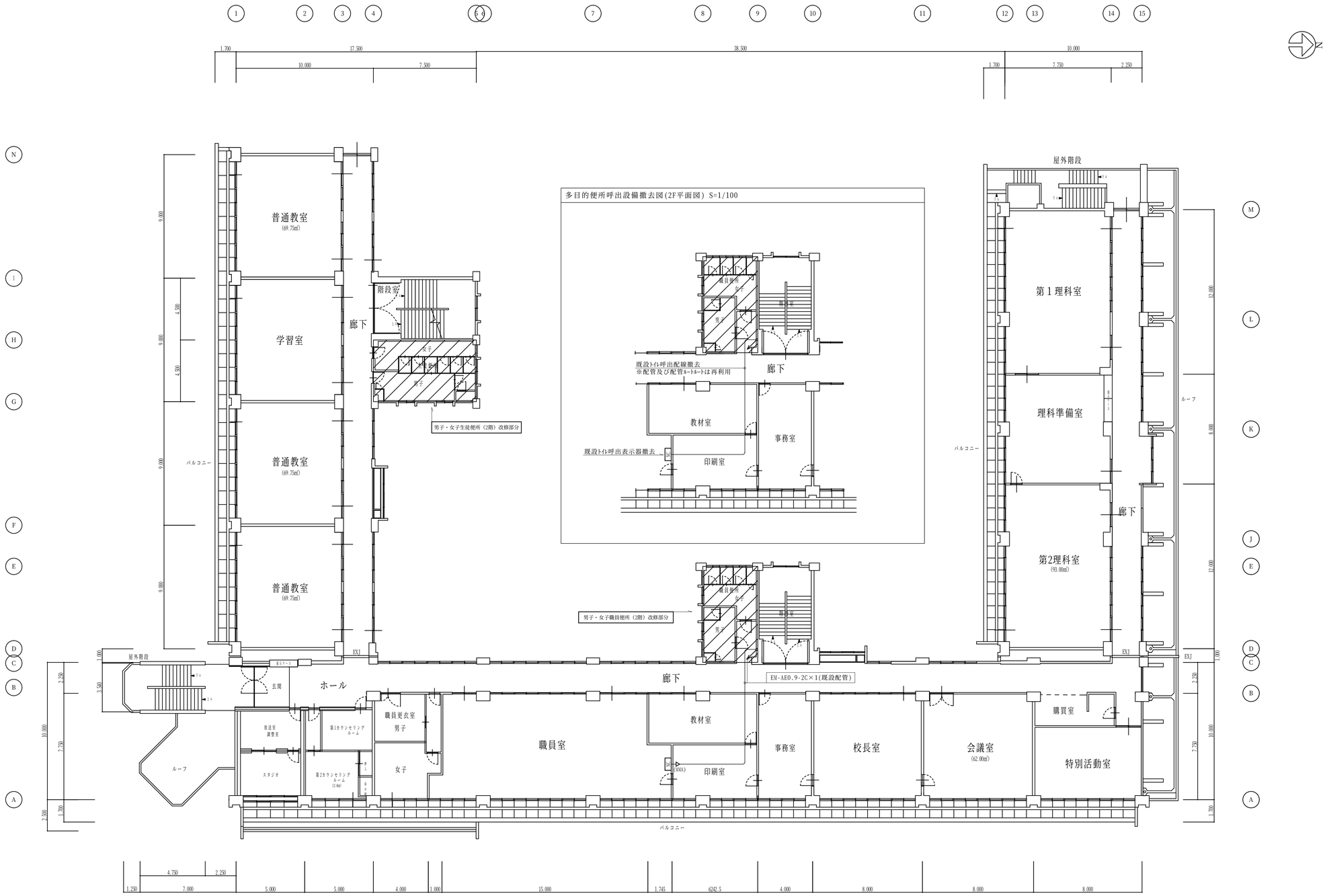
(MMB) メタルモールB型（附属品共）

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

校舎棟１階電気設備改修設備図

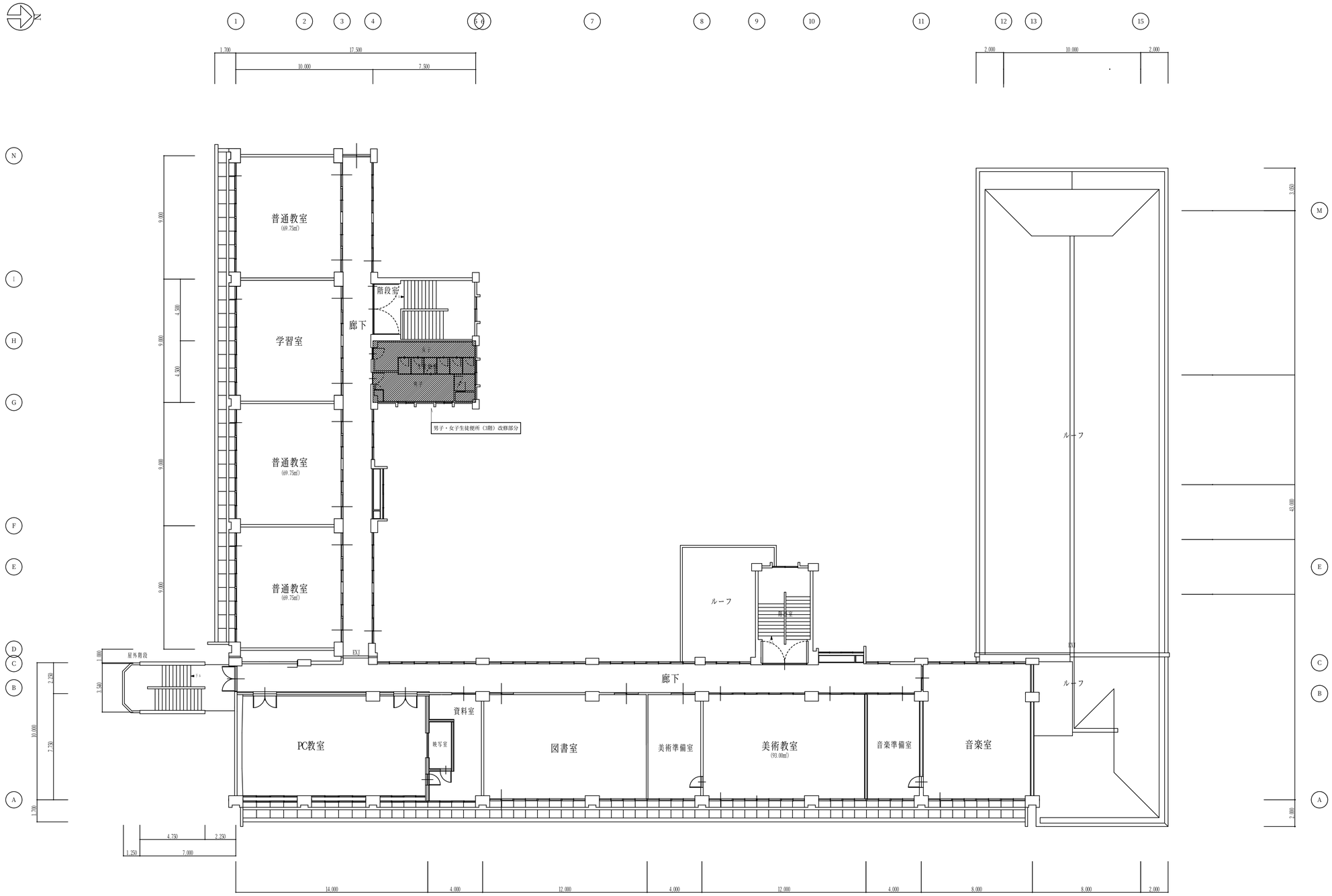
DW.	CK.	NO.	DATE
		E-04	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

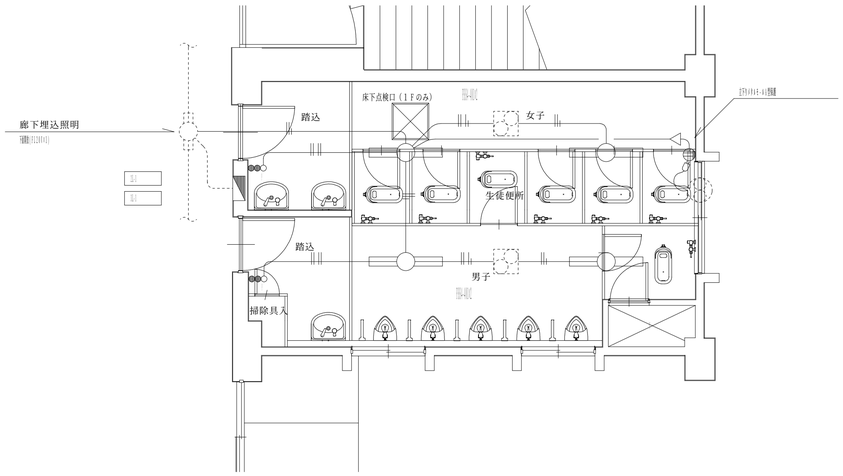


多目的便所呼出設備撤去図(2F平面図) S=1/100

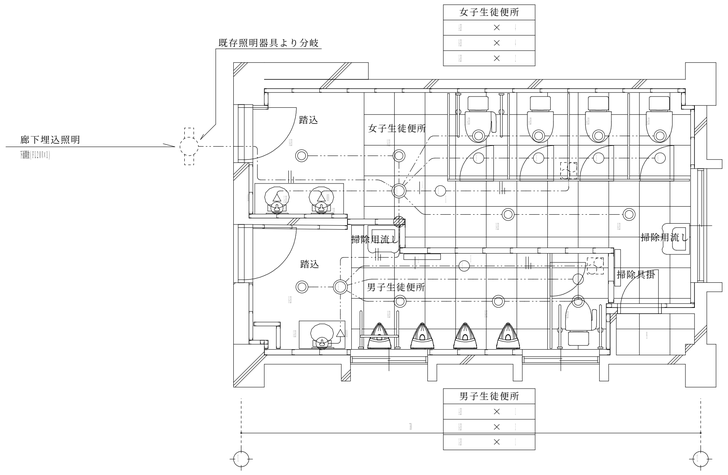
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
1:50 SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
校舎棟２階電気設備改修設備図			1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. E-05	DATE 28-09
			〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
			TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408



平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
1/50 SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
校舎棟３階電気設備改修設備図			1級建築士第147931号　野中健一
DW. / CK.	NO. E-06	DATE 28-09	〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



男子・女子生徒便所（２，３階）現況及び撤去平面図　１／５０



男子・女子生徒便所（１，２，３階）改修後照明設備平面図　１／５０

注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。

【照明設備】

	隠ぺ	（天井内隠ぺい）
	露出	（天井内隠ぺい）
	露出	（天井内隠ぺい）
	露出	（天井内隠ぺい）

【ｺｾﾝﾄ】

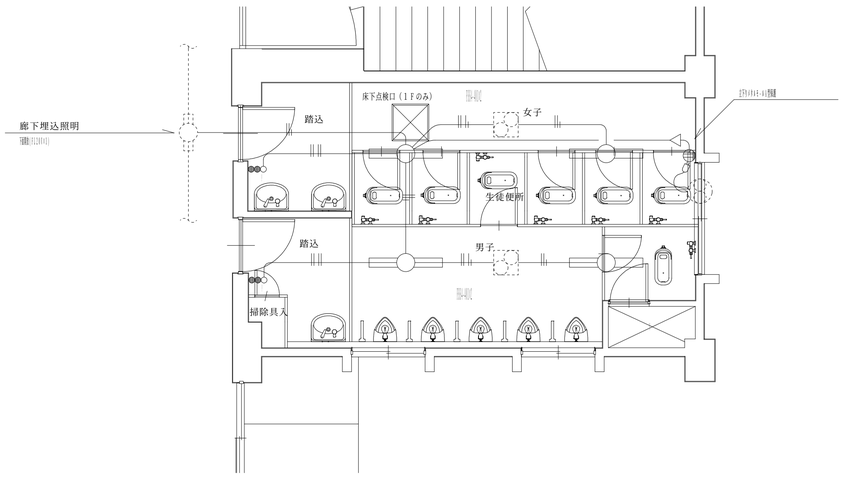
	露出	（天井内隠ぺい）
	露出	露出

・二重天井内及び壁仕上下地部分はﾓｰﾙﾃﾞｨｽｴｽﾃﾞｨ工事とする。

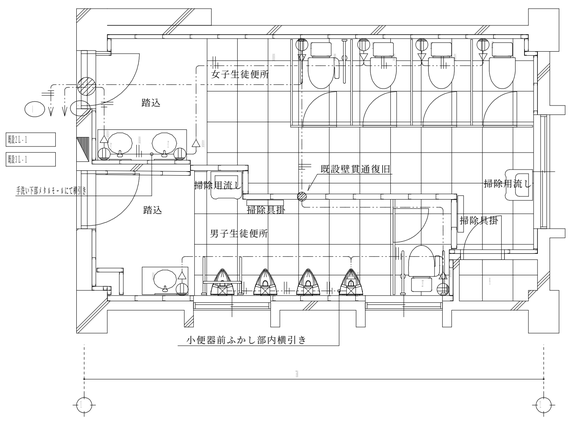
・図中　▨表示は、既設壁貫通処理（復旧共）を示す。

機器凡例

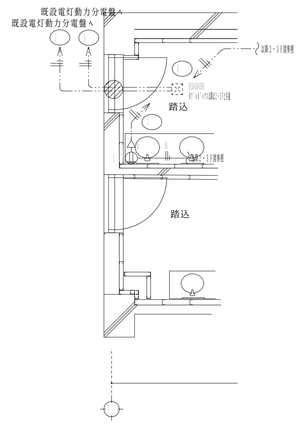
	排水・通気配管	既設ﾊﾟﾝ看
	排水・通気・ｶﾞｽ・ｴｱｰ（表面露出ｶﾞﾗﾘ配管）	既設ﾊﾟﾝ看
	排水・通気配管	既設ﾊﾟﾝ看
	排水・通気・ｶﾞｽ・ｴｱｰ（表面露出配管）	既設ﾊﾟﾝ看
	ｲﾝﾊﾞｰﾄ・ｺｾﾝﾄ（表面露出）	
	ｲﾝﾊﾞｰﾄ・ｺｾﾝﾄ（表面露出）	



男子・女子生徒便所（１階）現況及び撤去平面図　１／５０



男子・女子生徒便所（２，３階）改修後ｺﾝｾﾝﾄ設備平面図　１／５０

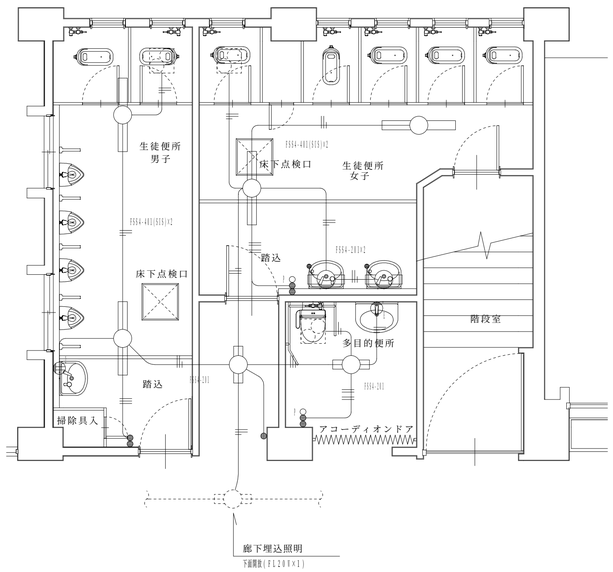


男子・女子生徒便所（１階）改修後ｺﾝｾﾝﾄ設備平面図　１／５０

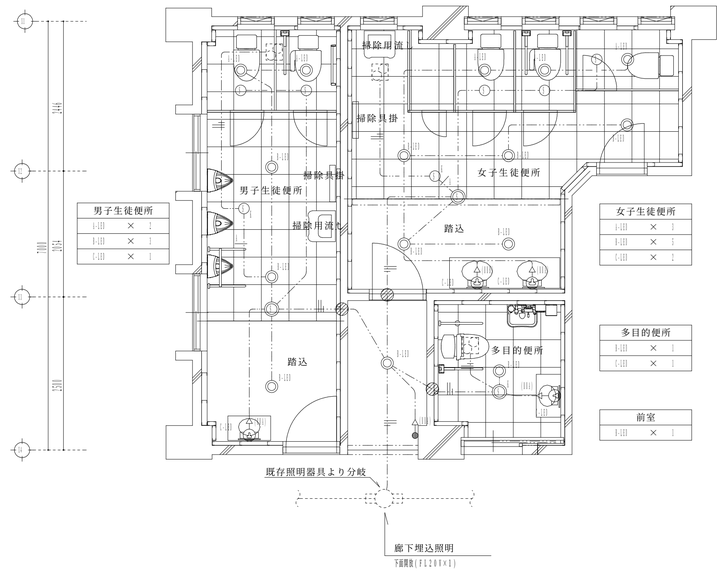
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
１～３階生徒便所			
DW.	CK.	NO.	DATE

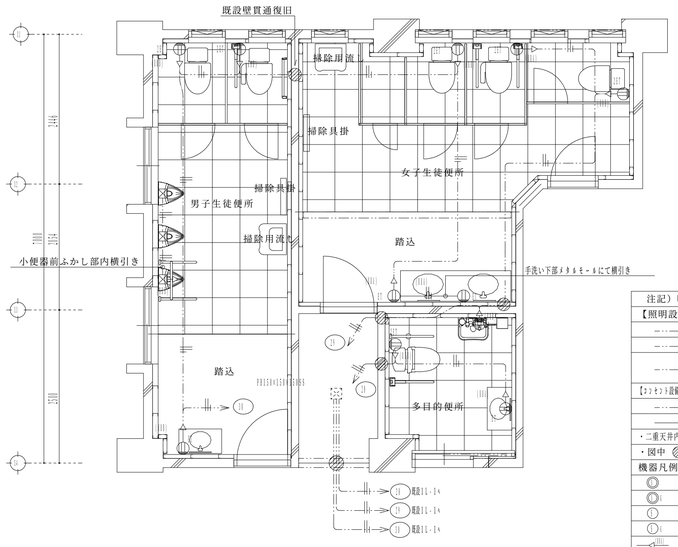
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０



男子・女子・多目的便所（1階）改修後電灯設備平面図　1 / 5 0



男子・女子・多目的便所（1階）改修後電灯設備平面図　1 / 5 0



注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。

【照明設備】

	HI-EEE1.6-2C	（天井内隠ぺい）
	HI-EEE1.6-2C(EE)	（天井内隠ぺい）
	HI-CEEE1.6-2C(EE)	（天井内隠ぺい）
	HI-CEEE1.2-1C	（天井内隠ぺい）

【コンセント設備】

	HI-EEE1.6-2C(EE)	（天井内隠ぺい）
	HI-EEE1.6-2C(EE)	（PF16-1C管）

・二重天井内及び壁立下り部分はケーブルコロガシ工事とする。

・図中 ◎ 表示は、既設壁貫通処理（復旧共）を示す。

機器凡例

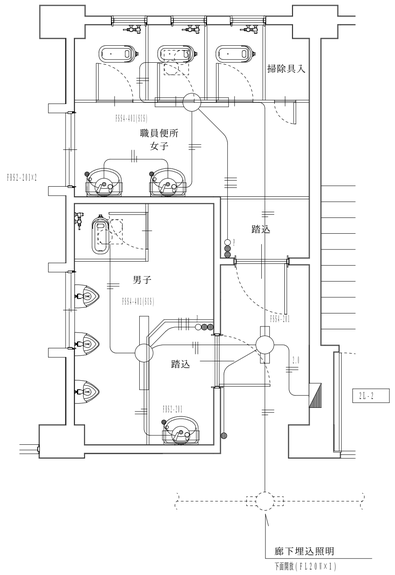
◎	熱線センサー自動スイッチ（親機） （パナソニック製品）
◎	熱線センサー自動スイッチ（微気温差ねらい機能付） （パナソニック製品）
T	熱線センサー自動スイッチ（子機） （パナソニック製品）
T	熱線センサー自動スイッチ（微気温用子機） （パナソニック製品）
	メタルモール型（側面出共）
	メタルモール3型（側面出共）

男子・女子・多目的便所（1階）改修後電灯設備平面図　1 / 5 0

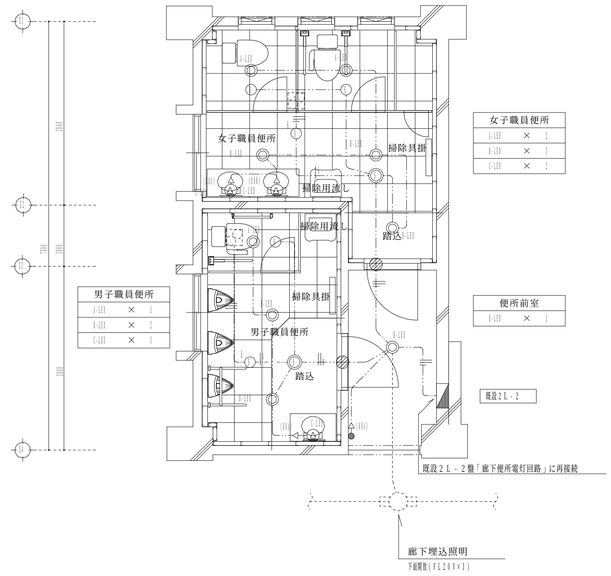
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1階生徒用便所	SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
DW.	CK.	NO.	DATE

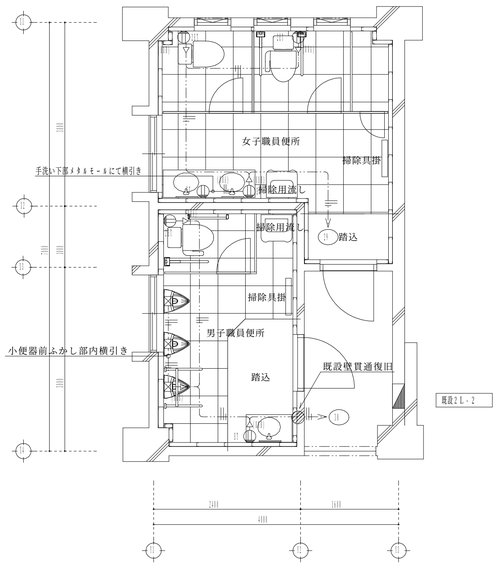
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20



男子・女子職員便所（２階）現況及び撤去図　１／５０



男子・女子職員便所（２階）改修後電灯設備平面図　１／５０



男子・女子職員便所（２階）改修後コンセント設備平面図　１／５０

注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。

【照明設備】

	19-1111.4-22	（天井内隠ぺい）
	19-1111.4-22(22)	（天井内隠ぺい）
	19-1111.4-22(22)	（天井内隠ぺい）
	19-1111.2-12	（天井内隠ぺい）

【コンセント設備】

	19-1111.4-22(22)	（天井内隠ぺい）
	19-1111.4-22(22)	（露出配管）

・二重天井内及び壁立下り部分はケーブルコロガシ工事とする。

・図中 ◎表示は、既設壁貫通処理（復旧共）を示す。

機器凡例

	熱線センサー自動スイッチ（親機）	(TTL2241H:ハイテック相当)
	熱線センサー自動スイッチ（教気扇連れｏｆｆ機能付）	(TTL2241:ハイテック相当)
	熱線センサー自動スイッチ（子機）	(TTL2191H:ハイテック相当)
	熱線センサー自動スイッチ（教気扇用子機）	(TTL2191:ハイテック相当)
	メタルモール型（配線器共）	
	メタルモール型（配線器共）	

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
２階職員用便所			
DW.	CK.	NO.	DATE

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20

特記仕様書　（機械設備工事）

● を付けたものを適用する。　（但し　　● の無いものは※を適用する。）

Ⅰ．設計概要

工事名称	平成28年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務
工事場所	京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷
工事期間	自　平成　年　月　日　至　平成　年　月　日
建物概要	建物構造　○S○SRC●RC　　階数　地上　3階　　地下　　階

工事種目

			備考
		A．衛生設備工事	
●	（1）	衛生器具設備工事	
●	（2）	給水設備工事	
●	（3）	排水設備工事	
○	（4）	給湯設備工事	
○	（5）	ガス設備工事	
		B．空気調和設備工事	
○	（1）	空調機器設備工事	
○	（2）	配管設備工事	
●	（3）	換気設備工事	天井換気扇
		E．撤去設備工事	
●	（1）	撤去設備工事	

Ⅱ．一般事項

施工基準	本工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編最新版）以下「標準仕様書」という。公共建築工事設備工事標準図（機械設備工事編最新版）以下「標準図」という。優先順位は、1．現場説明書　2．本特記仕様書　3．図面　4．共通仕様書とする。
諸手続	施工にあたっては、本工事に係わる関係官公庁に関する一切の申請・協議書類作成並びに手続きを遅滞なく行う。又、それに必要な費用はすべて請負者の負担とする。
施工図面	施工にあたっては、現場着工前に必ず施工詳細図を作成して、係員の確認を受けた後に施工する。万一設計図書について疑義あるときは必ず事前に係員と打合せをしその指示に従う。
使用機材	本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則並びにＪＩＳ規格のあるものは各々それに合格した品質優良な新品とし、見本品、又は製作詳細図を提出し、係員の承認を受けた後、正式に発注、製作に着手する。
製作品検査	使用諸製作品の完成に際しては、性能試験は勿論のこと、形状・色彩についても細部にわたる自主検査を行い、それに合格した後現場へ搬入する。係員の指示のある場合は立会検査を行う。
別途工事への協力と調整	工事を完成するために、密接に関係する別途工事については、施工者は別途工事の施工に協力すると共に、円滑な工事進捗が行われるよう調整する。
工事写真	本工事施工については、係員の指示により工事写真・竣工写真を撮り、提出すること。部数については、係員の指示による。
軽微な変更	設計図書に明記なくとも機能上・構造上当然必要と認められる軽微なものは、係員の指示に従い、本工事請負金の内で施工すること。
完成引渡	工事完成に際しては、予め施工者が検査を行った後、係員に報告し、所轄官公署の検査を受け、合格した後に係員の完成検査を受ける。引渡しに際しては、官公署その他許可書、検査証、及び竣工図（サイズ、部数は係員より指示する）試運転データ、各種名札付キーを添えて引渡しを行う。各種機械にはその製作者、製作月日、機器番号等の標示を係員指示の個所に附し、別にその機器の使用法、注意事項等の説明書を取揃え、提出する。
工事保証	施工者は、工事完成後でも工事の不完全納入品の欠陥に起因する故障は、一年間保証の責に任じ、直ちに修理又は良品と取替えること。
仮設電力料金等	工事用、試験用の電力、上水、燃料等諸費用は本工事に含む。建築主に帰属する設備より供給を受ける場合は、必要な個所に計量器を設け、竣工引渡し時に建築主立合のもとに計量器を読みとり清算措置をとるものとする。又受電後、引渡しまでの電気基本料金及び電気使用料金は本工事に含む。
現場の納まり	本設計図書は工事の大要を示すものであるから、詳細・位置等については係員と打合せの上、その指示に従い施工のこと。
施工管理責任	施工者は契約図書（施工基準に示す）の内容の工事を完成するために施工計画を立て、実施するに当たり、工程管理、品質管理、出来高管理、安全管理などを責任をもって行うこと。

Ⅲ．工事概要

A．衛生設備工事

衛生器具設備	
●大便器	●フラッシュタンク式（○バキュームブレーカー付　○節水型　　）
	○洗浄タンク　（※防露型　○密結型　○分離型　○　　）
●小便器	●フラッシュ弁（○標準型　●センサー感知型　○　　）
	○洗浄タンク　（○標準型　○センサー感知型　○　　）
●身障用器具	※なし　●あり（図示による。）
○凍結防止	※ 不要　○要（図示による。）
●器具取付高さ	※ 共通仕様書による。　○指定あり（建築図示による。）
●陶器の色	※ カラー　○白色
	※ 品番は、便宜上東陶機器の品番を使用する。
給水設備	
●水源の種別	※ 公共水道　○井戸　○
●給水方式	○ 公共水道直結　○受水槽及び高架水槽　●受水槽及び加圧ポンプ
	○ 受水槽及び圧力水槽　○既設管利用
○引込	※ 引込管口径　４０ｍ／ｍ ※量水器口径　４０ｍ／ｍ（取引メーター）
○水道分担金	※ 別途工事　○本工事
排水設備	
●排水方式	汚水と雑排水　屋内　※分流式　○合流式（○集合管　　）
	屋外　※合流式　○分流式
	雨水　※別途建築工事　○最終会所にて汚水と合流
●放流先	汚水　○公共下水道　○し尿浄化槽（○側溝　○河川　○水路 ）●既設管接続
	雑排水○公共下水道　○し尿浄化槽（○側溝　○河川　○水路 ）●既設管接続
	雨水　○公共下水道　○側溝　○河川　○水路　○
○排水槽	○汚水槽　○雑排水槽　○湧水槽　○雨水槽　○
	汚水槽底勾配は、１／１５～１／１０ 以上であることを確認のこと。
○特殊排水	厨房排水はグリーストラップを介し（Ｃ工事）放流。
給湯設備	
○給湯方式	○ 局所式　（○都市ガス ○ＬＰＧ 電気 ○瞬間式 ○貯湯式）湯沸器
	○ 中央式　（１）燃料　○都市ガス ○ＬＰＧ ○灯油 ○特Ａ重油 ○Ａ重油
	○電気　○
	（２）熱源機○真空温水機 ○鋼板ボイラ ○セクショナルボイラ
	○貫流ボイラ　　○ 業務用ガス瞬間給湯器
	○空調熱源と兼用（○空調工事　○給湯工事）
	（３）貯湯槽※　ＳＵＳ４４４ ○クラッド鋼板 ○エポキシライニング
	○モルタルライニング　○ＦＲＰライニング
	（４）貯油槽○タンク室型　○スラブ型　※遠隔指示油量計
	躯体（※本工事　○別途建築工事）
	（５）煙道　※鋼板　○ステンレス鋼板
消火設備	
○消火設備の種類	○ 屋内消火栓（○１号　○２号）　○スプリンクラー（○補助散水栓）
	○ 二酸化炭素消火　（○固定式　○移動式）
	○ 泡消火（○固定式　○移動式）　○粉末消火（○固定式　○移動式）
	○ 連結送水管　○連結散水　○屋外消火栓
	○ フード等用簡易自動消火装置　○消火器（※別途　○本工事）
ガス設備	
○ガスの種類	○ 都市ガス（ガス種別１３Ａ　　発熱量　　○中圧　○低圧）
	○ ＬＰＧ
	○
○ガス配管施工	○ ガス会社責任施工　○ネジ工法　○ＳＧＭ工法　○溶接工法
○ガス漏れ警報設備	※ あり（○本工事　○別途電気工事）　○なし
○緊急遮断弁システム	※なし　○あり（本工事　○別途電気工事）
し尿浄化槽設備	
○工事区分	※ 本工事（※躯体共　○躯体別途）　○別途工事
○処理方式	○ 単独処理（○分離接触ばく気方式　○分離ばく気方式）
	○ 合併処理（別図による。）
● 留意事項	
	● 地中梁貫通のスリーブは本工事、補強は建築工事とする。
	● 施工に際し、現場現状状況を充分調査の上、既設建物等に支障なきよう、施工計画を立て、施工図作成の事。

B．空気調和設備工事

熱源機器設備	
○熱源機器	燃料　○都市ガス　○電気　○灯油　○特Ａ重油　○Ａ重油
	○
	機種　○直焚吸収式冷温水機　○スクリュー冷凍機
	○レシプロチラー（○空冷 ○水冷 ○ヒートポンプ ○冷房専用）
	○真空温水機　○鋼板　○セクショナル　○煙管ボイラ
	○貫流ボイラ　○給湯熱源と兼用（○空調工事　○給湯工事）
	補機　○冷却塔（○解放型　○密閉型）一式
○防振装置	○製造者標準　○スプリングユニット型　○
○貯油槽	タンク室型　○スラブ型　※遠隔指示油量計
	躯体（※本工事　○別途建築工事）
○煙道	※鋼板　○ステンレス鋼板
空調機器設備	
○空調機器	○エアハンドリングユニット　○ファンコイルユニット
	○パッケージ型空調機（ ○ガスヒートポンプ エアコン、新設、既存品移設）
	○ルームエアコン（○ヒートポンプ　○冷房専用）
	○既設電気ヒートポンプ エアコン５ＨＰ×４台は取り外しの上指定場所へ存置する事。
○防振装置	○製造者標準　○スプリングユニット型　○
配管設備	
○配管の種類	○冷温水　○冷水　○温水　○冷却水　○ドレン　○給水　○冷媒
	○膨張　○蒸気（○低圧　○高圧）　○油　○熱源水　○
○計量器	※温度計（熱源機器、空調機、ヘッダーの出入口）
	※圧力計（熱源機器、ポンプ、ヘッダーの出入口）
	※瞬間流量計（○熱源機器　○空調機、ポンプの出口　○ヘッダー
	○測定口のみ　○　　）
○防振支持施工	※機械室のみ　○全系統　○
ダクト設備	
○ダクトの種別	※低速ダクト　○高速ダクト
○ダクトの材質	※鋼板　○ステンレス鋼板 ○ビニル鋼板 ○ビニル板 ○グラスウール
	○スパイラルダクト　○ビニル管　○
○吹出口・吸込口の材質	※アルミ製　○鋼板製　○
○煙感知器連動ダンパ	※遠方復帰型　○手動復帰型
○点検口	８００以上のチャンバーに取付　○
○風量測定口	空調機・送風機出入口（ＯＡ、ＥＡ含む。）に取付　○
○計量器	※温度計（ＳＡ，ＲＡ，ＯＡ，のダクト）
○防振支持施工	※機械室のみ　○全系統
○レタンダクトの保温	※不要　○要（保温厚さ　※２５mm　○５０mm）
換気設備	
●換気機器の種別	○給排気ファン ○全熱交換器 ○顕熱交換器 ○換気扇類 ●天井扇類
	○ルーフファン　○
○防振装置	○製造者標準　○スプリングユニット型　○
●ダクトの種別	※低速ダクト　○高速ダクト
●ダクトの材質	○鋼板 ○ステンレス鋼板 ○ビニル鋼板 ○ビニル板 ○グラスウール
	●スパイラル　○ビニル管（トイレ・浴室）
○吹出口・吸込口の材質	※アルミ製　○鋼板製　○
○フード	※ステンレス製　○鋼板製　○一重　○二重
○グリスフィルタ	※逆火防止型　○
○煙感知器連動ダンパ	※遠方復帰型　　手動復帰型
○点検口	８００以上のチャンバーに取付
○風量測定口	送風機入口に取付
○防振支持施工	※機械室のみ　○全系統
○ダクトの保温	○　ＯＡダクトは全て、ＥＡダクトは外壁から２m部分は保温を行う。

Ⅳ．使用材料

1．弁類

名称	耐圧	呼径	材質	備考
ゲート弁	５Ｋ	５０Ａ以下	青銅製	
		６５Ａ以上	鋳鉄製	
	１０Ｋ	５０Ａ以下	青銅製	
		６５Ａ以上	鋳鉄製	
チャッキ弁	１０Ｋ	５０Ａ以下	青銅製	
		６５Ａ以上	鋳鉄製	
バタフライ弁	１０Ｋ	６５Ａ以上		
ボール弁	１０Ｋ	５０Ａ以下		

2．フレキシブルジョイント・伸縮・防振継手

フレキシブルジョイント	ステンレス製	管径	２５ 以下	３２~５０	６５ ～ １５０	２００ 以下
		全長	３００ 以上	５００ 以上	７５０ 以上	１０００ 以上
	ゴム製	管径	４０ 以下	５０ ～ ８０ 以下	１００ 以上	
		全長	３００ 以上	５００ 以上	７００ 以上	
防振継手	伸縮継手は、すべて複式ベローズ型とする。					
防振継手	防振継手は、ベローズ型又は合成ゴム製とする。					
パイプサイレンサー	流水の脈動呼吸の為の　　パイプサイレンサ-は、特記する部分に取付ける。					

3．配管材料

名称	給水 屋内	給水 屋外	給水 引込	排水 汚水	排水 雑排	排水 通気	排水 屋外	給湯	消火	ガス	冷温水	冷却水	冷媒	ドレン	オイル			
配管用炭素鋼々管 ＳＧＰ(白)〔屋内〕				○	○	○		○	○	○	○		○					
配管用炭素鋼々管 ＳＧＰ(黒)															○			
水道用亜鉛鍍鋼管 ＳＧＰＷ											○	○						
硬質塩化ビニルライニング鋼管 ＳＧＰ－ＶＡ	◉	○	○									○						
被覆銅管 ＣＵＰ（Ｍ）								○					○					
水道用硬質塩化ビニル管 ＶＰ（ＶＷ）	○	○	○	○		○						○						
耐衝撃塩化ビニル管 ＨＩＰ	○	○	○															
一般用硬質塩化ビニル管 ＶＰ				◉	◉	◉	◉							○				

特記	１）内面ライニング管は、防食コア内蔵継手とする。
	２）配管規格は、共通仕様書参照のこと。
	３）水道用硬質塩化ビニル管のうち　６５Ａ、１２５Ａ、２００Ａ、２５０Ａ、は、ＪＩＳ・Ｋ・６７４２ の規格外品とする。

４．特記

１）直圧管、揚水ポンプに附属する弁、及び静水頭　５ｋｇ／ｃｍ² を越える弁類は、１０Ｋとする。

２）チャッキ弁は、スモレンスキー 型又は ウォーターハンマー防止を考慮したものとする。

Ⅴ．保温・防露・防食・塗装・消音・内貼り

1．保温材の厚さ

配管当の種別	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	350
給排水管	20									25		40	50		
給湯管	20									25		40	50		
ドレン管	20									25		40	50		
冷媒管	○共通仕様書による。　○製造者標準仕様														

2．特記　　ａ．台所系統の給気ダクトは、全てロックウール２５m／m、排気ダクトはロックウール２５m／m保温の事。

Ⅵ．施工方法及び仕上材

			仕上材
① 保温材のある場合 表面仕上材	配管	屋内露出	●綿布巻の上塗装２回塗り　○ビニールテープ巻
		ＭＢ・ＰＳ内	○アルミ箔の上金網締め　●アルミガラスクロス（天井内）
		床下ピット内	●フォームポリスチレン保温筒＋ポリスチレンフィルム＋アルミガラスクロス
		屋外露出	●ステンレス鋼鈑　○カラー鉄板 ○亜鉛鉄板の上塗装２回塗り
② 保温材のない場合 表面仕上材	配管	コンクリート内	●防蝕テープハーフラップ二重巻き
		地中埋設	○防蝕テープ巻　○ペトロラタム ○コールタールエナメル塗装（油管）
		ビニール管	●露出部のみＯＰ２回塗り
		金属管	○錆止めの上ＯＰ２回塗り

③ 特記

ａ．特記なき事項は共通仕様書による。

ｂ．コンクリート内の給排水管は、保温を行わない。但し、給湯の場合は被覆管とする。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 １級建築士第１４７９３１号　野中健一
機械設備工事　特記仕様書	1：50 SCALE	SCALE / SCALE	〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０ TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
DW. / CK.	NO. M－01	DATE 28-09	

凡　例

記　号	名　称	管　材	備　考	ＪＩＳ記号
—·—·—·—	給　水　管	硬質塩ビライニング鋼管	ＳＧＰ－ＶＡ	ＪＩＳ　Ｇ　３４５２
————	排　水　管	硬質ポリ塩化ビニル管	ＶＰ	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１
——┤———	汚　水　管	硬質ポリ塩化ビニル管	ＶＰ	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１
·····	通　気　管	硬質ポリ塩化ビニル管	ＶＰ	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１
————	換気ダクト	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製	ＪＩＳ　Ａ　４００９

器具リスト

器具名	品　番	附　属　品	備　考	【A】1階 男子生徒便所	【A】1階 女子生徒便所	【A】1階 多目的トイレ	【A】1階	【A】1階	【A】1階	【B】2階 男子職員便所	【B】2階 女子職員便所	【B】2階	【B】2階	【B】2階	【C】1～3階 男子生徒便所	【C】1～3階 女子生徒便所	【C】1～3階	【C】1～3階	【C】1～3階	TOTAL
洋風便器	CS597BS	SH596BAYR（ふた固定式），TCF586AEY（便ふたなし，センサースイッチ共）		1	1					1	1				3	3				10
洋風便器	CS597BS	SH596BAYR（ふた固定式），TCF226V6（便ふたなし），HE30JK（押しボタン）		1	2						1					9				13
車椅子用便器	CS20AB	SH30BA，TCF4721V81PA（便ふたなし），TCA89，HE15J				1														1
小便器	UFS900R	低リップタイプ，センサー一体型		3						3					12					18
洗面器	L546U	TLC11AR，T6PM1，TLC4A1F，TL516GR	※カウンターは建築工事	1	2	1				1	2				3	6				16
掃除流し	SK22A	T23AE20，TK22，T37SGEP，TN114，T9R，HH04060		1	1					1	1				3	3				10
オストメイト対応トイレパック	UAS75LDB2N	汚物流し（ロータンク），水栓，電気温水器，水石けん入れ，紙巻器				1														1
紙巻器	YH702			2	3	1				1	2				3	12				24
手すり	T112CL9	多用途用，L型		1						1										2
手すり	T112CP2	腰掛便器用（固定式），P型		1	2	1				1	2				6	6				19
手すり	T112CU2	小便器用		1						1					3					5
手すり	T112HK8	腰掛便器用（可動式），はね上げタイプ（ロック付）				1														1
化粧鏡	YM3545F	耐食鏡（350×450）		1	2	1				1	2				3	6				16

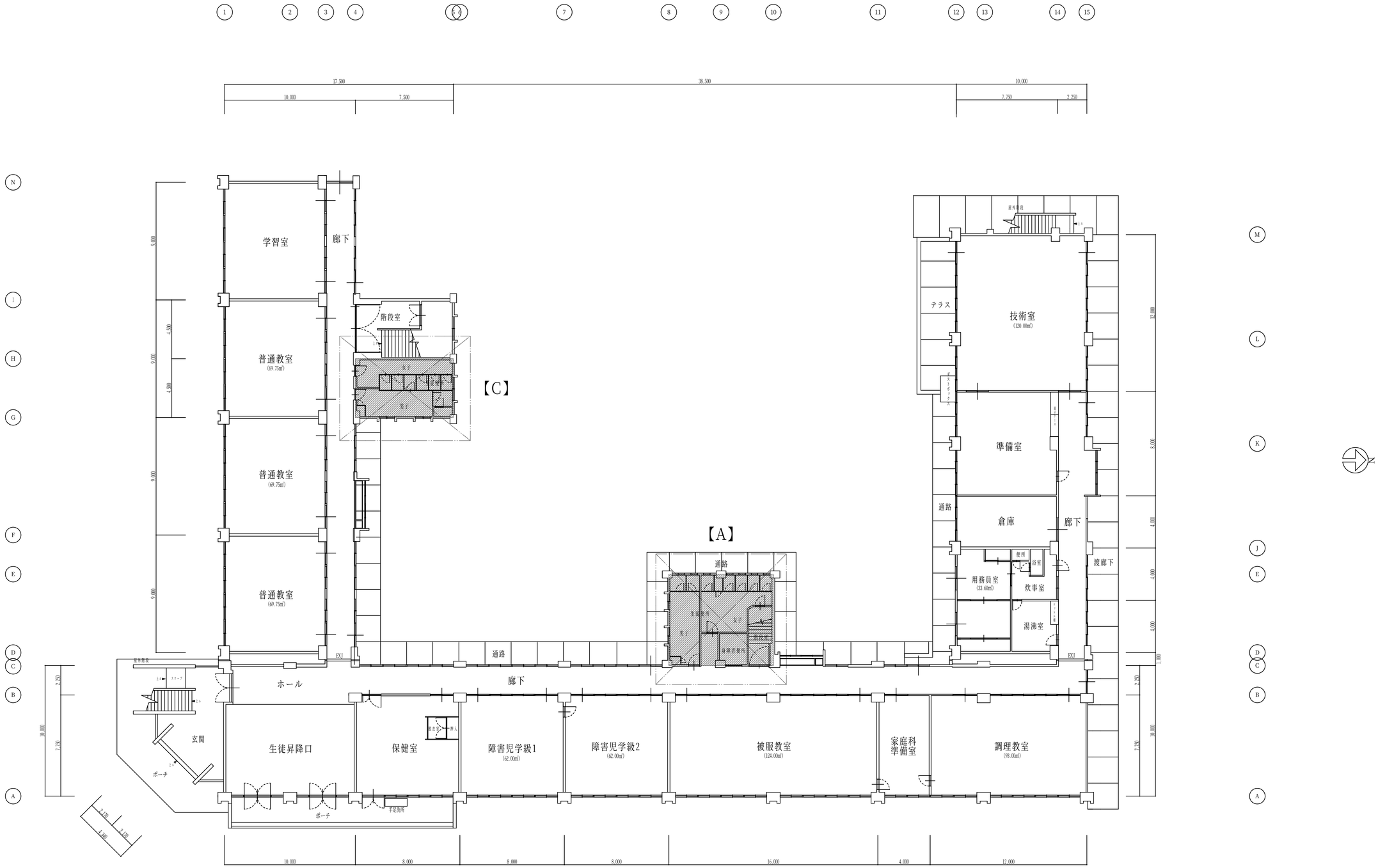
平成２９年度蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事実施設計業務

1:50　SCALE　　SCALE　　SCALE

機械設備工事　凡例・器具リスト

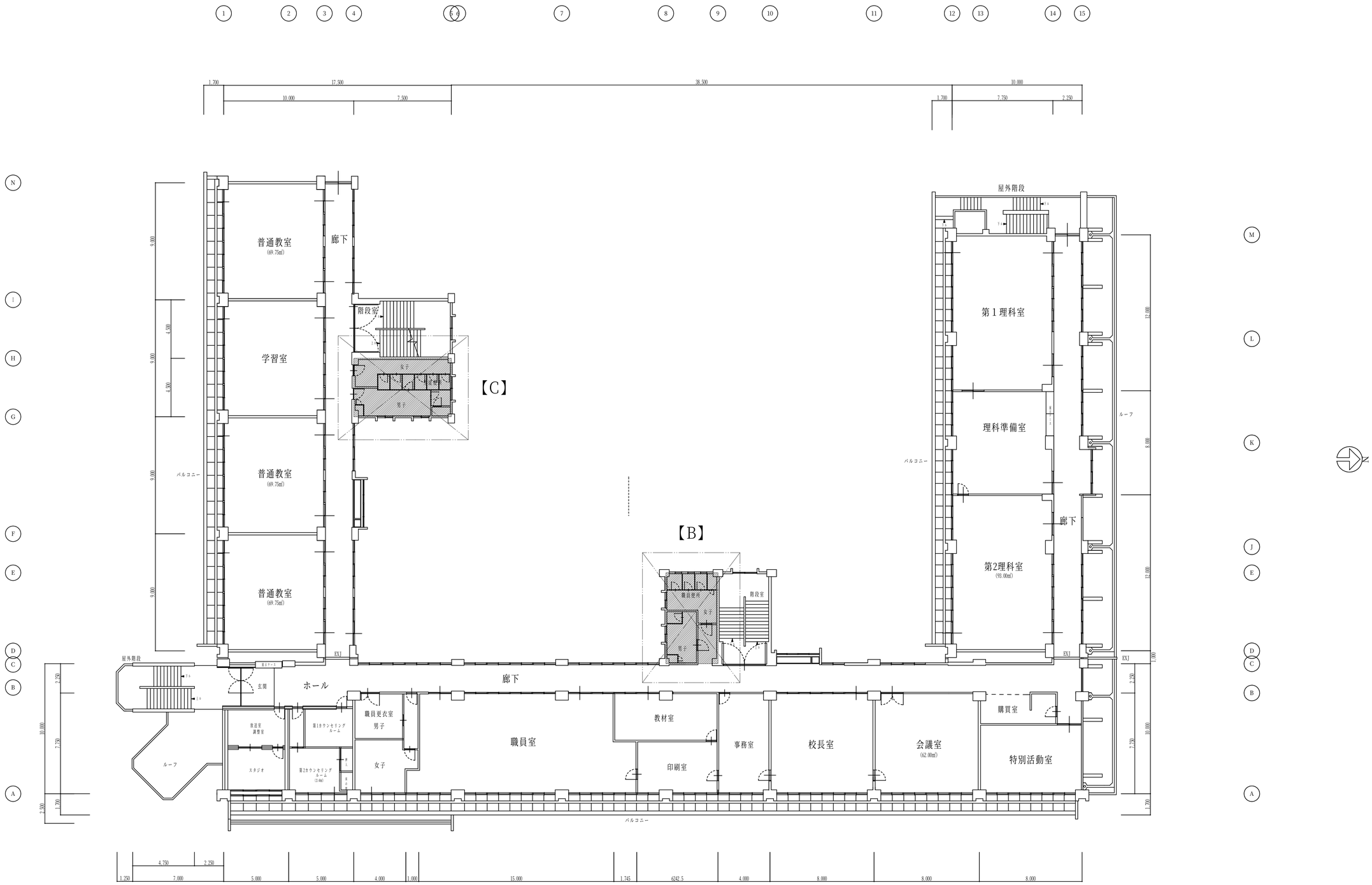
DW.　CK.　NO. M－02　DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



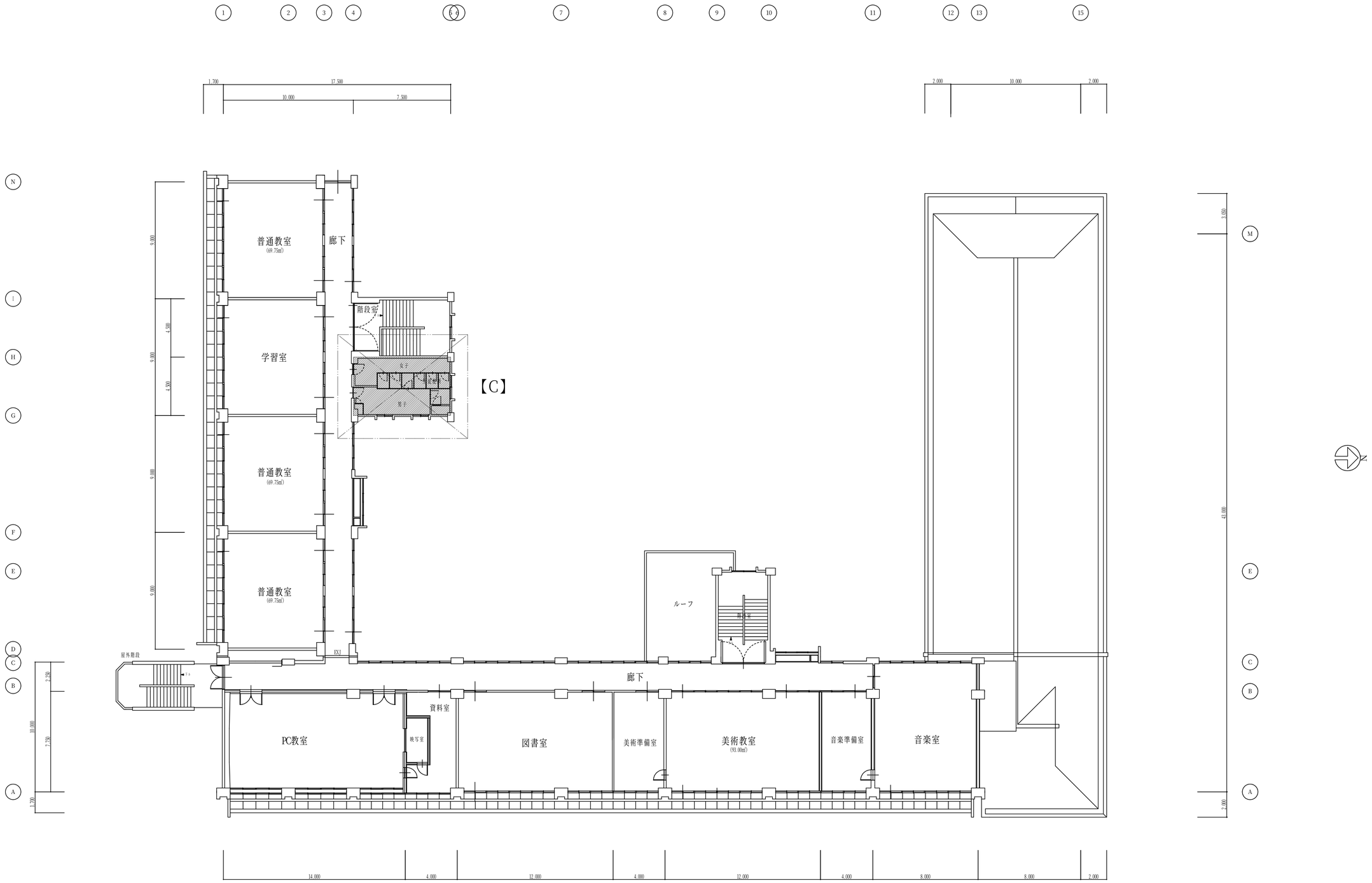
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 １級建築士第１４７９３１号　野中健一
1:150 SCALE			SCALE
機械設備工事　１階平面図：衛生（改修）			
DW.	CK.	NO. M−03	DATE 28-09

〒６２２−００１４　京都府南丹市園部町上本町南２−２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 １級建築士第１４７９３１号　野中健一
1:150 SCALE		SCALE	
機械設備工事　２階平面図：衛生（改修）			
DW.	CK.	NO. M−04	DATE 28-09

〒６２２−００１４　京都府南丹市園部町上本町南２−２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



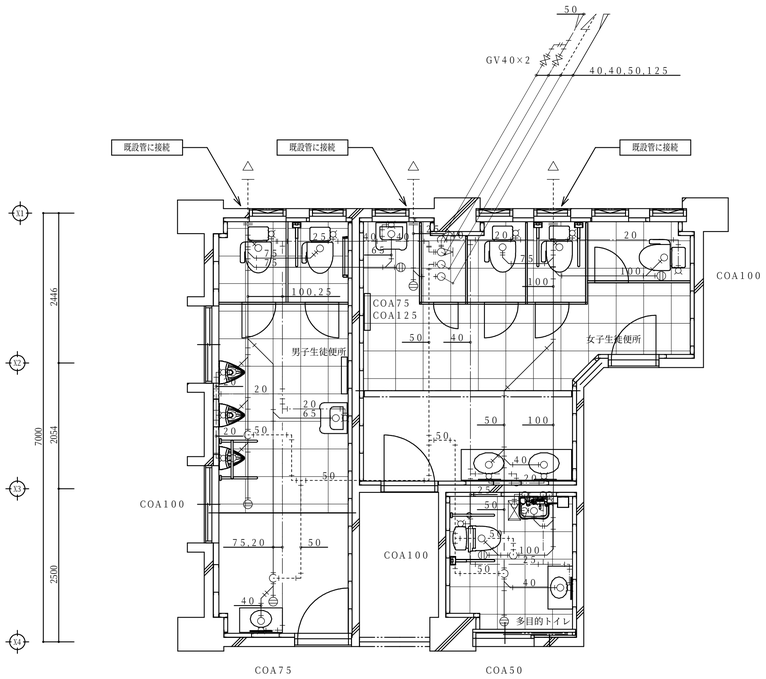
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

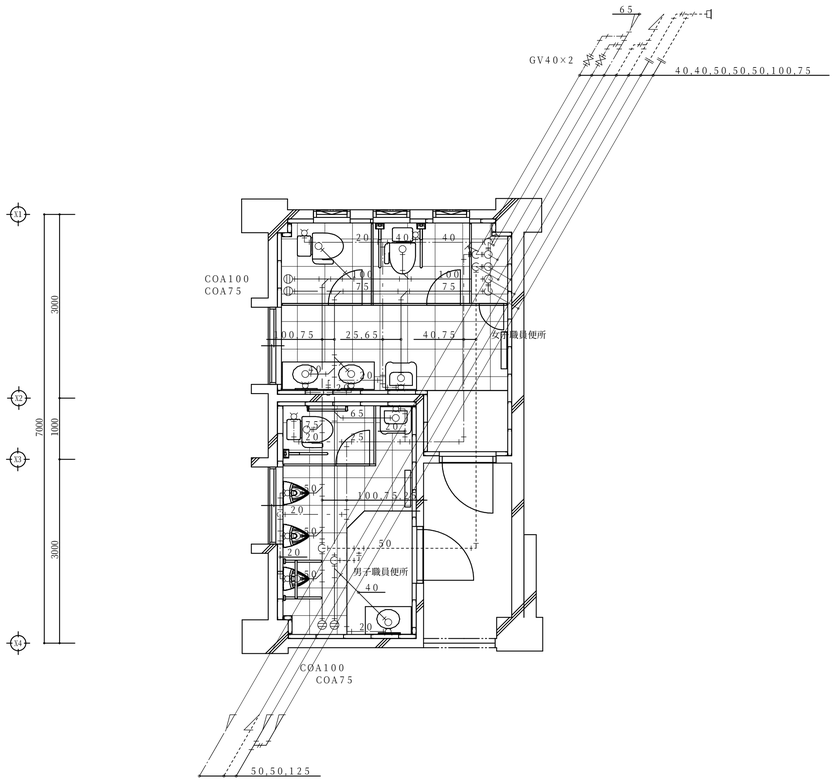
1:150 SCALE

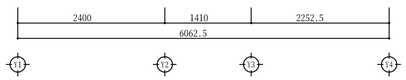
機械設備工事　２階平面図：衛生（改修）

DW.	CK.	NO.	DATE
		M−05	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

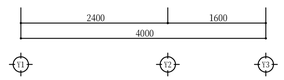






1階男子・女子・身体障害者用便所平面図　S：1／50　【A】

【改修】



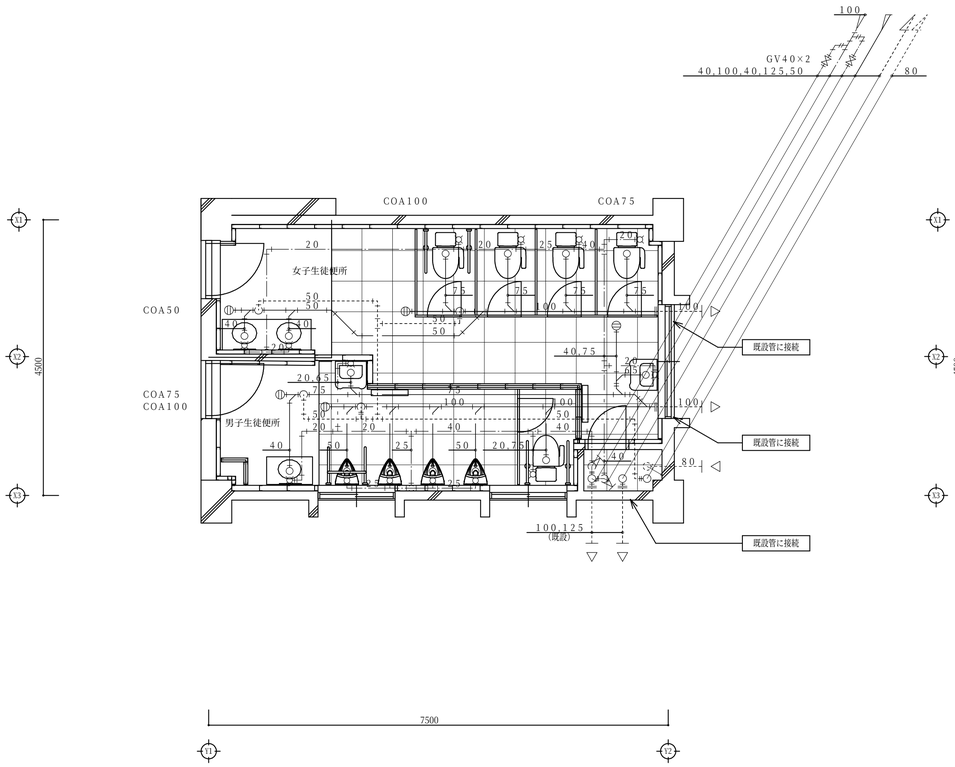
2階男子・女子職員便所平面図　S：1／50　【B】

【改修】

注記事項：既設躯体の貫通はダイヤモンドカッターにて行い、穴明け（補修共）は全て本工事にて行う事。

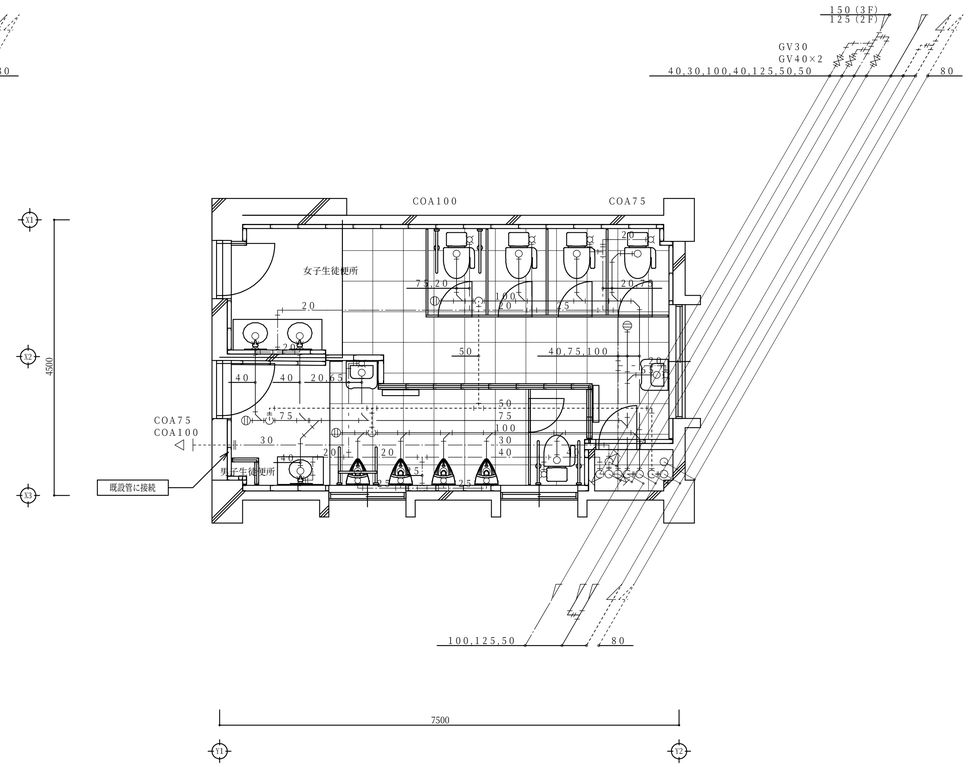
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1/50 SCALE			
機械設備工事　１・２階便所・職員便所平面図：衛生（改修）			
DW.	CK.	NO. M−06	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



1階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【改修】



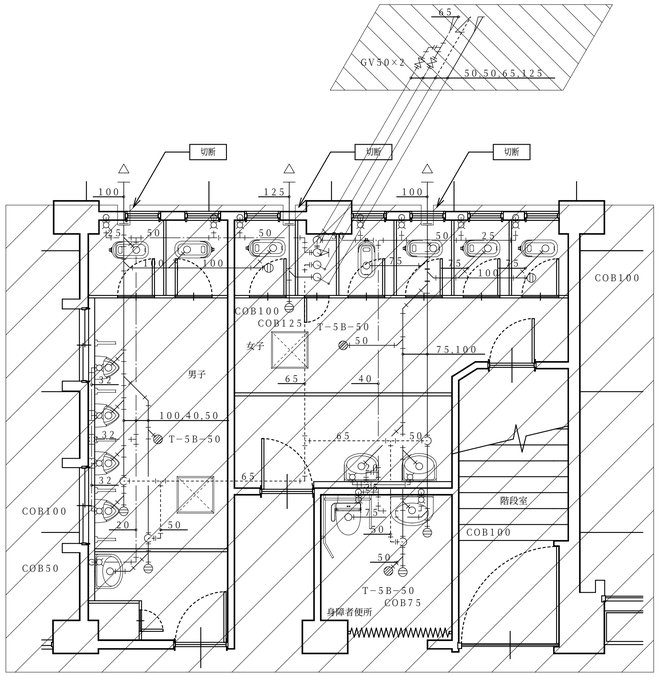
2・3階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【改修】

注記事項：既設躯体の貫通はダイヤモンドカッターにて行い、穴明け（補修共）は全て本工事にて行う事。

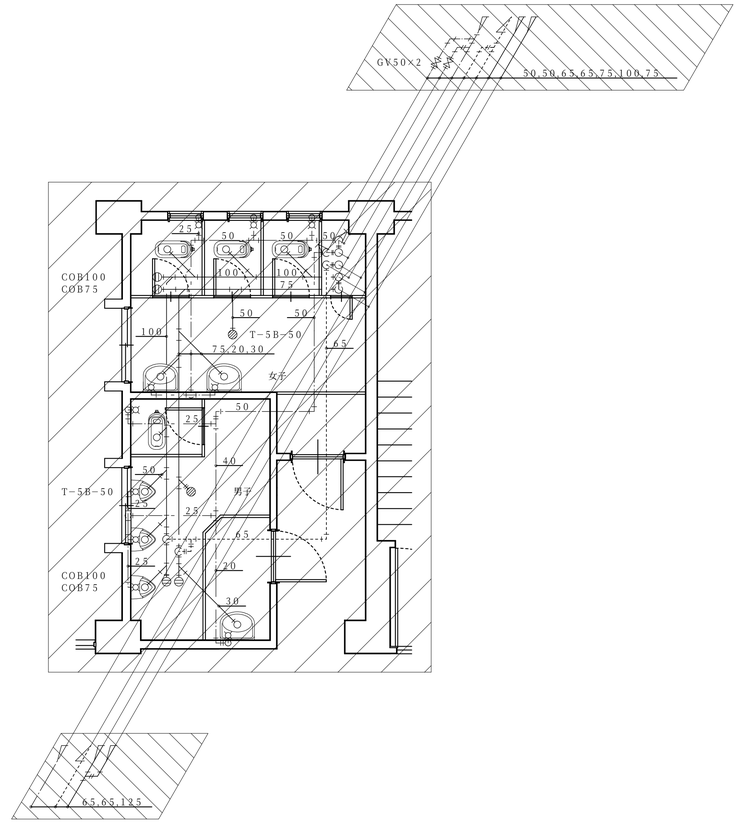
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
1:50 SCALE			野中建築設計事務所
機械設備工事　１～３階生徒便所平面図：衛生（改修）			1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. M−07	DATE 28-09

〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



1階男子・女子・身体障害者用便所平面図　S：1／50　【A】

【現況・撤去】



2階男子・女子職員便所平面図　S：1／50　【B】

【現況・撤去】

撤去リスト：衛生

名称	1階			2階		合計
	男子便所	女子便所	身障者便所	男子便所	女子便所	
洋風便器（FV式）			1			1
和風便器（FV式）	2	5		1	3	11
小便器（FV式）	4			3		7
洗面器	1	2	1	1	2	7
化粧鏡	1	2	1	1	2	7
床排水金物	1	1	1	1	1	5

注記事項

1.既設配管（露出・インペイ部共）の撤去は全て本工事とする。（図中　▨部分）

2.既設土間コン・取り壊し・ガラ処分は建築工事とする。

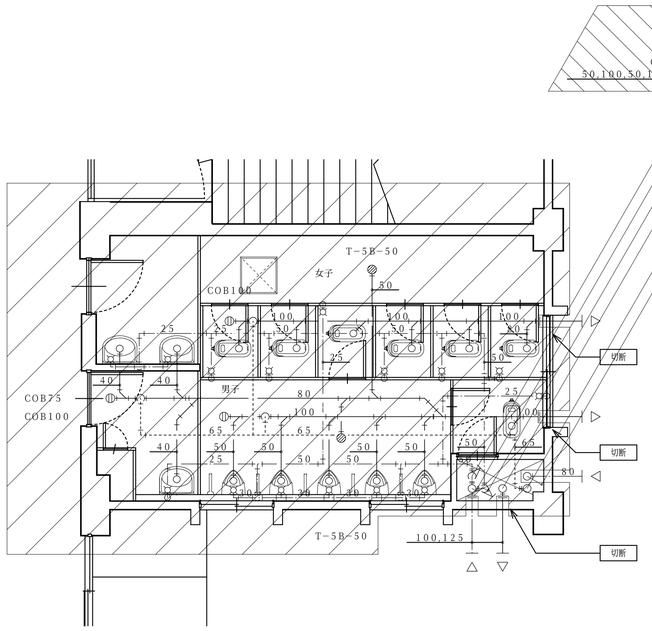
3.本参考図は解体工事において、特に留意すべき主要部分のみを記載しているものである。

図中明記なくとも、一般的に建築物に付属している諸設備については撤去を行い、適切に処分すること。

4.本工事に必要な官公庁への申請手続きは請負者が行い、その費用は本工事に含む。

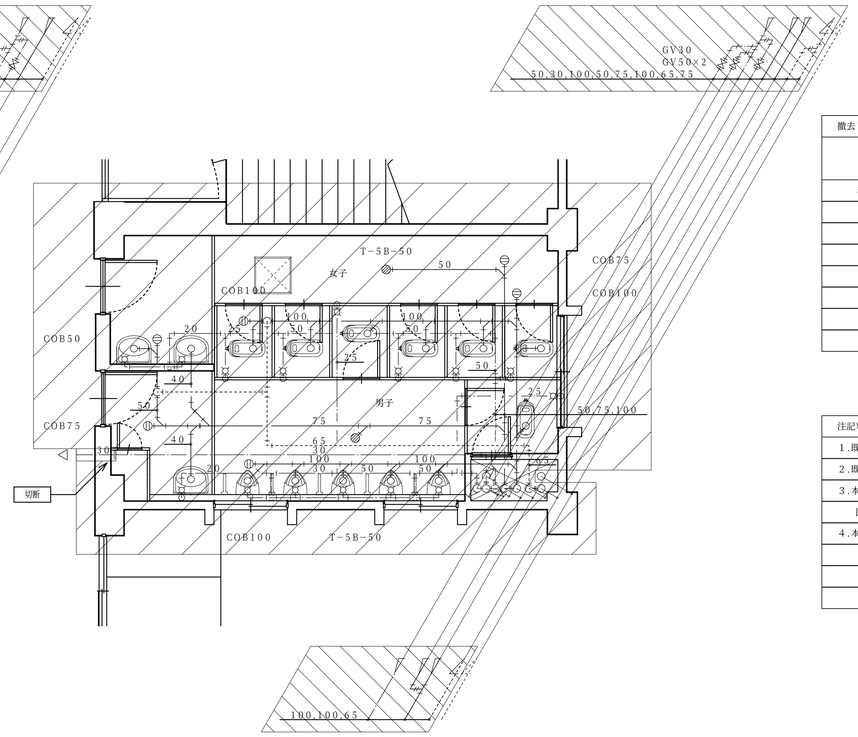
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図			
1:50 SCALE			
機械設備工事　１・２階便所・職員便所平面図：衛生（現況・撤去）			
DW.	CK.	NO. M−08	DATE 28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



1階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【現況・撤去】



2・3階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【現況・撤去】

撤去リスト：衛生

名称	1階		2階		3階		合計
	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	
和風便器（FV式）	1	6	1	6	1	6	21
小便器（FV式）	5		5		5		15
洗面器	1	2	1	2	1	2	9
化粧鏡	1	2	1	2	1	2	9
床排水金物	1	1	1	1	1	1	1

注記事項

1.既設配管（露出・インペイ部共）の撤去は全て本工事とする。（図中　▨部分）

2.既設土間コン・取り壊し・ガラ処分は建築工事とする。

3.本参考図は解体工事において、特に留意すべき主要部分のみを記載しているものである。

図中明記なくとも、一般的に建築物に付属している諸設備については撤去を行い、適切に処分すること。

4.本工事に必要な官公庁への申請手続きは請負者が行い、その費用は本工事に含む。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1:50　SCALE

機械設備工事　１～３階生徒便所平面図：衛生（現況・撤去）

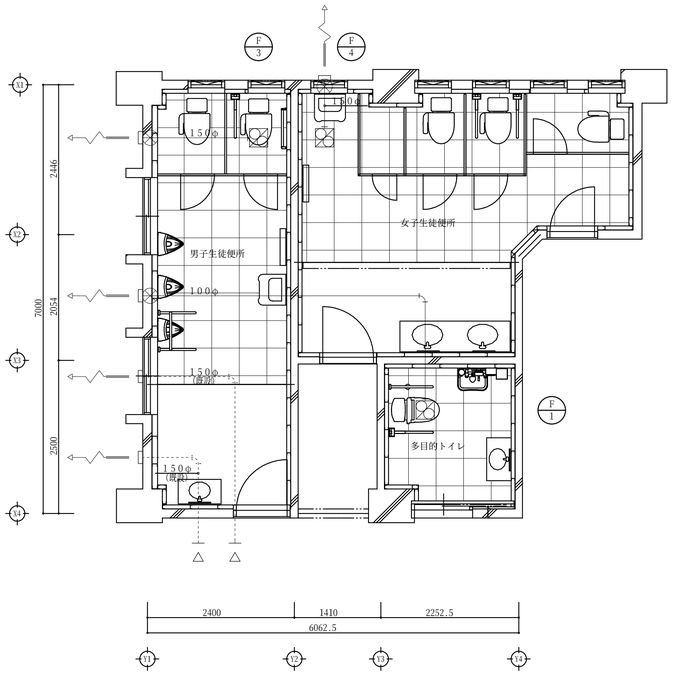
DW.	CK.	NO.	DATE
		M−09	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

機器リスト：換気							
記号	機器名称	機器仕様	電源	台数	設置場所		備考
F－1	換　気　扇	天井埋込型ダクト用　低騒音型　格子タイプ １６０CMH　×　４０Pa　×　１５.５W　×　２８.５dB ＳＵＳ製深型フード１００φ共	１φ１００Ｖ	１	１階【A】	多目的トイレ	
F－2	換　気　扇	天井埋込型ダクト用　低騒音型　格子タイプ ３５０CMH　×　４０Pa　×　４９W　×　３５.５dB ＳＵＳ製深型フード１５０φ共	１φ１００Ｖ	５	２階【B】 １～３階【C】	男子職員便所 女子職員便所 男子生徒便所	
F－3	換　気　扇	天井埋込型ダクト用　低騒音型　格子タイプ ４３０CMH　×　４０Pa　×　６２W　×　４２dB ＳＵＳ製深型フード１５０φ共	１φ１００Ｖ	１	１階【A】	男子生徒便所	
F－4	換　気　扇	天井埋込型ダクト用　低騒音型　格子タイプ ５５０CMH　×　４０Pa　×　９０W　×　４３.５dB ＳＵＳ製深型フード１５０φ共	１φ１００Ｖ	４	１階【A】 １～３階【C】	女子生徒便所 女子生徒便所	

注記事項

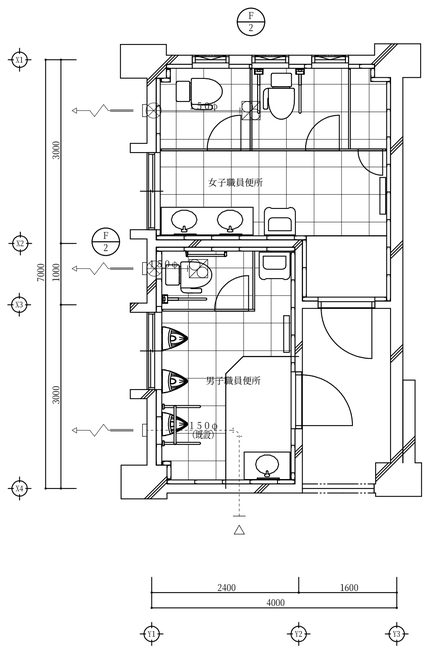
１.屋外露出部分のベンドキャップ・ウェザーカバー等は指定色焼付仕上げ（防虫網付）とする。



１階男子・女子・身体障害者用便所平面図　　Ｓ：１／５０　【A】

【改修】

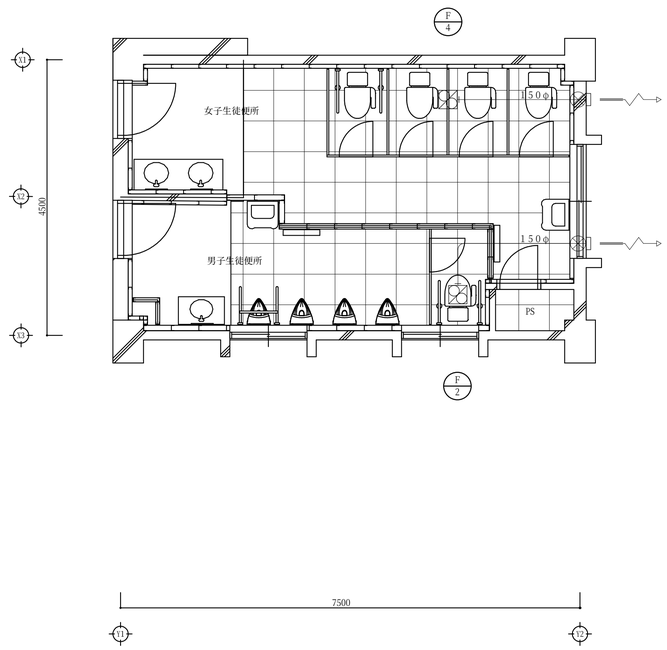
注記事項：⊗は既設貫通穴利用箇所を示す。



２階男子・女子職員便所平面図　　Ｓ：１／５０　【B】

【改修】

注記事項：⊗は既設貫通穴利用箇所を示す。



１～３階男子・女子生徒便所平面図　　Ｓ：１／５０　【C】

【改修】

注記事項：⊗は既設貫通穴利用箇所を示す。

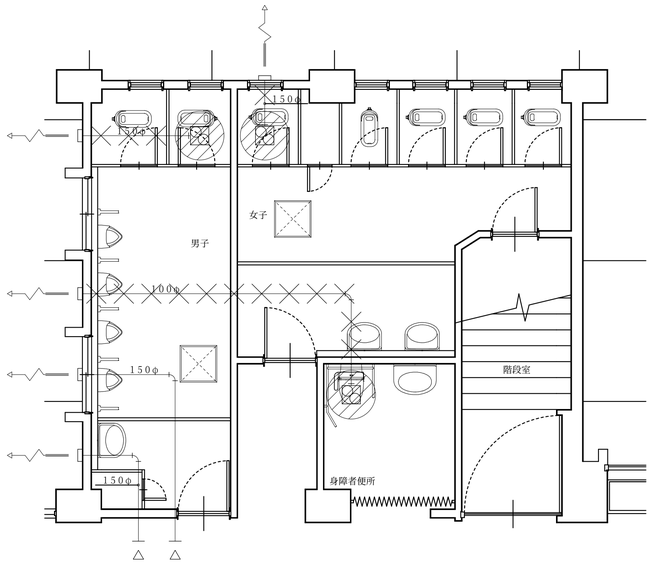
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1:50 SCALE

機械設備工事　１～３階各便所平面図：換気（改修）

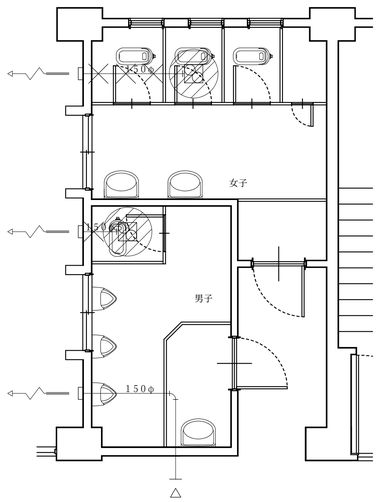
DW.	CK.	NO.	DATE
		M－10	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
一級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



1階男子・女子・身体障害者用便所平面図　S：1／50　【A】

【現況・撤去】



2階男子・女子職員便所平面図　S：1／50　【B】

【現況・撤去】

撤去リスト：換気

名称	1階			2階		合計
	男子便所	女子便所	身障者便所	男子便所	女子便所	
天井扇	1	1	1	1	1	5

注記事項

1.既設配管（露出・インペイ部共）の撤去は全て本工事とする。（図中　▨部分）

2.既設土間コン・取り壊し・ガラ処分は建築工事とする。

3.本参考図は解体工事において、特に留意すべき主要部分のみを記載しているものである。
　図中明記なくとも、一般的に建築物に付属している諸設備については撤去を行い、適切に処分すること。

4.本工事に必要な官公庁への申請手続きは請負者が行い、その費用は本工事に含む。

5.　╳╳╳は撤去ダクトを示す。

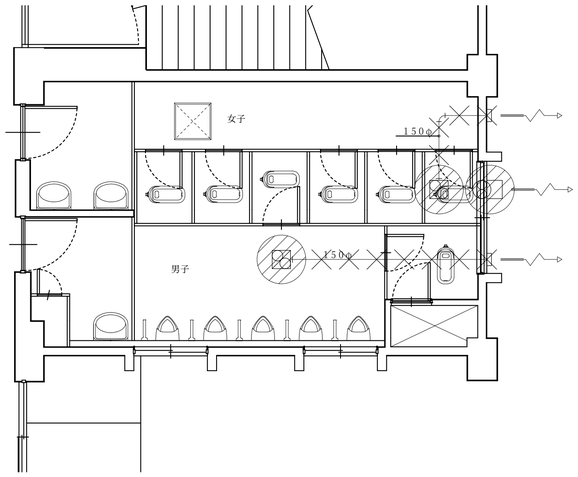
平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

1:50　SCALE

機械設備工事　１・２階便所・職員便所平面図：換気（現況・撤去）

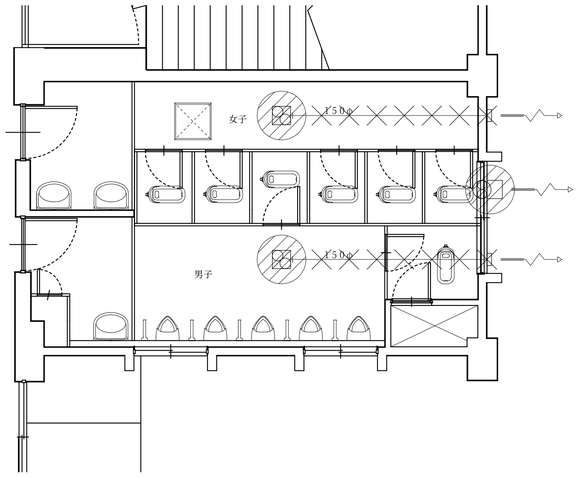
DW.	CK.	NO.	DATE
		M−11	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



1階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【現況・撤去】



2・3階男子・女子生徒便所平面図　S：1／50　【C】

【現況・撤去】

撤去リスト：換気

名称	1階		2階		3階		合計
	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	
天井扇	1	1	1	1	1	1	6
壁付扇		1		1		1	3

注記事項

1.既設配管（露出・インペイ部共）の撤去は全て本工事とする。（図中　▨部分）

2.既設土間コン・取り壊し・ガラ処分は建築工事とする。

3.本参考図は解体工事において、特に留意すべき主要部分のみを記載しているものである。
　図中明記なくとも、一般的に建築物に付属している諸設備については撤去を行い、適切に処分すること。

4.本工事に必要な官公庁への申請手続きは請負者が行い、その費用は本工事に含む。

5.　╳╳╳は撤去ダクトを示す。

平成２９年度　蒲生野中学校校舎棟トイレ改修工事　設計図

機械設備工事　１～３階生徒便所平面図：換気（現況・撤去）

1:50 SCALE

DW.	CK.	NO.	DATE
		M−12	28-09

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408